

広島市感染症発生動向調査

事業報告書

第 41 号

(令和4年)

広 島 市

目 次

第1章 広島市感染症発生動向調査事業

第1節 広島市感染症発生動向調査事業の概要	1
第2節 広島市感染症発生動向調査事業実施要綱	5
第3節 広島市感染症対策協議会設置要領	1 7

第2章 感染症の概要

第1節 感染症の発生概要	1 9
第2節 感染症の発生状況	2 1

第3章 感染症別患者発生状況

第1節 インフルエンザ定点	4 8
第2節 小児科定点	4 9
第3節 眼科定点	5 9
第4節 性感染症定点	6 1
第5節 基幹定点	6 6
第6節 各感染症の推移（平成23年～令和4年）	7 4

第4章 検査情報

第1節 検査の概要	8 8
第2節 検査方法及び検体採取状況	8 8
第3節 病原体検出状況	9 1
第4節 参考資料	9 9

第5章 結核

第1節 結核の概要	1 0 4
第2節 結核による死亡者	1 0 4
第3節 新登録患者の状況	1 0 5
第4節 結核登録者の状況（令和4年末現在）	1 0 7

第1章 広島市感染症発生動向調査事業

第1節 広島市感染症発生動向調査事業の概要

1 現況及び目的

患者の発生状況や病原体の検索など流行の実態を早期に把握し、その情報をインターネット等を通じて一般市民から専門家にいたるまで幅広く提供することにより、社会的影響の大きい感染症の蔓延を未然に防止することを目的とする。

2 内容及び方法

(1) 調査対象疾病

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に規定する1類感染症（エボラ出血熱等7疾病）、2類感染症（結核、中東呼吸器症候群等7疾病）、3類感染症（コレラ、腸管出血性大腸菌等5疾病）、4類感染症（44疾病）、5類感染症（48疾病）、新型インフルエンザ等感染症（新型インフルエンザ、再興型インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、再興型コロナウイルス感染症）、法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症（1疾患）

(2) 実施体制及び実施方法

1～4類感染症、全数対象の5類感染症（24疾病）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症は全医療機関からの届出、定点対象の5類感染症（24疾病）及び法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症は指定した医療機関からの届出により情報収集を行う。

結核については、保健センターに集積された医療機関からの届出等の情報のうち、必要なデータを結核情報センター（保健所健康推進課）が収集して国に報告する。なお、本事業の総括及び関係機関との連絡調整は保健所（健康推進課）が行う。

感染症発生動向調査の実施体制

① 感染症情報センター（広島市衛生研究所内に設置）

医療機関から保健センターに報告された患者情報を収集し、国へ報告する。また、検査情報や全国患者情報と併せて「感染症週報」に掲載し、速やかに市のホームページで公開する。定点及び関係機関等へはファクシミリで送信する。

② 指定届出機関（定点） ⇒ 実施要綱の別表3参照

（定点数は各区人口比による。定点は所属医師会の選定により指定する。）

【患者定点】小児科定点（24）、内科定点（13）、眼科定点（8）、性感染症定点（9）、基幹定点（7）の合計61定点を指定している。

【病原体定点】患者定点の中から15定点を指定している。

（対象疾病の患者から採取した検体を衛生研究所に送付する）

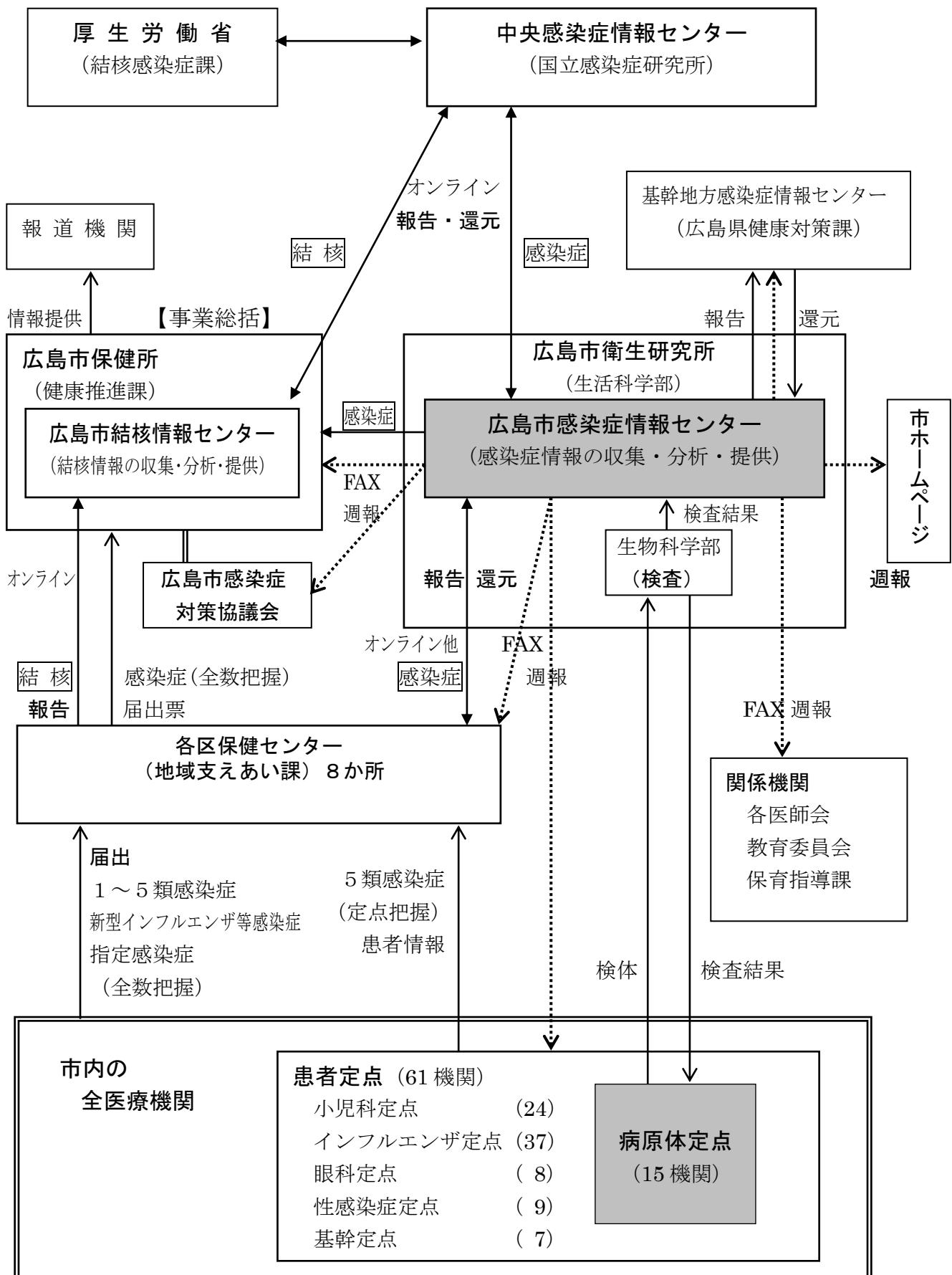
患者定点は、対象疾患の患者情報を、原則として調査単位が週（月曜日から日曜日）の場合は翌週の月曜日に、月単位の場合は翌月の初日に管轄の保健センター（地域支えあい課）に報告する。安佐医師会所属の一部の定点は安佐医師会を経由して報告する。

③ 広島市感染症対策協議会（事務局：保健所健康推進課内）

収集・分析された感染症情報を基に、感染症の予防対策、緊急対応策を協議するため、学識経験者や医師会代表からなる協議会（公開）を原則として月1回開催する。

協議内容は「広島市感染症対策協議会コメント」にまとめ、関係機関に提供する。

広島市感染症発生動向調査事業における情報フロー図



広島市感染症発生動向調査定点医療機関(令和4年4月1日現在)

区	医療機関名	所在地	患者定点				病原体定點	指定提出機関
			インフルエンザ 小児科	眼科	性感染症	基幹		
中	千田こどもクリニック	中区千田町2-1-27	○					○
	はやかわ小児クリニック	中区袋町6-46	○					
	医療法人住田医院	中区大手町5-6-23	○					
	清水内科・消化器科	中区富士見町12-17		○			○	○
	はしもと胃腸科内科	中区吉島東1-27-20		○				
	山代眼科医院	中区舟入本町7-15		○			○	
	こけはら泌尿器科クリニック	中区八丁堀1-12			○		○	
	広島赤十字原爆病院	中区千田町1-9-6				○	○	○
	広島市立広島市民病院	中区基町7-33				○	○	○
	広島市立舟入市民病院	中区舟入幸町14-11				○	○	○
	広島通信病院	中区東白島町19-16				○		○
	國家公務員共済組合連合会 吉島病院	中区吉島東3-2-33					○	
	医療法人あかね会 土谷総合病院	中区中島町3-30					○	
	翠清会 梶川病院	中区東千田町1-1-23					○	
東	JR広島病院(小児科)	東区二葉の里3-1-36	○					
	ねじはし小児科	東区牛田旭1-13-18	○					
	ひよこ小児科内科	東区戸坂千足1-22-6-11	○					
	渡部内科医院	東区牛田新町1-6-36		○				
	井上眼科医院	東区牛田本町2-3-1		○				
	高橋泌尿器科・皮ふ科クリニック	東区温品7-10-11-18			○			
南	JR広島病院	東区二葉の里3-1-36				○	○	
	もり小児科	南区翠2-27-30	○				○	○
	しらお小児科・アレルギー科クリニック	南区東雲本町2-6-32	○					
	おかげた小児科循環器科	南区段原南1-1-22	○					
	古川医院	南区東雲本町1-1-2		○				
	江島医院	南区宇品御幸2-5-7	○					
	田中眼科医院	南区翠1-3-15		○				
	戸田眼科的場医院	南区的場町2-3-25		○				
	かでな泌尿器科クリニック	南区段原日出1-15-13			○			
	広島大学病院	南区霞1-2-3				○	○	○
	県立広島病院	南区宇品神田1-5-54				○		
西	どんぐり小児科	西区南観音2丁目7-21 平野ビル1F	○				○	○
	新田小児科	西区横川町3-9-14	○					
	しのはら小児クリニック	西区井口3-13-5	○					
	澄川内科医院	西区横川町二丁目10-23		○				
	内科胃腸科石田医院	西区庚午中3-1-1	○					
	佐々木眼科	西区己斐本町3-4-5		○				
	梶川病院	西区天満町8-7			○			
安佐南	松尾産婦人科内科医院	西区三篠町1-5-7			○			
	よしみつこどもクリニック	安佐南区大町東1-8-25	○					
	桑原医院	安佐南区八木2-13-27	○				○	○
	堀江医院	安佐南区祇園2-22-28	○					
	祇園ふたばこどもクリニック	安佐南区山本3-1-12	○					
	さとう内科循環器科	安佐南区緑井5-9-9		○				
	みやたけ医院	安佐南区東野3-7-17	○					
	馬場眼科	安佐南区相田1-10-17		○				
安佐北	かわした泌尿器科クリニック	安佐南区東原1-1-2			○			
	かるが医院	安佐北区狩留家町1298-1	○					
	あすなろ生協診療所	安佐北区口田1-10-1	○					
	土井クリニック	安佐北区可部2-40-22	○					
	沖野医院	安佐北区可部6-5-9		○				
	高陽第一診療所	安佐北区落合1-14-9	○					
	竹田眼科医院	安佐北区可部5-11-23		○				
	医療法人仁医会 井口医院	安佐北区可部7-5-7			○			
安芸	広島市安佐市民病院	安佐北区可部南2-1-1				○	○	○
	畠川小児科医院	安芸区船越南3-5-3	○					
	だて子どもクリニック	安芸区矢野東5-7-13	○					
佐伯	津丸内科医院	安芸区矢野西4-1-17		○			○	○
	赤尾ファミリークリニック	佐伯区海老園1-4-19	○					
	ながたこどもクリニック	佐伯区海老園1-6-22	○					
	ふじえ小児科	佐伯区八幡東3-28-17	○					
	大江内科医院	佐伯区楽々園3-5-27		○				
	広兼眼科	佐伯区八幡東3-28-17-202			○			
	北野皮膚科医院	佐伯区五日市駅前3-9-14				○		
	河田産婦人科医院	佐伯区海老園1-2-13				○		

計 65 定点

24

13

8

9

7

9

15

5

37

←インフルエンザ定点合計

広島市感染症対策協議会委員名簿

(令和4年度)

氏名	所属	備考
◎小林 正夫	日本赤十字社 中四国ブロック血液センター	所長
○坂口 剛正	広島大学大学院 医系科学研究科	教授（ウイルス学）
大毛 宏喜	広島大学病院	教授（感染症科）
石川 暢久	県立広島病院	呼吸器センター長
吉岡 宏治	国家公務員共済組合連合会 吉島病院	呼吸器内科医長
高橋 宏明	広島泌尿器科医会	高橋泌尿器科・皮ふ科クリニック院長
佐藤 貴	広島市小児科医会	小児科さとうクリニック院長
新甲 さなえ	広島市臨床産婦人科医会	新甲さなえ女性クリニック院長
堂面 政俊	広島市医師会	常任理事、堂面医院院長
増田 裕久	安佐医師会	理事、増田内科医院院長
梶梅 輝之	安芸地区医師会	理事、向洋こどもクリニック院長
長岡 義晴	広島市立広島市民病院	小児科部長
岡野 里香	広島市立舟入市民病院	副院長
南 心司	公益財団法人広島市みどり 生きもの協会	安佐動物公園長

◎委員長、○副委員長

第2節 広島市感染症発生動向調査事業実施要綱

第1 目的

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(平成10年法律第114号。以下「法」という。)に規定する感染症の発生動向に関する情報を迅速に収集、分析及び提供・公開していくことにより、予防、医療、研究等において的確な感染症対策を確立することを目的とする。

第2 定義

- 1 「中央感染症情報センター」とは、都道府県、保健所を設置する市及び特別区（以下「都道府県等」という。）から伝送又は報告された患者情報及び病原体情報を収集、分析し、その結果を全国情報として速やかに都道府県等に提供・公開するための中心的役割を果たすもので、国立感染症研究所感染症情報センターに設置されている。
- 2 「患者情報」とは、患者の年齢（生年月日）、性別、病名、診断、症状及び原因等に関するなどをいう。
- 3 「病原体情報」とは、病原体の分離等の検査に供するため患者から採取した検査材料又は分離株、当該患者の年齢、性別、診断名及び臨床経過等に関するなどをいう。
- 4 「指定届出機関（定点）」とは、法第14条第1項により指定された病院又は診療所で、5類感染症のうち定められたものの発生状況の届出を行う。

第3 対象感染症

本事業の対象とする感染症は、別表1及び別表2に示す感染症とする。

第4 実施主体

実施主体は、広島市とする。

第5 実施体制

事業の総合的かつ円滑な推進を図るため、次の体制により実施する。

- 1 保健所（以下「保健所」という。）
 - (1) この要綱に定める事業を総括する。
 - (2) 広島市感染症対策協議会の運営に関する業務を行う。
 - (3) 広島市結核情報センター（以下「結核情報センター」という。）を設置する。
- 2 保健センター
この要綱に定める業務を分担し、情報の収集、還元、管理を行う。
- 3 衛生研究所
 - (1) この要綱に定める業務を分担し、検体の検査等を実施し、結果を通知する。
 - (2) 広島市感染症情報センター（以下「感染症情報センター」という。）を設置する。
- 4 指定届出機関（定点）
定点把握対象の5類感染症及び法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症の発生状況を把握するため、患者定点及び病原体定点を、各医師会の協力のもとに広島市内の医療機関の中から選定する。

(1) 患者定点

患者情報を収集するため、次により選定する。各定点数及び区別の内訳は別表3のとおりとする。

ア 小児科定点

小児科を標榜する医療機関から選定する。

イ インフルエンザ定点

アの小児科定点に加え、内科を標榜する医療機関から内科定点を選定し、両者を合わせてインフルエンザ定点とする。

ウ 眼科定点

眼科を標榜する医療機関から選定する。

エ 性感染症定点

産婦人科若しくは産科若しくは婦人科（産婦人科系）、医療法施行令（昭和二十三年政令第三百二十六号）第三条の二第一項第一号ハ及びニ(2)の規定により性感染症と組み合わせた名称を診療科名とする診療科又は泌尿器科若しくは皮膚科を標榜する医療機関から選定する。

オ 基幹定点

患者300人以上収容する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）から選定する。

カ 疑似症定点

以下の医療機関のうち、アからウの順に優先順位をつけ、選定する。

(ア) 診療報酬に基づく特定集中治療室管理料（1～4）、小児特定集中治療室管理料又はハイケアユニット入院医療管理料（1～2）の届出をしている医療機関

(イ) 法に基づく感染症指定医療機関

- ・法に基づく特定感染症指定医療機関
- ・法に基づく第一種感染症指定医療機関
- ・法に基づく第二種感染症指定医療機関

(ウ) マスギャザリング（一定期間に限られた地域において同一目的で集合した多人数の集団）において、疑似症定点として選定することが疑似症発生状況の把握に有用な医療機関（例：大規模なスポーツ競技大会等において、観客や大会運営関係者等が受診する可能性のある医療機関）

(2) 病原体定点

病原体情報を収集するため、患者定点の中から選定する。定点数及び区別の内訳は別表3のとおりとする。

また、(1) のイにより選定されたインフルエンザ定点の中から、指定提出機関を選定する。

5 広島市感染症対策協議会

(1) 事業の適切な運用を図るため、「広島市感染症対策協議会」（以下「協議会」という。）を設置し、必要な情報の解析評価等を行う。

(2) 協議会の構成、組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

第6 事業の実施

1 結核

(1) 保健センター

届出等に基づく結核患者等の情報のうち別記に掲げる事項を、新登録者については把握後速やかに、年末現在の登録者及び年間の登録除外者については国が指定する期

日までに感染症サーベイランスシステムに入力する。

なお、結核の患者または登録者に関する個人情報のコンピュータ処理にあたっては、患者等のプライバシー保護に十分な配慮を払うものとする。

(2) 結核情報センター

保健センターから入力された市域の各情報は、公表される都道府県情報、全国情報と併せて、保健センター、医師会等の関係機関に提供する。

2 1類感染症、2類感染症、3類感染症、4類感染症、5類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症の共通事項

(1) 感染症情報センター

市域の全ての患者情報及び病原体情報（病原体の分離等の検査情報を含む）を収集・分析するとともに、その結果を、中央感染症情報センターから週報（月単位の場合は月報）等として公表される全国情報と併せて、定点医療機関、協議会委員、医師会、保健センター、保健所、教育委員会等の関係機関にファクシミリ等により速やかに提供するとともに、インターネット等を通じて市民に公開する。

(2) 保健所及び保健センター

感染症情報センターから提供された各情報を、市民、関係機関等へ提供する。

3 1類感染症、2類感染症、3類感染症、4類感染症、5類感染症（「侵襲性髄膜炎菌感染症」、「麻しん」及び「風しん」）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症（「新型コロナウイルス感染症」及び「再興型コロナウイルス感染症」を除く。）

(1) 対象とする感染症患者等の状態

別表1に該当し、国の定める届出基準により診断された場合とする。

(2) 調査単位及び実施方法

ア 診断した医師

上記(1)に該当する患者等を診断した医師は、直ちに最寄りの保健センターに届出を行う。当該届出は、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、国の定める様式を用いて届出を行う。また保健センターから当該患者の病原体検査のための検体又は病原体情報の提供の依頼を受けた場合は、協力可能な範囲において、所定の検査票を添付して衛生研究所へ提供する。

イ 保健センター

① 届出を受けた保健センターは、直ちに届出内容の確認を行い保健所へ連絡するとともに、当該届出が感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医師からの届出である場合には、直ちに感染症サーベイランスシステムに届出内容を入力し、感染症情報センターへ感染症サーベイランスシステムにより伝送する。また、当該患者を診断した医師に対して、必要に応じて病原体検査のための検体又は病原体情報の衛生研究所への提供について、所定の検査票を添付して依頼するものとする。

② 必要と認める時には適切な方法を用いて、届出があった事実（個人情報に関する事項を除く）を指定医療機関、その他の医療機関及び各区医師会等の関係機関に連絡する。

ウ 感染症情報センター

保健センターから伝送された患者情報については直ちに、病原体情報（検査情報を含む）については検査結果がまとまり次第、感染症サーベイランスシステムにより、中央感染症情報センター及び広島県へ伝送する。

エ 保健所

- ① 管轄する区域外に居住する者について、保健センターから届出の連絡を受けたときは、当該届出の内容を、その居住地を管轄する都道府県等及び都道府県に通報する。
- ② 他の都道府県等が管轄する区域内における感染症のまん延を防止するために必要な場合は、法第15条の規定による積極的疫学調査の結果を、当該他の都道府県等に通報する。

4 「新型コロナウイルス感染症」又は「再興型コロナウイルス感染症」

(1) 対象とする感染症患者等の状態

別表1に該当し、国の定める届出基準により診断された場合とする。

(2) 調査単位及び実施方法

ア 診断した医師

上記(1)に該当する患者等を診断した医師は、新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システムにより（以下「HER-SYS」という。）により、直ちに最寄りの保健センターに届出を行う。ただし、HER-SYSの入力環境がない場合には、国の定める様式を用いて届出を行う。また保健センターから当該患者の病原体検査のための検体又は病原体情報の提供の依頼を受けた場合は、協力可能な範囲において、所定の検査票を添付して衛生研究所へ提供する。

イ 保健センター

- ① 届出を受けた保健センターは、直ちに届出内容の確認を行い保健所へ連絡するとともに、当該届出がHER-SYSの入力環境がない医師からの届出である場合には、HER-SYSに届出内容を入力する。また、当該患者を診断した医師に対して、必要に応じて病原体検査のための検体又は病原体情報の衛生研究所への提供について、所定の検査票を添付して依頼するものとする。
- ② 必要と認める時には適切な方法を用いて、届出があった事実（個人情報に関する事項を除く）を指定医療機関、その他の医療機関及び各区医師会等の関係機関に連絡する。

ウ 保健所

- ① 管轄する区域外に居住する者について、保健センターから届出の連絡を受けたときは、当該届出の内容を、その居住地を管轄する都道府県等及び都道府県に通報する。
- ② 他の都道府県等が管轄する区域内における感染症のまん延を防止するために必要な場合は、法第15条の規定による積極的疫学調査の結果を、当該他の都道府県等に通報する。

5 全数把握対象の5類感染症（「侵襲性髄膜炎菌感染症」、「麻しん」及び「風しん」を除く）

(1) 対象とする感染症患者等の状態

別表1に該当し、国の定める届出基準により診断された場合とする。

(2) 調査単位及び実施方法

ア 診断した医師

上記(1)に該当する患者を診断した医師は、7日以内に最寄りの保健センターに届出を行う。当該届出は、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、国の定める様式を用いて届出を行う。また、保健センターから当該患者の病原体検査のための検体又は病原体情報の提供の依頼を受けた場合は、協力可能な範囲において、

検体又は病原体情報について、保健センターの協力を得て所定の検査票を添付して衛生研究所に送付する。

イ 保健センター

当該届出を受けた保健センターは、直ちに届出内容の確認を行い保健所へ連絡するとともに、当該届出が感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医師からの届出である場合には、直ちに感染症サーベイランスシステムに届出内容を入力し、感染症情報センターへ感染症サーベイランスシステムにより伝送する。また、別表1のうち病原体検査の対象とする感染症の患者を診断した医師に対して、必要に応じて病原体検査のための検体又は病原体情報の衛生研究所への提供について、所定の検査票を添付して依頼するものとする。

ウ 感染症情報センター

患者情報については、保健センターが診断した医師から届出を受けてから7日以内に、病原体情報（検査情報を含む）については検査結果がまとまり次第、感染症サーベイランスシステムにより、中央感染症情報センターへ伝送する。

6 定点把握対象の5類感染症

(1) 対象とする感染症患者等の状態

別表2に該当し、国の定める届出基準により診断された場合とする。

(2) 各定点の対象感染症

別表2のとおりとする。

(3) 調査単位等

ア 患者情報の調査単位は1週間（月曜日から日曜日）又は各月とし、別表2のとおりとする。

イ 病原体情報については、原則として結果がまとまり次第、報告することとする。

(4) 実施方法

ア 患者定点

- ① 患者定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時における国の定める届出基準により、患者発生状況の把握を行うものとする。
- ② 各定点は、感染症サーベイランスシステムにより、それぞれ調査単位の患者発生状況等の届出を行う。ただし、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、所定の様式を用いて届出を行う。
- ③ ②の届出に当たっては、原則として、調査単位が週の場合は翌週の月曜日に、月単位の場合は翌月の初日に保健センターへの届出を行うものとする。

イ 病原体定点

微生物学的検査のために検体を採取し、所定の検査票を添えて、速やかに衛生研究所へ送付する。

なお、検体の採取は、別表2に示す対象の感染症について実施するものとする。

小児科定点から選定された病原体定点については、調査単位ごとに小児科定点対象疾患から1検体を送付する。

また、指定提出機関は、インフルエンザ（インフルエンザ様疾患を含む）の検体について、季節性インフルエンザの流行期（概ね11月から3月）は毎週1回、非流行期は毎月1回、送付する。

ウ 保健センター

届出を受けた保健センターは、直ちに届出内容の確認を行うとともに、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医療機関からの届出である場合には、患者

定点から得られた患者情報が週単位の場合は調査対象週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の3日までに、感染症サーベイランスシステムに入力し、感染症情報センターへ感染症サーベイランスシステムにより伝送する。また、対象感染症についての集団発生、その他特記すべき情報についても保健所及び感染症情報センターへ報告する。

エ 感染症情報センター

保健センターから伝送された患者情報については直ちに、病原体情報（検査情報を含む）については検査結果がまとまり次第、感染症サーベイランスシステムにより、中央感染症情報センターへ伝送する。

7 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

(1) 対象とする疑似症の状態

別表2に該当し、国の定める届出基準により診断された場合とする。

(2) 定点の選定

別表2のとおりとする。

(3) 調査単位及び実施方法

ア 診断した医師

上記(1)に該当する患者等を診断した医師は、感染症サーベイランスシステムにより、直ちに最寄りの保健センターに届出を行う。ただし、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、国の定める様式を用いて届出を行う。

イ 保健センター

- ① アの届出を受けた保健センターは、直ちに届出内容の確認を行い保健所へ連絡する。また、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医師から、国の定める様式を用いて届出を受けた保健センターは、直ちに感染症サーベイランスシステムに届出内容を入力し、保健所へ連絡するとともに感染症情報センターへ感染症サーベイランスシステムにより伝送する。
- ② 必要と認める時には適切な方法を用いて、届出があった事実（個人情報に関する事項を除く）を指定医療機関、その他の医療機関及び各区医師会等の関係機関に連絡する。

ウ 感染症情報センター

保健センターから伝送された患者情報については直ちに、感染症サーベイランスシステムにより、中央感染症情報センターへ伝送する。

8 病原体の検査

- (1) 衛生研究所は、検査票及び検体が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を次のとおり通知する。
ア 1類感染症、2類感染症、3類感染症、4類感染症、全数把握対象の5類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症の場合は、保健センターを経由して診断した医師に通知するとともに、保健センター及び保健所に通知する。
イ 定点把握対象の5類感染症の場合は、病原体定点に通知する。
- (2) 検査のうち、衛生研究所において実施することが困難なものについては、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。
- (3) 衛生研究所は、患者が1類感染症と診断されている場合及び市域を超えた集団発生があった場合等の緊急の場合にあっては、厚生労働省健康局結核感染症課からの依頼に基づき、検体を国立感染症研究所に送付する。

9 積極的疫学調査

積極的疫学調査が行われる場合としては、①1類感染症、2類感染症、3類感染症、4類感染症、新型インフルエンザ等感染症又は指定感染症が発生した場合、②5類感染症等に係る感染症発生動向調査において通常と異なる傾向が認められた場合等が考えられるが、個別の事例に応じ、適切な判断に基づき調査を行うものとする。また、積極的疫学調査を行う場合にあっては、関係者の理解と協力を得つつ、関係機関と密接な連携を図ることにより、地域における詳細な流行状況や原因不明の感染症等の迅速な把握を進めていく。

附 則

1 この要綱は、昭和62年1月1日から施行する。

2 この要綱の施行に伴い、広島市感染症サーベイランス事業実施要綱（昭和56年11月29日施行）は廃止する。

附 則

この要綱は、平成2年1月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成4年1月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成10年1月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成14年11月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成15年11月5日から施行する。

附 則

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年1月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年5月12日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年12月28日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年5月6日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年10月14日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年1月21日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年5月21日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年2月15日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年1月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年5月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和元年5月8日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年5月29日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年2月13日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年10月31日から施行する。

別記

結核の患者情報の項目

1 新登録患者（月報）

- (1) 患者の生年月日及び性別
- (2) 登録までの状況
- (3) 病状及び治療状況

2 登録者（年報）

- (1) 登録者の生年月及び性別
- (2) 登録当時の状況
- (3) 現在の病状及び治療状況
- (4) 病状等の経過

3 登録除外者（年報）

- (1) 登録除外者の生年月及び性別
- (2) 登録時以降の経過の概要
- (3) 除外年月日及び除外理由

別表 1

全数把握の対象

類型	対象疾患	対象とする感染症患者等の状態(注)			調査単位 (届出時期)
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	
1類	* ⁽¹⁾ エボラ出血熱	○	○	○	診断後直ちに
	* ⁽²⁾ クリミア・コンゴ出血熱	○	○	○	
	* ⁽³⁾ 痘そう	○	○	○	
	* ⁽⁴⁾ 南米出血熱	○	○	○	
	* ⁽⁵⁾ ベスト	○	○	○	
	* ⁽⁶⁾ マールブルグ病	○	○	○	
	* ⁽⁷⁾ ラッサ熱	○	○	○	
2類	* ⁽⁸⁾ 急性灰白髄炎	○	×	○	診断後直ちに
	* ⁽⁹⁾ 結核	○	○	○	
	* ⁽¹⁰⁾ ジフリリア	○	×	○	
	重症急性呼吸器症候群(病原体がペータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る)	○	○	○	
	中東呼吸器症候群(病原体がペータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る)	○	○	○	
	* ⁽¹³⁾ 鳥インフルエンザ(H5N1)	○	○	○	
	* ⁽¹⁴⁾ 鳥インフルエンザ(H7N9)	○	○	○	
3類	* ⁽¹⁵⁾ コレラ	○	×	○	診断後直ちに
	* ⁽¹⁶⁾ 細菌性赤痢	○	×	○	
	* ⁽¹⁷⁾ 腸管出血性大腸菌感染症	○	×	○	
	* ⁽¹⁸⁾ 腸チフス	○	×	○	
	* ⁽¹⁹⁾ ハラチフス	○	×	○	
	* ⁽²⁰⁾ E型肝炎	○	×	○	
	* ⁽²¹⁾ ウェストナイル熱(ウェストナイル脳炎を含む)	○	×	○	
4類	(22) A型肝炎	○	×	○	診断後直ちに
	* ⁽²³⁾ エキノコックス症	○	×	○	
	* ⁽²⁴⁾ 賣熱	○	×	○	
	* ⁽²⁵⁾ オウム病	○	×	○	
	* ⁽²⁶⁾ オムスク出血熱	○	×	○	
	* ⁽²⁷⁾ 回帰熱	○	×	○	
	* ⁽²⁸⁾ チリックル森林病	○	×	○	
5類	* ⁽²⁹⁾ Q熱	○	×	○	診断から7日以内
	* ⁽³⁰⁾ 狂犬病	○	×	○	
	* ⁽³¹⁾ コクシソイディス症	○	×	○	
	* ⁽³²⁾ サル痘	○	×	○	
	* ⁽³³⁾ シカワイルス感染症	○	×	○	
	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る)	○	×	○	
	* ⁽³⁵⁾ 腎症候性出血熱(HFRS)	○	×	○	
新型インフルエンザ等 感染症	* ⁽³⁶⁾ 西部ウマ脳炎	○	×	○	診断後直ちに
	* ⁽³⁷⁾ タニ媒介脳炎	○	×	○	
	* ⁽³⁸⁾ 炭疽	○	×	○	
	* ⁽³⁹⁾ チクングニア熱	○	×	○	
	* ⁽⁴⁰⁾ つづが虫病	○	×	○	
	* ⁽⁴¹⁾ デング熱	○	×	○	
	* ⁽⁴²⁾ 東部ウマ脳炎	○	×	○	
指定感染症	* ⁽⁴³⁾ 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	○	×	○	診断後直ちに
	* ⁽⁴⁴⁾ ヒト細胞感染症	○	×	○	
	* ⁽⁴⁵⁾ 日本紅斑熱	○	×	○	
	* ⁽⁴⁶⁾ 日本脳炎	○	×	○	
	* ⁽⁴⁷⁾ ハンタウイルス肺症候群(HPS)	○	×	○	
	* ⁽⁴⁸⁾ Bウイルス病	○	×	○	
	* ⁽⁴⁹⁾ 暴瘍	○	×	○	
指定感染症	* ⁽⁵⁰⁾ フルセラ症	○	×	○	診断後直ちに
	* ⁽⁵¹⁾ ベネズエラウマ脳炎	○	×	○	
	* ⁽⁵²⁾ ヘントラウイルス感染症	○	×	○	
	* ⁽⁵³⁾ 脊しんチフス	○	×	○	
	* ⁽⁵⁴⁾ ホツリス症	○	×	○	
	(55) マラリア	○	×	○	
	* ⁽⁵⁶⁾ 野兔病	○	×	○	
指定感染症	* ⁽⁵⁷⁾ ライム病	○	×	○	診断後直ちに
	* ⁽⁵⁸⁾ リッサウイルス感染症	○	×	○	
	* ⁽⁵⁹⁾ リフトバレー熱	○	×	○	
	* ⁽⁶⁰⁾ 類鼻疽	○	×	○	
	* ⁽⁶¹⁾ レジンネラ症	○	×	○	
	* ⁽⁶²⁾ レフトスピラ症	○	×	○	
	* ⁽⁶³⁾ ロッキー山紅斑熱	○	×	○	
指定感染症	(64) アーベバ赤痢	○	×	×	診断から7日以内
	(65) ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)	○	×	×	
	* ⁽⁶⁶⁾ リノバーム耐性腸内細菌科細菌感染症	○	×	×	
	* ⁽⁶⁷⁾ 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	○	×	×	
	急性脳炎(ウェストウイルス脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	○	×	×	
	(69) クリプトスポリジウム症	○	×	×	
	(70) クロイツフェルト・ヤコブ病	○	×	×	
指定感染症	* ⁽⁷¹⁾ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○	×	×	診断後直ちに
	(72) 後天性免疫不全症候群	○	×	○	
	(73) ジアルジア症	○	×	×	
	* ⁽⁷⁴⁾ 侵襲性インフルエンザ菌感染症	○	×	×	
	* ⁽⁷⁵⁾ 侵襲性膿膜炎菌感染症	○	×	×	
	* ⁽⁷⁶⁾ 侵襲性肺炎球菌感染症	○	×	×	
	(77) 水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る)	○	×	×	
指定感染症	* ⁽⁷⁸⁾ 先天性風疹症候群	○	×	×	診断後直ちに
	(79) 梅毒	○	×	○	
	(80) 種種性クリプトコックス症	○	×	×	
	(81) 破傷風	○	×	×	
	* ⁽⁸²⁾ ハンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	×	×	
	* ⁽⁸³⁾ パンコマイシン耐性腸球菌感染症	○	×	×	
	(84) 百日咳	○	×	×	
指定感染症	* ⁽⁸⁵⁾ 風しん	○	×	×	診断後直ちに
	* ⁽⁸⁶⁾ 麻しん	○	×	×	
	* ⁽⁸⁷⁾ 美剤耐性アシメトバクター感染症	○	×	×	
	(112) 新型インフルエンザ	○	○	○	
	(113) 再興型インフルエンザ	○	○	○	
	(114) 新型コロナウイルス感染症	○	○	○	
	(115) 再興型コロナウイルス感染症	○	○	○	
該当なし					

* 必要に応じて病原体検査を行うもの

(注) 国の届出基準により診断されたもの

別表 2

定点把握の対象(5類感染症)

対象疾患	対象とする感染症患者等の状態(注)			調査単位 (届出時期)	報告 (届出)
	患者	疑似症患者	無症状病原体保有者		
◆(88) RSウイルス感染症	○	×	×	5類	小児科定点
◆(89) 咽頭結膜熱	○	×	×		
◆(90) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	×	×		
◆(91) 感染性胃腸炎	○	×	×		
◆(92) 水痘	○	×	×		
◆(93) 手足口病	○	×	×		
◆(94) 伝染性紅斑	○	×	×		
◆(95) 突発性発しん	○	×	×		
◆(96) ヘルパンギーナ	○	×	×		
◆(97) 流行性耳下腺炎	○	×	×		
インフルエンザ(鳥インフルエンザ) ◆(98) 及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	○	×	×		インフルエンザ定点
◆(99) 急性出血性結膜炎	○	×	×		眼科定点
◆(100) 流行性角結膜炎	○	×	×		
(101) 性器クラミジア感染症	○	×	×		性感染症定点
(102) 性器ヘルペスウイルス感染症	○	×	×		
(103) 尖圭コンジローマ	○	×	×		
(104) 淋菌感染症	○	×	×		
◆(91) 感染性胃腸炎※	○	×	×	5類	基幹定点
(105) クラミジア肺炎(オウム病を除く)	○	×	×		
細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌)	○	×	×		
◆(106) 菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	○	×	×		
(107) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	○	×	×		
(108) マイコプラズマ肺炎	○	×	×		
◆(109) 無菌性髄膜炎	○	×	×		
(110) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	×	×		
(111) 薬剤耐性綠膿菌感染症	○	×	×		

◆ 病原体定点の対象

(注) 国の届出基準により診断されたもの

※ 病原体がロタウイルスであるものに限る。

法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

対象疾患	届出基準	調査単位 (届出時期)	報告 (届出)
(116)発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。	指定届出機関の管理者は、当該指定届出機関の医師が、左記の定義を満たす者を診察したときは、当該症状が二類感染症、三類感染症、四類感染症又は五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合及び感染症法の対象外の感染性疾患であることが明らかな場合を除き、法第14条第2項の規定による届出を直ちにしなければならない。	診断後直ちに	疑似症定点

別表 3

定点数と区別の内訳

定 点	定点数	中区	東区	南区	西区	安佐南区	安佐北区	安芸区	佐伯区
小児科定点	24	3	3	3	3	4	3	2	3
内科定点	13	2	1	2	2	2	2	1	1
インフルエンザ定点 (小児科及び内科定点の計)	37	5	4	5	5	6	5	3	4
眼科定点	8	1	1	2	1	1	1	—	1
性感染症定点	9	1	1	1	2	1	1	—	2
基幹定点	7	4	1	1	—	—	1	—	—
疑似症定点	9	6	0	2	0	0	1	0	0
病原体定点	15	8	1	2	1	1	1	1	—
指定提出機関	5	1	—	1	1	1	—	1	—

第3節 広島市感染症対策協議会設置要領

(趣旨)

第1 この要領は、広島市感染症発生動向調査事業実施要綱第5の5の規定に基づき、広島市感染症対策協議会（以下「協議会」という。）の所掌事務、組織及び委員並びにその運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2 協議会は、防疫対策の的確かつ効果的な推進及び結核・感染症発生動向調査事業の適切な運用を図るため、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 感染症の予防対策及び緊急対策に関すること。
- (2) 情報の解析評価等に関すること。
- (3) その他必要な事項に関すること。

(組織)

第3 協議会は、委員16人以内をもって組織する。

(委員)

第4 委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が依頼し、又は指定する。

- (1) 学識経験者
- (2) 各疾病の専門医
- (3) 本市の区域内の各医師会の代表者
- (4) その他市長が必要と認める者

- 2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 3 委員は、再任することができる。

(委員長及び副委員長)

第5 協議会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 委員長は、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6 協議会は、委員長が必要に応じ招集し、委員長が議長となる。

(部会)

第7 協議会は、必要に応じ、専門部会を設ける。

- (1) 結核部会
- (2) その他必要に応じた専門部会

(部会の運営)

- 第8 部会に属する委員は、委員長が指名する。
- 2 部会に部会長を置き、委員の互選によって定める。
 - 3 部会長は、会務を総理する。
 - 4 部会長に事故あるときは、部会長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。

(庶務)

- 第9 協議会の庶務は、保健所健康推進課において処理する。

(委任規定)

- 第10 この要領に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、委員長が協議会に諮って定める。

附 則

- 1 この要領は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 この要領の施行に伴い、広島市結核・感染症発生動向調査委員会設置要領（昭和62年1月1日施行）は廃止する。

附 則

この要領は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成14年6月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成31年1月23日から施行する。

第2章 感染症の概要

第1節 感染症の発生概要

1 全数把握対象感染症の概要

(1) 1類感染症

届出はなかった。

(2) 2類感染症

結核の届出が 91 件あり、うち無症状病原体保有者は 43 件であった。

(3) 3類感染症

腸管出血性大腸菌感染症の届出が 24 件あり、うち 9 件は 7 月の届出であった。

血清型別の内訳は、O157 が 13 件、O26 が 7 件、O91 が 1 件、O111 が 1 件、O152 が 1 件、O26・O157 同時検出が 1 件であった。

(4) 4類感染症

E型肝炎他 7 疾患の届出があった。その内訳は、報告数の多い順にレジオネラ症（31 件）、日本紅斑熱（14 件）、つつが虫病（11 件）、E型肝炎（2 件）、重症熱性血小板減少症候群（2 件）、デング熱（1 件）、日本脳炎（1 件）、マラリア（1 件）であった。日本紅斑熱は、過去最多であった。

(5) 5類感染症

アメーバ赤痢他 13 疾患の届出があり、全報告数は 396 件であった。

梅毒は 317 件の届出があり、感染症法施行以降において最多であった。性別では男性が 68.5%と多かった。年齢別では 20～50 代が 90.9%を占め、男性は 20 代から 50 代の幅広い年代に多く、女性は 20 代が最も多かった。病型の内訳は、早期顕症梅毒（Ⅰ期）が 163 件、早期顕症梅毒（Ⅱ期）が 97 件、晚期顕症梅毒が 4 件、先天梅毒が 2 件、無症候が 51 件であった。感染経路は 90.2%が性的接触によるもので、その内訳は、異性間 251 件、同性間 15 件、同・異性間 1 件、不明 19 件であった。

(6) 新型インフルエンザ等感染症

新型コロナウイルス感染症は 299,626 件の届出があり、令和 3 年（10,804 件）の約 28 倍と大きく增加了。

2 定点把握対象 5類感染症の概要

各感染症の定点当たり年間累積報告数について、広島市と全国の比較を週報対象の疾患は図 1-1 に、月報対象の疾患は図 1-2 に示す。

年間定点当たり累積報告数の上位 5 疾患は、多い順に感染性胃腸炎、RS ウィルス感染症、手足口病、性器クラミジア感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症であった。また、新型コロナウイルス感染症の流行前と比べると多くの感染症が減少しており、過去 5 年の年間定点当たり累積報告数の平均値を上回った疾患は、RS ウィルス感染症、無菌性髄膜炎、尖圭コンジローマ、細菌性髄膜炎であった。

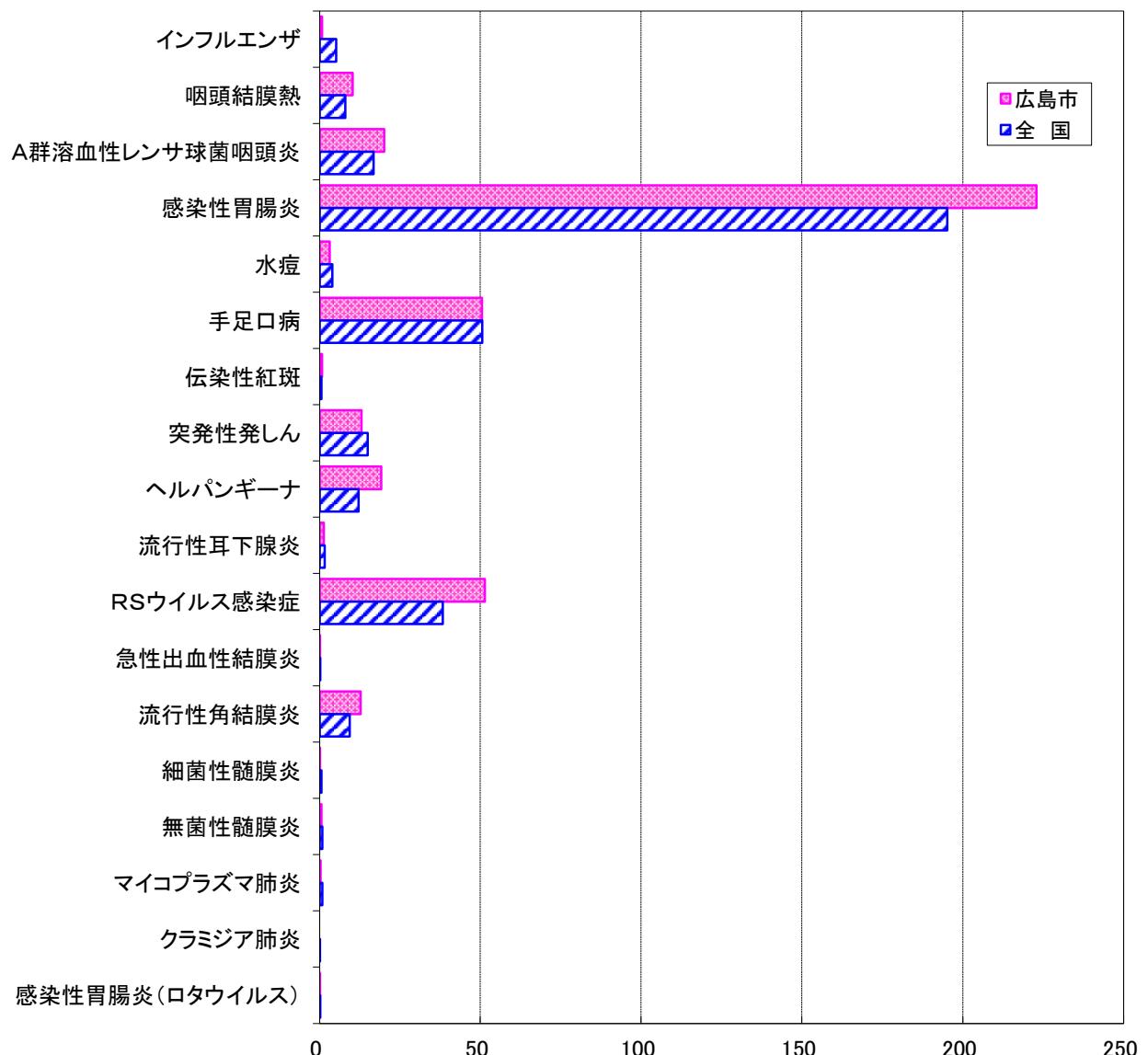


図1-1 広島市及び全国の週報対象疾患定点当たり年間累積報告数

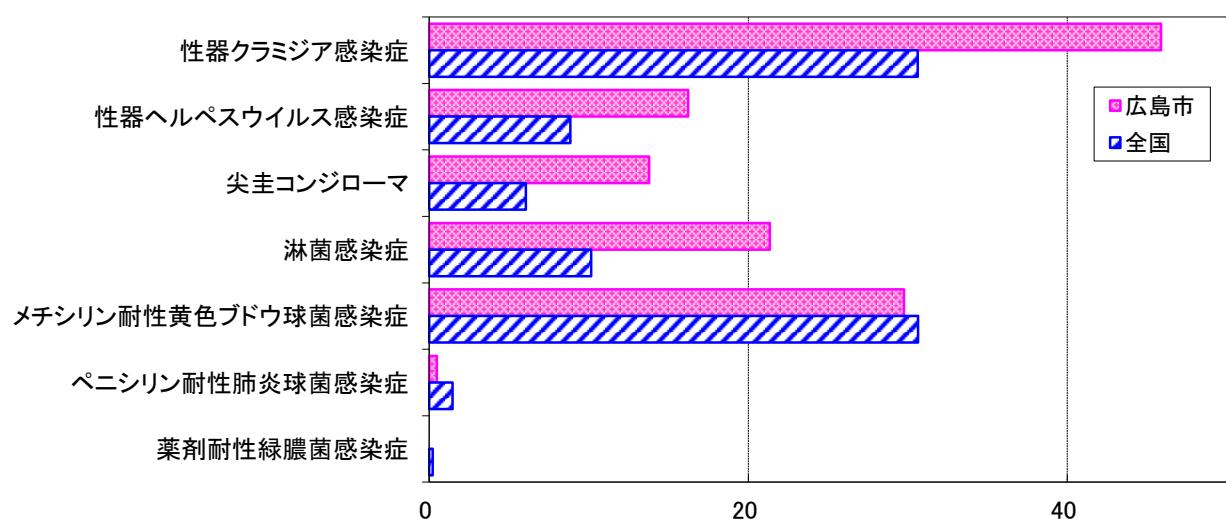


図1-2 広島市及び全国の月報対象疾患定点当たり年間累積報告数

第2節 感染症の発生状況

1 全数把握対象感染症

(1) 全数把握感染症届出数

広島市と全国における全数把握対象感染症届出数を表 1-1 に、広島市における過去 5 年間の全数把握対象感染症届出数を表 1-2 に示す。

(2) 2 類感染症患者発生状況（結核を除く。）

発生なし

(3) 3 類感染症患者発生状況

3 類感染症患者発生状況を表 2 に示す。

(4) 4 類感染症患者発生状況

4 類感染症患者発生状況を表 3 に示す。

(5) 5 類感染症患者発生状況

5 類感染症患者発生状況を表 4 に示す。

2 定点把握対象 5 類感染症

(1) 広島市の定点把握対象 5 類感染症発生状況

週報対象の疾患について、週別報告状況を表 5-1 及び表 5-2 に示す。また、月別報告状況を、週報対象の疾患については表 6-1 に、月報対象の疾患については表 6-2 に示す。

年齢階層別報告状況を、週報対象の疾患については表 7-1 に、月報対象の疾患については表 7-2 に示す。

(2) 全国の定点把握対象 5 類感染症発生状況

週報対象の疾患について、週別報告状況を表 8-1、表 8-2 及び表 8-3 に示す。

また、月別報告状況を、週報対象の疾患については表 9-1 に、月報対象の疾患については表 9-2 に示す。

表1-1 全数把握感染症報告数(令和4年)

類型	疾 患 名	広島市	全 国
1類	エボラ出血熱	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-
	痘そう	-	-
	南米出血熱	-	-
	ベスト	-	-
	マールブルグ病	-	-
2類	ラッサ熱	-	-
	急性灰白髄炎	-	-
	結核	別記	14,798
	ジフテリア	-	-
	重症急性呼吸器症候群(病原体がペータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	-	-
	中東呼吸器症候群(病原体がペータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	-	-
3類	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-
	コレラ	-	1
	細菌性赤痢	-	16
	腸管出血性大腸菌感染症	24	3,370
	腸チフス	-	16
4類	バラチフス	-	10
	E型肝炎	2	435
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	-	-
	A型肝炎	-	69
	エキノコックス症	-	28
	黄熱	-	-
5類	オウム病	-	12
	オムスク出血熱	-	-
	回帰熱	-	25
	キヤサヌル森林病	-	-
	Q熱	-	-
	狂犬病	-	-
新型インフルエンザ等	コクシジョイデス症	-	2
	サル痘	-	7
	ジカウイルス感染症	-	-
	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	2	118
	腎症候性出血熱	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-
新型インフルエンザ等	タニ媒介脳炎	-	-
	炭疽	-	-
	チケンギニア熱	-	5
	つつが虫病	11	492
	デング熱	1	98
	東部ウマ脳炎	-	-
新型インフルエンザ等	鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く。)	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-
	日本紅斑熱	14	457
	日本脳炎	1	5
	ハンタウイルス肺症候群	-	-
	Bウイルス病	-	-
新型インフルエンザ等	鼻疽	-	-
	ブルセラ症	-	1
	ベネズエラウマ脳炎	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-
	発しんチフス	-	-
	ボツリヌス症	-	1
新型インフルエンザ等	マラリア	1	31
	野兎病	-	-
	ライム病	-	14
	リッサウイルス感染症	-	-
	リフトバレー熱	-	-
	類鼻疽	-	2
新型インフルエンザ等	レジオネラ症	31	2,143
	レプトスピラ症	-	38
	ロッキー山紅斑熱	-	-
	アメーバ赤痢	4	533
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	4	211
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	8	2,015
新型インフルエンザ等	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	1	41
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、タニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	11	399
	クリプトスボリジウム症	-	7
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	172
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5	708
	後天性免疫不全症候群	11	893
新型インフルエンザ等	ジアルジア症	-	32
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	211
	侵襲性膿膜炎菌感染症	-	8
	侵襲性肺炎球菌感染症	6	1,347
	水痘(入院例に限る。)	5	327
	先天性風しん症候群	-	-
新型インフルエンザ等	梅毒	317	13,221
	播種性クリプトコックス症	-	159
	破傷風	3	96
	パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	13	133
	百日咳	5	491
新型インフルエンザ等	風しん	-	15
	麻しん	-	6
	薬剤耐性アシнетバクター感染症	-	13
	新型インフルエンザ	-	-
	再興型インフルエンザ	-	-
	新型コロナウイルス感染症*	299,626	27,623,831
新型インフルエンザ等	再興型コロナウイルス感染症	-	-

*全国の報告数:出典 厚生労働省ホームページ記者発表資料

表1-2 全数把握感染症報告数(過去5年間)

類型	疾 患 名	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
1類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-	-
	ペスト	-	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-	-	-	-
2類	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-	-
	結核			別記	別記	別記	別記
	ジフテリア	-	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	-	-	-	-	-	-
	中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-	-	-	-
3類	コレラ	-	-	-	-	-	-
	細菌性赤痢	1	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	17	9	18	24	21	24
	腸チフス	-	1	-	-	-	-
	バラチフス	-	-	-	1	-	-
	巨型肝炎	-	5	2	6	5	2
	ウエストナイル熱(ウェストナイル脳炎を含む)	-	-	-	-	-	-
4類	A型肝炎	3	1	8	1	2	-
	エキノコックス症	-	-	-	-	-	-
	黄熱	-	-	-	-	-	-
	オウム病	-	-	-	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-	-
	回帰熱	-	-	-	-	-	-
	キャサヌル森林病	-	-	-	-	-	-
5類	Q熱	-	-	-	-	-	-
	狂犬病	-	-	-	-	-	-
	コクシジョイデス症	-	-	-	-	-	-
	サル痘	-	-	-	-	-	-
	ジカウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	-	-	1	3	1	2
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-	-
6類	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-	-
	チケンギニア熱	-	-	-	-	-	-
	つつが虫病	20	10	8	9	6	11
	デング熱	3	2	5	1	-	1
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-
7類	鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1)及びH7N9)を除く。)	-	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	2	5	1	4	6	14
	日本脳炎	2	-	1	-	-	1
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	-	-	-
8類	ブルセラ症	-	-	-	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	-	-	-
	ボツリヌス症	-	-	-	-	-	-
	マラリア	3	-	-	-	-	1
	野兎病	-	-	-	-	-	-
9類	ライム病	-	-	-	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	-	-	-
	類鼻疽	-	-	-	-	-	-
	レジオネラ症	23	39	29	17	37	31
	レブトスピラ症	-	1	-	-	-	-
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-	-
10類	アメーバ赤痢	9	11	10	5	4	4
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	1	6	9	2	6	4
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	8	15	8	14	10	8
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	-	2	-	-	1	1
	急性脳炎(ウェストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	4	5	18	7	2	11
	クリプトスボリジウム症	-	-	-	-	-	-
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	4	4	3	1	3
11類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	6	10	8	3	5
	後天性免疫不全症候群	11	9	11	9	7	11
	ジアルジア症	-	-	1	-	-	-
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	2	3	2	1	-
	侵襲性髓膜炎菌感染症	-	-	1	-	-	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	16	27	19	7	6
	水痘(入院例に限る。)	-	2	3	-	1	5
12類	先天性風しん症候群	-	-	-	-	-	-
	梅毒	62	105	74	71	105	317
	播種性クリプトコックス症	1	1	3	-	1	-
	破傷風	-	2	-	1	2	3
	パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	1	1	6	15	13
	百日咳	-	61	95	40	3	5
13類	風しん	-	16	13	-	-	-
	麻しん	-	-	6	-	-	-
	薬剤耐性アシнетバクター感染症	-	-	-	-	-	-
	新型インフルエンザ	-	-	-	-	-	-
	再興型インフルエンザ	-	-	-	-	-	-
	新型コロナウイルス感染症*	-	-	-	2,464	10,804	299,626
	再興型コロナウイルス感染症	-	-	-	-	-	-

*全国の報告数:出典 厚生労働省ホームページ記者発表資料

表2 3類感染症患者発生状況

腸管出血性大腸菌感染症

番号	届出月日	発生区	性別	年齢	血清型	毒素型
1	6/3	安佐南	男	15	O26:HNM(Hg11)	VT1
2	6/3	佐伯	男	15	O26:HNM(Hg11)	VT1
3	6/7	安佐南	男	1	O26:HUT(Hg11)	型不明
4	6/11	安佐南	男	4	O26:H11	VT1
5	6/21	東	男	11	O157:H7	型不明
6	6/28	東	男	47	O157:H7	型不明
7	6/28	東	男	14	O157:H7	型不明
8	7/5	中	女	23	O157:H7	型不明
9	7/15	西	女	63	O26:H11	VT1
10	7/19	中	男	19	O157:H7	型不明
11	7/20	中	女	71	O111:HNM(Hg8)	VT1VT2
12	7/20	南	女	52	O157:H7	型不明
13	7/25	安佐南	女	21	O157:HUT(Hg7),O26:H11	型不明
14	7/28	西	女	20	O157:H7	型不明
15	7/26	中	男	22	O157:H7	VT1VT2
16	7/30	東	女	77	O26:H11	VT1
17	8/9	東	男	41	O26:H11	VT1
18	8/22	安佐南	男	37	O157:H7	型不明
19	8/22	西	女	24	O152:HNM(Hg8)	VT1
20	8/23	南	女	53	O157:H7	型不明
21	8/30	安佐南	女	48	O157:HNM(Hg7)	VT1VT2
22	9/29	南	女	24	O157:HNM(Hg7)	VT1
23	9/30	南	女	54	O91:HUT(Hg14)	VT1
24	10/25	西	男	48	O157:H7	VT2

表3 4類感染症患者発生状況一覧表(区は届出医療機関の所在地)

E型肝炎

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	6/14	中	男	44
2	8/2	中	女	41

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	6/14	中	男	44
2	8/2	中	女	41

つつが虫病

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	11/4	安佐北	女	64
2	11/7	安芸	男	48
3	11/11	西	女	73
4	11/14	安佐北	女	59
5	11/17	中	女	91
6	11/25	安佐北	女	75
7	11/22	安佐南	男	78
8	11/25	安佐北	男	71
9	11/29	安佐北	男	75
10	11/18	西	男	70
11	12/5	安芸	女	68

デング熱

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	10/6	南	女	27

日本紅斑熱

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	6/29	南	女	77
2	7/22	佐伯	女	41
3	8/5	佐伯	男	67
4	8/12	佐伯	男	67
5	8/17	佐伯	女	68
6	8/17	佐伯	女	65
7	8/24	西	男	76
8	8/25	佐伯	男	78
9	9/1	西	女	10
10	9/2	安佐北	男	72
11	10/18	南	男	64
12	10/19	南	女	73
13	10/28	中	男	65
14	11/18	佐伯	女	68

次頁へ続く

日本脳炎

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	2/1	佐伯	女	88

マラリア

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	6/17	南	男	27

レジオネラ症

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	1/11	安佐南	女	44
2	1/12	中	男	53
3	1/24	安佐北	男	93
4	2/1	西	男	72
5	2/28	安佐南	男	93
6	4/18	安佐南	男	64
7	4/19	安佐南	男	59
8	4/25	西	男	58
9	5/6	西	男	72
10	5/6	西	男	78
11	5/23	安佐北	男	72
12	5/25	安佐北	男	78
13	5/25	安佐北	男	73
14	6/10	安佐北	男	50
15	6/24	西	男	83
16	7/1	東	男	70
17	7/2	安佐北	男	59
18	7/5	中	女	68
19	7/5	佐伯	男	70
20	7/14	佐伯	男	58
21	7/29	南	男	64
22	7/29	安佐南	男	64
23	7/29	安佐南	男	73
24	8/1	南	男	74
25	8/12	佐伯	女	75
26	8/15	東	女	89
27	9/3	佐伯	男	68
28	10/1	西	男	57
29	10/29	佐伯	男	76
30	11/14	安佐南	男	75
31	11/29	安佐南	男	68

表4 5類感染症患者発生状況一覧表(区は届出医療機関の所在地)

アメーバ赤痢

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	5/30	東	男	70
2	7/6	西	男	50
3	7/19	中	男	50
4	9/14	中	男	60

ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)

番号	届出月日	区	性別	年齢	病型
1	4/19	中	女	54	サイトメガロ
2	6/7	中	男	63	サイトメガロ
3	6/20	中	男	23	EB
4	6/23	中	女	22	B

カルバペネム腸内細菌科細菌感染症

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	2/3	安佐南	女	86
2	2/10	中	女	83
3	4/11	東	男	90
4	4/16	中	女	73
5	4/27	中	女	88
6	5/26	東	男	89
7	10/13	安佐北	男	61
8	11/24	南	男	82

急性弛緩性麻痺

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	5/18	中	男	1

急性脳炎

番号	届出月日	区	性別	年齢	病原体
1	1/24	中	女	1	不明
2	3/24	中	男	9	不明
3	5/16	中	男	4	不明
4	6/27	南	男	3	ノロウイルス
5	7/14	南	女	2	新型コロナウイルス
6	7/21	中	女	1	HHV6
7	9/2	中	男	7	新型コロナウイルス
8	9/15	中	男	5	新型コロナウイルス
9	9/30	中	女	1	ヒトボカウイルス
10	10/13	中	男	6	不明
11	12/20	南	女	6	不明

次頁へ続く

クロイツェルト・ヤコブ病

番号	届出月日	区	性別	年齢	病型
1	1/13	中	女	92	孤発性疑い
2	6/14	中	女	77	孤発性ほぼ確実
3	11/25	南	女	64	孤発性ほぼ確実

劇症型溶血性レンサ球菌感染症

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	2/8	南	女	86
2	2/9	安佐北	女	50
3	7/26	南	男	75
4	7/27	南	男	30
5	8/10	安佐北	女	87

後天性免疫不全症候群

番号	届出月日	区	性別	年齢	病名
1	1/31	南	男	36	AIDS
2	3/10	南	男	32	無症候性キャリア
3	5/9	中	男	67	AIDS
4	5/27	南	男	21	無症候性キャリア
5	6/1	南	男	24	無症候性キャリア
6	8/17	中	男	29	AIDS
7	9/6	南	男	39	無症候性キャリア
8	9/16	南	男	24	無症候性キャリア
9	10/28	南	男	29	AIDS
10	11/4	南	男	45	AIDS
11	11/17	南	男	42	無症候性キャリア

侵襲性肺炎球菌感染症

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	4/19	安佐北	女	91
2	6/3	中	女	3
3	7/8	中	女	0
4	7/12	南	女	53
5	9/26	中	女	30
6	12/7	南	女	0

水痘(入院例に限る)

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	2/15	中	男	17
2	2/18	安佐南	男	87
3	3/18	安佐北	男	66
4	4/20	中	男	12
5	12/15	中	男	60

次頁へ続く

梅毒

番号	届出月日	区	性別	年齢	病名
1	1/4	中	男	41	無症候
2	1/4	佐伯	男	61	早期顎症(Ⅰ期)
3	1/4	安佐南	男	60	早期顎症(Ⅰ期)
4	1/7	中	男	52	早期顎症(Ⅱ期)
5	1/11	東	男	39	早期顎症(Ⅰ期)
6	1/11	中	男	62	早期顎症(Ⅰ期)
7	1/11	安佐南	男	43	早期顎症(Ⅰ期)
8	1/12	中	男	57	早期顎症(Ⅰ期)
9	1/14	中	女	27	無症候
10	1/15	東	女	78	無症候
11	1/17	東	男	35	早期顎症(Ⅱ期)
12	1/18	中	女	22	無症候
13	1/18	中	男	52	早期顎症(Ⅰ期)
14	1/21	中	男	42	早期顎症(Ⅰ期)
15	1/24	中	女	24	無症候
16	1/24	安佐北	男	56	早期顎症(Ⅰ期)
17	1/25	中	男	29	早期顎症(Ⅰ期)
18	1/25	安佐南	男	50	早期顎症(Ⅰ期)
19	2/2	佐伯	男	46	早期顎症(Ⅰ期)
20	2/3	中	男	48	早期顎症(Ⅰ期)
21	2/3	中	男	49	早期顎症(Ⅰ期)
22	2/7	中	男	35	早期顎症(Ⅰ期)
23	2/7	中	男	58	早期顎症(Ⅱ期)
24	2/8	中	男	40	早期顎症(Ⅰ期)
25	2/9	中	男	48	無症候
26	2/10	中	男	57	早期顎症(Ⅰ期)
27	2/15	佐伯	男	49	無症候
28	2/15	南	男	41	早期顎症(Ⅰ期)
29	2/19	南	男	40	無症候
30	2/19	中	男	55	早期顎症(Ⅰ期)
31	2/21	安佐南	女	35	早期顎症(Ⅱ期)
32	2/22	中	男	48	早期顎症(Ⅰ期)
33	2/25	中	女	25	早期顎症(Ⅰ期)
34	2/27	中	男	44	早期顎症(Ⅰ期)
35	2/28	中	男	23	早期顎症(Ⅱ期)
36	3/3	中	女	23	早期顎症(Ⅱ期)
37	3/4	中	女	25	早期顎症(Ⅰ期)
38	3/7	中	女	38	無症候
39	3/8	中	女	37	早期顎症(Ⅰ期)
40	3/8	南	男	46	晚期顎症
41	3/8	南	男	81	晚期顎症
42	3/9	中	女	27	早期顎症(Ⅰ期)
43	3/10	中	女	22	早期顎症(Ⅰ期)
44	3/11	中	男	20	早期顎症(Ⅰ期)

次頁へ続く

梅毒

番号	届出月日	区	性別	年齢	病名
45	3/14	中	女	33	無症候
46	3/14	中	男	45	早期顎症(Ⅰ期)
47	3/17	南	女	43	無症候
48	3/17	安佐南	女	30	早期顎症(Ⅱ期)
49	3/18	南	男	41	早期顎症(Ⅰ期)
50	3/18	安佐北	男	34	早期顎症(Ⅱ期)
51	3/24	安佐南	女	64	早期顎症(Ⅰ期)
52	3/24	安佐南	男	56	早期顎症(Ⅱ期)
53	3/25	南	男	39	早期顎症(Ⅰ期)
54	3/28	中	女	22	早期顎症(Ⅱ期)
55	3/30	南	男	68	晚期顎症
56	4/4	中	男	46	早期顎症(Ⅰ期)
57	4/6	中	女	42	無症候
58	4/7	西	男	68	早期顎症(Ⅰ期)
59	4/8	中	男	25	早期顎症(Ⅰ期)
60	4/11	中	男	46	早期顎症(Ⅰ期)
61	4/11	東	男	29	早期顎症(Ⅱ期)
62	4/11	中	男	41	早期顎症(Ⅰ期)
63	4/11	中	男	43	早期顎症(Ⅰ期)
64	4/11	安佐北	男	39	早期顎症(Ⅱ期)
65	4/12	中	女	32	早期顎症(Ⅱ期)
66	4/12	西	男	57	早期顎症(Ⅰ期)
67	4/14	中	男	27	無症候
68	4/15	安佐南	男	55	早期顎症(Ⅰ期)
69	4/15	中	男	56	早期顎症(Ⅱ期)
70	4/15	中	男	29	早期顎症(Ⅰ期)
71	4/15	南	男	74	無症候
72	4/18	安佐南	女	53	早期顎症(Ⅱ期)
73	4/19	中	男	46	早期顎症(Ⅰ期)
74	4/19	中	男	48	早期顎症(Ⅰ期)
75	4/19	中	男	40	早期顎症(Ⅰ期)
76	4/19	中	女	25	早期顎症(Ⅱ期)
77	4/22	中	男	38	早期顎症(Ⅱ期)
78	4/22	南	男	29	早期顎症(Ⅱ期)
79	4/25	中	女	19	無症候
80	4/25	中	男	49	早期顎症(Ⅱ期)
81	4/25	中	男	49	早期顎症(Ⅰ期)
82	4/25	南	男	26	早期顎症(Ⅰ期)
83	4/25	西	男	55	無症候
84	4/26	南	男	38	無症候
85	4/27	中	女	47	早期顎症(Ⅱ期)
86	4/28	西	女	46	早期顎症(Ⅰ期)
87	4/28	安佐南	男	32	早期顎症(Ⅰ期)
88	5/2	中	男	61	早期顎症(Ⅰ期)

次頁へ続く

梅毒

番号	届出月日	区	性別	年齢	病名
89	5/2	中	男	60	早期顎症(Ⅰ期)
90	5/10	南	男	38	早期顎症(Ⅰ期)
91	5/11	中	男	47	早期顎症(Ⅰ期)
92	5/10	西	女	23	早期顎症(Ⅱ期)
93	5/12	南	男	21	早期顎症(Ⅰ期)
94	5/12	南	男	27	無症候
95	5/13	南	男	28	早期顎症(Ⅰ期)
96	5/13	南	男	24	早期顎症(Ⅱ期)
97	5/13	南	男	24	無症候
98	5/16	中	男	28	早期顎症(Ⅰ期)
99	5/16	中	女	24	早期顎症(Ⅱ期)
100	5/16	中	女	51	早期顎症(Ⅰ期)
101	5/17	中	男	42	早期顎症(Ⅰ期)
102	5/17	西	女	52	早期顎症(Ⅱ期)
103	5/18	中	男	44	早期顎症(Ⅰ期)
104	5/18	中	女	36	早期顎症(Ⅰ期)
105	5/19	佐伯	男	33	早期顎症(Ⅰ期)
106	5/20	南	男	49	早期顎症(Ⅰ期)
107	5/23	南	女	23	早期顎症(Ⅱ期)
108	5/23	南	男	0	先天梅毒
109	5/23	南	男	50	早期顎症(Ⅰ期)
110	5/23	南	男	50	早期顎症(Ⅰ期)
111	44704	南	男	45	早期顎症(Ⅰ期)
112	44705	中	男	46	早期顎症(Ⅰ期)
113	44705	中	女	30	早期顎症(Ⅱ期)
114	44705	中	男	31	早期顎症(Ⅰ期)
115	44706	中	女	20	早期顎症(Ⅱ期)
116	44708	南	男	33	早期顎症(Ⅰ期)
117	44708	南	男	46	早期顎症(Ⅰ期)
118	44708	南	男	46	早期顎症(Ⅰ期)
119	44711	中	女	26	早期顎症(Ⅱ期)
120	44711	中	男	33	早期顎症(Ⅰ期)
121	5/31	南	男	51	早期顎症(Ⅰ期)
122	5/31	西	男	58	早期顎症(Ⅰ期)
123	5/31	安佐北	男	46	早期顎症(Ⅰ期)
124	5/31	佐伯	男	33	早期顎症(Ⅰ期)
125	6/2	中	男	40	早期顎症(Ⅰ期)
126	6/2	中	男	31	早期顎症(Ⅰ期)
127	6/2	中	女	25	早期顎症(Ⅱ期)
128	6/7	西	男	72	早期顎症(Ⅰ期)
129	6/10	東	男	45	早期顎症(Ⅱ期)
130	6/10	南	男	34	無症候
131	6/10	南	男	31	早期顎症(Ⅰ期)
132	6/11	安佐北	男	44	早期顎症(Ⅰ期)

次頁へ続く

梅毒

番号	届出月日	区	性別	年齢	病名
133	6/13	中	男	41	早期顎症(Ⅰ期)
134	6/14	中	男	39	早期顎症(Ⅰ期)
135	6/14	南	男	56	早期顎症(Ⅰ期)
136	6/15	東	女	26	早期顎症(Ⅱ期)
137	6/16	安佐南	女	50	早期顎症(Ⅱ期)
138	6/16	安佐北	男	49	早期顎症(Ⅱ期)
139	6/17	安佐北	男	35	早期顎症(Ⅱ期)
140	6/17	南	女	19	無症候
141	6/17	南	女	43	早期顎症(Ⅱ期)
142	6/20	安佐南	女	43	早期顎症(Ⅱ期)
143	6/23	南	男	46	晚期顎症
144	6/25	安佐北	男	44	早期顎症(Ⅰ期)
145	6/27	東	男	23	早期顎症(Ⅰ期)
146	6/28	西	女	20	早期顎症(Ⅱ期)
147	6/28	西	男	24	早期顎症(Ⅰ期)
148	6/29	中	女	36	早期顎症(Ⅱ期)
149	6/29	中	男	52	早期顎症(Ⅱ期)
150	6/29	東	男	37	早期顎症(Ⅱ期)
151	6/30	中	男	56	無症候
152	6/30	中	男	27	早期顎症(Ⅰ期)
153	7/4	中	男	26	早期顎症(Ⅰ期)
154	7/5	中	女	55	早期顎症(Ⅱ期)
155	7/5	東	男	52	早期顎症(Ⅱ期)
156	7/5	南	女	21	無症候
157	7/7	西	女	50	早期顎症(Ⅰ期)
158	7/7	西	女	28	早期顎症(Ⅱ期)
159	7/7	西	女	25	早期顎症(Ⅱ期)
160	7/12	中	男	74	早期顎症(Ⅰ期)
161	7/12	中	男	29	早期顎症(Ⅰ期)
162	7/13	安佐南	男	40	早期顎症(Ⅱ期)
163	7/13	安佐北	女	35	早期顎症(Ⅱ期)
164	7/15	中	男	40	早期顎症(Ⅰ期)
165	7/15	中	女	19	早期顎症(Ⅱ期)
166	7/15	佐伯	男	74	無症候
167	7/19	中	女	22	早期顎症(Ⅱ期)
168	7/19	東	男	33	早期顎症(Ⅰ期)
169	7/19	東	女	40	早期顎症(Ⅱ期)
170	7/19	安佐北	男	50	早期顎症(Ⅱ期)
171	7/20	中	女	40	早期顎症(Ⅰ期)
172	7/21	安佐南	男	29	早期顎症(Ⅰ期)
173	7/21	安佐北	男	20	早期顎症(Ⅰ期)
174	7/22	中	女	32	無症候
175	7/22	東	男	55	早期顎症(Ⅰ期)
176	7/22	安佐北	男	23	早期顎症(Ⅱ期)

次頁へ続く

梅毒

番号	届出月日	区	性別	年齢	病名
177	7/23	東	男	34	早期顎症(Ⅰ期)
178	7/23	東	男	46	早期顎症(Ⅰ期)
179	7/25	中	女	24	早期顎症(Ⅰ期)
180	7/25	中	女	31	早期顎症(Ⅱ期)
181	7/25	安佐南	男	51	早期顎症(Ⅱ期)
182	7/25	安佐北	男	25	無症候
183	7/25	安佐北	男	54	早期顎症(Ⅰ期)
184	7/26	中	男	22	早期顎症(Ⅰ期)
185	7/26	中	女	54	早期顎症(Ⅱ期)
186	7/26	中	女	37	早期顎症(Ⅱ期)
187	7/27	佐伯	男	62	無症候
188	7/28	中	女	22	早期顎症(Ⅰ期)
189	7/28	中	男	49	早期顎症(Ⅰ期)
190	7/28	安佐北	女	26	早期顎症(Ⅱ期)
191	7/29	中	男	30	無症候
192	7/29	中	男	36	早期顎症(Ⅰ期)
193	7/29	中	女	19	早期顎症(Ⅱ期)
194	8/1	安佐南	男	52	無症候
195	8/3	中	女	23	早期顎症(Ⅱ期)
196	8/3	南	女	51	早期顎症(Ⅰ期)
197	8/4	中	女	25	早期顎症(Ⅱ期)
198	8/4	中	男	66	無症候
199	8/5	中	男	20	早期顎症(Ⅰ期)
200	8/5	南	女	22	早期顎症(Ⅱ期)
201	8/8	中	男	48	早期顎症(Ⅰ期)
202	8/8	安佐北	男	20	早期顎症(Ⅰ期)
203	8/9	南	男	35	早期顎症(Ⅰ期)
204	8/10	中	男	54	早期顎症(Ⅰ期)
205	8/10	中	男	22	無症候
206	8/12	中	女	31	早期顎症(Ⅱ期)
207	8/16	南	男	26	早期顎症(Ⅱ期)
208	8/17	西	女	19	早期顎症(Ⅱ期)
209	8/18	中	女	52	無症候
210	8/23	南	男	19	早期顎症(Ⅰ期)
211	8/23	安佐南	男	45	早期顎症(Ⅰ期)
212	8/24	中	男	28	早期顎症(Ⅱ期)
213	8/24	中	男	46	早期顎症(Ⅰ期)
214	8/24	中	男	30	無症候
215	8/26	西	女	43	早期顎症(Ⅰ期)
216	8/29	中	男	34	早期顎症(Ⅰ期)
217	8/30	西	男	36	早期顎症(Ⅰ期)
218	8/30	西	男	22	早期顎症(Ⅰ期)
219	8/30	西	男	42	早期顎症(Ⅰ期)
220	8/31	南	男	53	早期顎症(Ⅱ期)

次頁へ続く

梅毒

番号	届出月日	区	性別	年齢	病名
221	8/31	南	男	23	早期顎症(Ⅱ期)
222	8/31	安佐北	男	47	早期顎症(Ⅰ期)
223	9/1	中	男	29	無症候
224	9/2	中	女	36	無症候
225	9/2	中	男	30	無症候
226	9/5	中	男	31	早期顎症(Ⅰ期)
227	9/5	中	男	42	早期顎症(Ⅱ期)
228	9/6	中	男	49	早期顎症(Ⅰ期)
229	9/8	中	女	24	早期顎症(Ⅱ期)
230	9/8	中	女	23	無症候
231	9/9	西	女	51	早期顎症(Ⅱ期)
232	9/12	南	男	26	早期顎症(Ⅱ期)
233	9/13	中	男	50	早期顎症(Ⅰ期)
234	9/13	東	男	40	早期顎症(Ⅰ期)
235	9/15	中	男	22	早期顎症(Ⅰ期)
236	9/15	中	男	36	無症候
237	9/16	南	男	40	無症候
238	9/20	中	女	46	無症候
239	9/22	安佐南	女	22	早期顎症(Ⅱ期)
240	9/26	中	男	30	早期顎症(Ⅱ期)
241	9/26	中	男	35	早期顎症(Ⅱ期)
242	9/26	南	男	27	無症候
243	9/26	南	男	55	早期顎症(Ⅰ期)
244	9/27	中	男	30	早期顎症(Ⅰ期)
245	9/27	中	女	26	早期顎症(Ⅰ期)
246	9/27	東	男	29	早期顎症(Ⅰ期)
247	9/28	中	男	37	早期顎症(Ⅱ期)
248	9/28	中	男	43	早期顎症(Ⅰ期)
249	9/28	中	男	57	早期顎症(Ⅰ期)
250	9/28	中	男	30	無症候
251	9/28	中	男	42	早期顎症(Ⅰ期)
252	9/30	中	男	51	早期顎症(Ⅱ期)
253	9/30	南	女	25	早期顎症(Ⅱ期)
254	10/3	中	男	49	早期顎症(Ⅰ期)
255	10/3	東	男	43	早期顎症(Ⅰ期)
256	10/3	佐伯	女	45	早期顎症(Ⅰ期)
257	10/7	中	男	29	早期顎症(Ⅱ期)
258	10/7	安佐北	男	63	早期顎症(Ⅰ期)
259	10/12	中	女	58	無症候
260	10/13	中	男	36	早期顎症(Ⅱ期)
261	10/14	中	女	29	早期顎症(Ⅰ期)
262	10/14	中	女	26	早期顎症(Ⅱ期)
263	10/14	南	女	49	早期顎症(Ⅱ期)
264	10/14	南	女	0	先天梅毒

次頁へ続く

梅毒

番号	届出月日	区	性別	年齢	病名
265	10/14	安佐北	男	36	早期顎症(Ⅰ期)
266	10/15	中	男	49	早期顎症(Ⅰ期)
267	10/17	中	男	42	早期顎症(Ⅰ期)
268	10/17	中	女	21	早期顎症(Ⅱ期)
269	10/18	安佐北	男	56	早期顎症(Ⅱ期)
270	10/20	中	女	49	早期顎症(Ⅱ期)
271	10/21	東	男	38	早期顎症(Ⅰ期)
272	10/21	南	女	26	無症候
273	10/22	安佐南	男	50	早期顎症(Ⅰ期)
274	10/24	安佐北	男	58	早期顎症(Ⅰ期)
275	10/26	中	男	37	無症候
276	10/26	西	男	41	早期顎症(Ⅰ期)
277	10/26	西	女	34	早期顎症(Ⅰ期)
278	10/26	西	女	26	早期顎症(Ⅰ期)
279	10/28	西	男	29	早期顎症(Ⅰ期)
280	10/31	安佐南	女	31	早期顎症(Ⅰ期)
281	11/1	安佐北	男	23	早期顎症(Ⅰ期)
282	11/4	中	男	60	早期顎症(Ⅱ期)
283	11/4	南	男	45	早期顎症(Ⅱ期)
284	11/11	中	女	38	早期顎症(Ⅱ期)
285	11/9	東	女	24	早期顎症(Ⅱ期)
286	11/11	中	男	35	早期顎症(Ⅰ期)
287	11/18	中	女	32	早期顎症(Ⅰ期)
288	11/18	南	女	37	早期顎症(Ⅱ期)
289	11/21	中	男	53	早期顎症(Ⅰ期)
290	11/21	中	女	23	早期顎症(Ⅱ期)
291	11/21	中	女	38	早期顎症(Ⅱ期)
292	11/21	中	男	40	無症候
293	11/22	南	男	37	早期顎症(Ⅱ期)
294	12/1	東	男	33	早期顎症(Ⅰ期)
295	11/29	中	男	37	早期顎症(Ⅰ期)
296	12/2	安佐南	女	31	早期顎症(Ⅱ期)
297	12/5	中	男	58	早期顎症(Ⅰ期)
298	12/6	中	男	49	早期顎症(Ⅱ期)
299	12/12	安佐北	女	31	晚期顎症
300	12/8	西	男	62	早期顎症(Ⅱ期)
301	12/14	中	男	64	早期顎症(Ⅰ期)
302	12/16	南	男	29	早期顎症(Ⅱ期)
303	12/16	中	男	50	早期顎症(Ⅰ期)
304	12/12	中	男	19	早期顎症(Ⅰ期)
305	12/16	西	男	48	早期顎症(Ⅰ期)
306	12/19	西	男	24	早期顎症(Ⅰ期)
307	12/19	中	男	57	早期顎症(Ⅰ期)
308	12/17	東	女	54	早期顎症(Ⅱ期)

次頁へ続く

梅毒

番号	届出月日	区	性別	年齢	病名
309	12/21	中	男	47	早期顕症(Ⅱ期)
310	12/23	中	女	22	早期顕症(Ⅰ期)
311	12/24	佐伯	男	44	早期顕症(Ⅰ期)
312	12/26	中	女	20	無症候
313	12/26	中	女	25	無症候
314	12/20	南	男	50	無症候
315	12/24	西	女	28	無症候
316	12/28	中	男	40	無症候
317	12/28	中	男	52	早期顕症(Ⅰ期)

破傷風

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	10/14	南	男	85
2	10/18	中	男	65
3	10/19	中	男	66

パンコマイシン耐性腸球菌感染症

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	1/4	南	女	67
2	1/11	中	男	91
3	2/15	中	女	66
4	2/25	中	男	60
5	6/17	西	男	72
6	6/25	佐伯	男	74
7	6/27	中	男	58
8	7/23	南	女	76
9	7/27	南	男	84
10	8/1	佐伯	女	98
11	8/12	中	女	77
12	8/29	西	女	88
13	9/6	佐伯	女	77

百日咳

番号	届出月日	区	性別	年齢
1	1/14	南	女	13
2	1/29	南	女	8
3	1/29	南	女	9
4	6/27	中	女	80
5	12/19	安佐南	女	45

表5-1 広島市週別報告状況(週報対象)

疾病名	1月 1週 2週 3週 4週 5週					2月 6週 7週 8週 9週					3月 10週 11週 12週 13週					4月 14週 15週 16週 17週					5月 18週 19週 20週 21週 22週					6月 23週 24週 25週 26週							
	報告数	-	-	1	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-		
インフルエンザ	報告数	-	-	1	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-		
	定点当たり	-	-	0.03	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-		
咽頭結膜熱	報告数	6	5	3	9	3	報告数	5	4	2	2	報告数	1	2	2	3	報告数	4	2	7	5	報告数	4	5	10	17	報告数	7	10	8	13		
	定点当たり	0.25	0.21	0.14	0.39	0.13	定点当たり	0.21	0.17	0.08	0.08	定点当たり	0.04	0.09	0.08	0.13	定点当たり	0.17	0.08	0.29	0.21	定点当たり	0.17	0.21	0.42	0.71	定点当たり	0.54	0.29	0.42	0.33	定点当たり	0.54
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	報告数	9	7	4	3	5	報告数	7	7	5	9	報告数	6	7	3	3	報告数	2	7	8	6	報告数	2	7	13	16	報告数	12	12	3	12		
	定点当たり	0.38	0.29	0.18	0.13	0.21	定点当たり	0.29	0.29	0.21	0.38	定点当たり	0.25	0.30	0.13	0.13	定点当たり	0.08	0.29	0.33	0.25	定点当たり	0.08	0.29	0.54	0.67	定点当たり	0.42	0.50	0.50	0.13	定点当たり	0.50
感染性胃腸炎	報告数	131	181	139	181	153	報告数	91	100	78	104	報告数	88	110	62	73	報告数	62	101	114	95	報告数	76	102	156	149	報告数	159	143	141	143		
	定点当たり	5.46	7.54	6.32	7.87	6.38	定点当たり	3.79	4.17	3.25	4.33	定点当たり	3.67	4.78	2.58	3.04	定点当たり	2.58	4.21	4.75	3.96	定点当たり	3.17	4.25	6.50	6.21	定点当たり	6.71	6.63	5.96	5.88	定点当たり	5.96
水痘	報告数	7	2	2	4	1	報告数	-	1	1	2	報告数	1	2	2	2	報告数	3	4	3	-	報告数	-	-	2	4	報告数	2	3	2	-		
	定点当たり	0.29	0.08	0.09	0.17	0.04	定点当たり	-	0.04	0.04	0.08	定点当たり	0.04	0.09	0.08	0.08	定点当たり	0.13	0.17	0.13	-	定点当たり	-	-	0.08	0.17	定点当たり	0.08	0.08	0.13	0.08	定点当たり	-
手足口病	報告数	38	25	16	15	13	報告数	10	8	5	10	報告数	6	7	4	6	報告数	10	25	33	32	報告数	15	3	16	4	報告数	4	36	35	54		
	定点当たり	1.58	1.04	0.73	0.65	0.54	定点当たり	0.42	0.33	0.21	0.42	定点当たり	0.25	0.30	0.17	0.25	定点当たり	0.42	1.04	1.38	1.33	定点当たり	0.63	0.13	0.67	0.17	定点当たり	0.13	0.17	1.50	1.46	定点当たり	2.25
伝染性紅斑	報告数	-	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	1	-	報告数	-	1	-	1	報告数	-	-	-	-	報告数	-	1	1	-		
	定点当たり	-	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	0.04	-	定点当たり	-	0.04	-	0.04	定点当たり	-	-	-	0.04	定点当たり	-	0.04	0.04	-		
突発性発しん	報告数	2	2	9	3	7	報告数	6	2	2	2	報告数	1	11	9	6	報告数	4	10	5	9	報告数	15	11	7	9	報告数	6	8	9	8		
	定点当たり	0.08	0.08	0.41	0.13	0.29	定点当たり	0.25	0.08	0.08	0.08	定点当たり	0.04	0.48	0.38	0.25	定点当たり	0.17	0.42	0.21	0.38	定点当たり	0.63	0.46	0.29	0.38	定点当たり	0.33	0.25	0.33	0.38	定点当たり	0.33
ヘルパンギーナ	報告数	3	3	4	7	4	報告数	4	2	2	1	報告数	-	5	3	-	報告数	8	3	1	-	報告数	2	-	1	3	報告数	2	5	11	8		
	定点当たり	0.13	0.13	0.18	0.30	0.17	定点当たり	0.17	0.08	0.08	0.04	定点当たり	-	0.22	0.13	-	定点当たり	0.33	0.13	0.04	-	定点当たり	0.08	-	0.04	0.13	定点当たり	0.08	0.08	0.21	0.46	定点当たり	0.33
流行性耳下腺炎	報告数	-	1	-	1	-	報告数	1	-	-	-	報告数	1	-	-	2	報告数	1	-	-	1	報告数	1	1	1	1	報告数	-	-	-	1	報告数	-
	定点当たり	-	0.04	-	0.04	-	定点当たり	0.04	-	-	-	定点当たり	0.04	-	-	0.08	報告数	0.04	-	-	0.04	報告数	0.04	0.04	0.04	0.04	報告数	0.13	-	-	0.04	報告数	-
RSウイルス感染症	報告数	6	3	2	1	4	報告数	1	-	1	2	報告数	4	-	2	2	報告数	-	8	3	4	報告数	5	4	4	4	報告数	7	17	15	42		
	定点当たり	0.25	0.13	0.09	0.04	0.17	定点当たり	0.04	-	0.04	0.08	定点当たり	0.17	-	0.08	0.08	定点当たり	-	0.33	0.13	0.17	定点当たり	0.21	0.17	0.17	0.17	定点当たり	0.29	0.29	0.71	0.63	定点当たり	1.75
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	1	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	0.13	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-
流行性角結膜炎	報告数	2	1	3	1	1	報告数	2	3	1	1	報告数	2	-	1	1	報告数	3	2	-	-	報告数	5	1	5	5	報告数	2	3	5	-	報告数	2
	定点当たり	0.25	0.13	0.38	0.13	0.13	定点当たり	0.25	0.38	0.13	0.13	定点当たり	0.25	-	0.13	0.13	定点当たり	0.38	0.25	-	-	定点当たり	0.63	0.13	0.63	0.63	定点当たり	0.25	0.38	0.63	-	定点当たり	0.25
細菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	1	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	0.14	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-
クラミジア肺炎	報告数	-	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	定点当たり	-
感染性胃腸炎(ロタウィルス)	報告数	-	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	1	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	定点当たり	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	0.14	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-
計		204	230	183	225	191	127	127	97	133	110	144	89	99	97	165	174	153	125	134	215	212	213	202	240	225	283						

表5-2 広島市週別報告状況(週報対象)

疾病名	7月 27週 28週 29週 30週				8月 31週 32週 33週 34週 35週					9月 36週 37週 38週 39週				10月 40週 41週 42週 43週 44週					11月 45週 46週 47週 48週				12月 49週 50週 51週 52週						
	報告数	1	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	-	-	-	-	報告数	1	-	-	-	報告数	1	-	-	-	報告数	-	-	1
インフルエンザ	報告数	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	0.03	-	-	0.03	0.62				
	定点当たり	0.38	0.50	0.08	0.30	0.17	0.19	-	-	0.22	-	0.09	0.09	0.14	0.14	-	0.05	0.27	0.09	0.09	0.14	0.09	0.14	0.09	0.43	-	0.10	0.14	0.19
咽頭結膜熱	報告数	9	12	2	7	4	4	-	-	5	-	2	2	3	3	-	1	6	2	2	3	2	9	-	2	3	4		
	定点当たり	0.38	0.63	0.33	0.39	0.57	0.10	0.13	0.43	0.17	0.17	0.30	0.27	0.50	0.55	0.32	0.64	0.73	0.86	1.23	0.68	0.45	0.29	0.19	0.95	0.43	0.14		
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	報告数	22	15	8	9	13	2	3	10	4	4	7	6	11	12	7	14	16	19	27	15	10	6	4	20	9	3		
	定点当たり	0.92	0.63	0.33	0.39	0.57	0.10	0.13	0.43	0.17	0.17	0.30	0.27	0.50	0.55	0.32	0.64	0.73	0.86	1.23	0.68	0.45	0.29	0.19	0.95	0.43	0.14		
感染性胃腸炎	報告数	144	117	83	69	46	31	29	41	45	47	49	42	52	58	48	72	62	63	76	84	103	103	129	136	176	149		
	定点当たり	6.00	4.88	3.46	3.00	2.00	1.48	1.26	1.78	1.96	2.04	2.13	1.91	2.36	2.64	2.18	3.27	2.82	2.86	3.45	3.82	4.68	4.90	6.14	6.48	8.38	7.10		
水痘	報告数	-	1	1	4	1	-	2	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2	2	1	1	1	1	
	定点当たり	-	0.04	0.04	0.17	0.04	-	0.09	0.04	0.04	0.04	0.04	0.05	-	-	-	-	-	-	0.05	0.09	0.10	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05		
手足口病	報告数	81	81	79	101	67	49	44	37	35	15	20	24	20	19	18	11	7	12	7	6	4	2	-	1	1	2		
	定点当たり	3.38	3.38	3.29	4.39	2.91	2.33	1.91	1.61	1.52	0.65	0.87	1.09	0.91	0.86	0.82	0.50	0.32	0.55	0.32	0.27	0.18	0.10	-	0.05	0.05	0.10		
伝染性紅斑	報告数	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	1	1	1	-	-	1	-	1	-	1			
	定点当たり	0.04	-	0.04	-	0.04	-	-	-	-	-	-	0.09	0.05	-	-	0.05	0.05	0.05	-	-	0.05	-	0.05	-	0.05			
突発性発しん	報告数	7	6	6	7	4	9	4	1	6	2	16	7	6	6	3	7	8	3	5	5	2	3	1	5	2	1		
	定点当たり	0.29	0.25	0.25	0.30	0.17	0.43	0.17	0.04	0.26	0.09	0.70	0.32	0.27	0.27	0.14	0.32	0.36	0.14	0.23	0.23	0.09	0.14	0.05	0.24	0.10	0.05		
ヘルパンギーナ	報告数	18	26	19	21	28	27	7	28	17	9	9	10	16	20	13	17	21	9	4	3	9	3	5	6	2	5		
	定点当たり	0.75	1.08	0.79	0.91	1.22	1.29	0.30	1.22	0.74	0.39	0.39	0.45	0.73	0.91	0.59	0.77	0.95	0.41	0.18	0.14	0.41	0.14	0.24	0.29	0.10	0.24		
流行性耳下腺炎	報告数	1	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	2	2	2	-	-	-		
	定点当たり	0.04	-	0.04	-	0.04	-	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-	0.05	-	0.14	-	0.05	0.09	0.10	0.10	-	-	-		
RSウイルス感染症	報告数	60	122	150	144	135	65	65	44	43	39	44	46	21	14	10	9	9	7	5	1	2	3	1	-	2	1		
	定点当たり	2.50	5.08	6.25	6.26	5.87	3.10	2.83	1.91	1.87	1.70	1.91	2.09	0.95	0.64	0.45	0.41	0.41	0.32	0.23	0.05	0.09	0.14	0.05	-	0.10	0.05		
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
流行性角結膜炎	報告数	3	3	3	2	3	2	3	2	2	3	3	-	1	1	1	2	1	1	4	2	2	-	2	2	1			
	定点当たり	0.38	0.38	0.38	0.25	0.38	0.25	0.38	0.25	0.25	0.38	0.38	-	0.13	0.13	0.13	0.25	0.13	0.13	0.50	0.25	0.25	-	0.25	0.25	0.13			
細菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-			
	定点当たり	-	-	0.29	-	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.17	-	-			
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
計		347	383	355	364	303	190	157	165	158	120	151	140	132	133	101	135	131	120	131	121	139	134	146	174	198	188		

表6-1 広島市月別報告状況(週報対象)

疾病名		1月 5週	2月 4週	3月 4週	4月 4週	5月 5週	6月 4週	7月 4週	8月 5週	9月 4週	10月 5週	11月 4週	12月 4週	合計 52週
インフルエンザ	報告数	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	22	27
	定点当たり	0.03	-	-	-	-	-	0.03	-	-	0.03	0.06	0.65	0.80
咽頭結膜熱	報告数	26	13	8	18	49	38	30	13	7	12	16	9	239
	定点当たり	1.12	0.54	0.34	0.75	2.05	1.58	1.26	0.58	0.32	0.55	0.75	0.43	10.27
A群溶血性レンサ球菌	報告数	28	28	19	23	48	39	54	32	28	68	58	36	461
	定点当たり	1.19	1.17	0.81	0.95	2.00	1.63	2.27	1.40	1.24	3.10	2.65	1.71	20.12
感染性胃腸炎	報告数	785	373	333	372	644	586	413	192	190	303	366	590	5,147
	定点当たり	33.57	15.54	14.07	15.50	26.84	24.43	17.34	8.48	8.44	13.77	16.85	28.10	222.93
水痘	報告数	16	4	7	10	8	7	6	5	3	-	5	4	75
	定点当たり	0.67	0.16	0.29	0.43	0.33	0.29	0.25	0.21	0.13	-	0.24	0.20	3.20
手足口病	報告数	107	33	23	100	41	129	342	232	79	67	19	4	1,176
	定点当たり	4.54	1.38	0.97	4.17	1.73	5.38	14.44	10.28	3.52	3.05	0.87	0.20	50.53
伝染性紅斑	報告数	-	-	1	2	1	2	2	1	3	3	1	2	18
	定点当たり	-	-	0.04	0.08	0.04	0.08	0.08	0.04	0.14	0.15	0.05	0.10	0.80
突発性発しん	報告数	23	12	27	28	50	31	26	24	31	27	15	9	303
	定点当たり	0.99	0.49	1.15	1.18	2.09	1.29	1.09	1.07	1.38	1.23	0.69	0.44	13.09
ヘルパンギーナ	報告数	21	9	8	12	8	26	84	107	44	80	19	18	436
	定点当たり	0.91	0.37	0.35	0.50	0.33	1.08	3.53	4.77	1.96	3.63	0.87	0.87	19.17
流行性耳下腺炎	報告数	2	1	3	2	7	1	2	2	-	4	5	2	31
	定点当たり	0.08	0.04	0.12	0.08	0.29	0.04	0.08	0.08	-	0.19	0.24	0.10	1.34
RSウイルス感染症	報告数	16	4	8	15	24	81	476	352	150	49	11	4	1,190
	定点当たり	0.68	0.16	0.33	0.63	1.01	3.38	20.09	15.58	6.65	2.23	0.51	0.20	51.45
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	-	-	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	0.13
流行性角結膜炎	報告数	8	7	4	5	18	10	11	12	7	6	8	5	101
	定点当たり	1.02	0.89	0.51	0.63	2.27	1.26	1.39	1.51	0.89	0.77	1.00	0.63	12.77
細菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	-	-	-	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	0.14
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	1	4
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	0.29	0.14	-	-	-	0.17	0.60
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	2
	定点当たり	-	-	-	0.14	-	-	-	-	0.14	-	-	-	0.28
クラミジア肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	-	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.14
計		1,033	484	442	589	899	950	1,449	973	543	620	525	706	9,213
内科小児科系疾患月報報告分		20	17	17	20	6	21	16	13	22	15	18	18	203
総計		1,053	501	459	609	905	971	1,465	986	565	635	543	724	9,416

表6-2 広島市月別報告状況(月報対象)

表7-1 広島市年齢階級別報告状況(週報対象)

疾病名		0~ 5か月	6~ 11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70~ 79歳	80歳 以上	男	女	合計
インフルエンザ	報告数	-	-	2	-	1	2	3	2	-	-	1	5	1	5	2	2	-	-	1	-	17	10	27
	割合(%)	-	-	7.4	-	3.7	7.4	11.1	7.4	-	-	3.7	18.5	3.7	18.5	7.4	7.4	-	-	3.7	-	63.0	37.0	100.0
疾病名		0~ 5か月	6~ 11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20歳 以上							男	女	合計
咽頭結膜熱	報告数	2	20	98	44	36	19	10	5	3	1	-	1	-	-							131	108	239
	割合(%)	0.8	8.4	41.0	18.4	15.1	7.9	4.2	2.1	1.3	0.4	-	0.4	-	-							54.8	45.2	100.0
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	報告数	-	1	9	39	55	42	44	48	38	34	33	88	8	22							258	203	461
	割合(%)	-	0.2	2.0	8.5	11.9	9.1	9.5	10.4	8.2	7.4	7.2	19.1	1.7	4.8							56.0	44.0	100.0
感染性胃腸炎	報告数	40	291	972	761	684	509	383	282	222	148	119	325	94	317							2,833	2,314	5,147
	割合(%)	0.8	5.7	18.9	14.8	13.3	9.9	7.4	5.5	4.3	2.9	2.3	6.3	1.8	6.2							55.0	45.0	100.0
水痘	報告数	1	4	8	8	7	9	8	7	9	5	1	8	-	-							40	35	75
	割合(%)	1.3	5.3	10.7	10.7	9.3	12.0	10.7	9.3	12.0	6.7	1.3	10.7	-	-							53.3	46.7	100.0
手足口病	報告数	8	95	517	283	156	60	32	7	2	2	-	6	2	6							660	516	1,176
	割合(%)	0.7	8.1	44.0	24.1	13.3	5.1	2.7	0.6	0.2	0.2	-	0.5	0.2	0.5							56.1	43.9	100.0
伝染性紅斑	報告数	-	1	6	2	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-							6	12	18
	割合(%)	-	5.6	33.3	11.1	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	-							33.3	66.7	100.0
突発性発しん	報告数	7	86	164	30	11	4	1	-	-	-	-	-	-	-							178	125	303
	割合(%)	2.3	28.4	54.1	9.9	3.6	1.3	0.3	-	-	-	-	-	-	-							58.7	41.3	100.0
ヘルパンギーナ	報告数	5	28	136	120	72	33	21	6	5	2	4	4	-	-							232	204	436
	割合(%)	1.1	6.4	31.2	27.5	16.5	7.6	4.8	1.4	1.1	0.5	0.9	0.9	-	-							53.2	46.8	100.0
流行性耳下腺炎	報告数	-	-	1	2	-	2	7	6	-	5	3	5	-	-							17	14	31
	割合(%)	-	-	3.2	6.5	-	6.5	22.6	19.4	-	16.1	9.7	16.1	-	-							54.8	45.2	100.0
RSウイルス感染症	報告数	100	159	436	289	138	41	18	6	2	1	-	-	-	-							629	561	1,190
	割合(%)	8.4	13.4	36.6	24.3	11.6	3.4	1.5	0.5	0.2	0.1	-	-	-	-							52.9	47.1	100.0
疾病名		0~ 5か月	6~ 11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70歳 以上	男	女	合計	
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		1	-	1
	割合(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		100.0	-	100.0
流行性角結膜炎	報告数	-	-	1	-	-	2	1	3	-	-	5	7	21	14	17	14	5	11			58	43	101
	割合(%)	-	-	1.0	-	-	2.0	1.0	3.0	-	-	5.0	6.9	20.8	13.9	16.8	13.9	5.0	10.9			57.4	42.6	100.0
疾病名		0歳 4歳	1~ 9歳	5~ 14歳	10~ 19歳	15~ 24歳	20~ 29歳	25~ 34歳	30~ 39歳	35~ 39歳	40~ 44歳	45~ 49歳	50~ 54歳	55~ 59歳	60~ 64歳	65~ 69歳	70歳 以上				男	女	合計	
細菌性髄膜炎	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	1	1
	割合(%)	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	100.0	100.0
無菌性髄膜炎	報告数	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		1	3	4
	割合(%)	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		25.0	75.0	100.0
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	2	2
	割合(%)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	100.0	100.0
クラミジア肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-
	割合(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		1	-	1
	割合(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		100.0	-	100.0

※割合(%):小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

表7-2 広島市年齢階級別報告状況(月報対象)

疾病名		0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上	男女別	合計	
性器クラミジア感染症	男	報告数	-	-	-	-	11	100	71	56	35	33	17	13	11	2	4	1	354	
		割合(%)	-	-	-	-	3.1	28.2	20.1	15.8	9.9	9.3	4.8	3.7	3.1	0.6	1.1	0.3	85.7	
	女	報告数	-	-	-	-	5	35	10	3	1	2	1	2	-	-	-	-	59	
		割合(%)	-	-	-	-	8.5	59.3	16.9	5.1	1.7	3.4	1.7	3.4	-	-	-	-	14.3	
	男	報告数	-	-	-	-	-	13	13	19	24	12	12	12	6	4	4	2	121	
		割合(%)	-	-	-	-	-	10.7	10.7	15.7	19.8	9.9	9.9	9.9	5.0	3.3	3.3	1.7	82.9	
	女	報告数	-	-	-	-	5	7	7	2	1	3	-	-	-	-	-	-	25	
		割合(%)	-	-	-	-	20.0	28.0	28.0	8.0	4.0	12.0	-	-	-	-	-	-	17.1	
性器ヘルペスウイルス感染症	男	報告数	-	-	-	-	-	21	24	16	13	7	15	5	7	1	5	2	116	
		割合(%)	-	-	-	-	-	18.1	20.7	13.8	11.2	6.0	12.9	4.3	6.0	0.9	4.3	1.7	93.5	
	女	報告数	-	-	-	-	-	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	
		割合(%)	-	-	-	-	-	62.5	37.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.5	
	男	報告数	-	-	-	-	11	41	30	22	16	9	18	8	13	1	4	-	173	
		割合(%)	-	-	-	-	6.4	23.7	17.3	12.7	9.2	5.2	10.4	4.6	7.5	0.6	2.3	-	90.1	
	女	報告数	-	-	-	-	5	11	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	19	
		割合(%)	-	-	-	-	26.3	57.9	5.3	-	5.3	5.3	-	-	-	-	-	-	9.9	
疾病名		0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上	男	女	合計
メチシリン耐性黄色ブトウ球菌感染症	報告数	5	1	1	2	5	-	-	-	5	3	4	3	8	10	18	135	135	65	200
	割合(%)	2.5	0.5	0.5	1.0	2.5	-	-	-	2.5	1.5	2.0	1.5	4.0	5.0	9.0	67.5	67.5	32.5	100.0
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	2	3
	割合(%)	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	66.7	100.0
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	割合(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※割合(%): 小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

表8-1 全国週別報告状況(週報対象)

疾病名		1月 1週 2週 3週 4週 5週					2月 6週 7週 8週 9週				3月 10週 11週 12週 13週				4月 14週 15週 16週 17週				5月 18週
インフルエンザ	報告数	50	54	71	60	75	37	26	53	38	18	17	14	15	16	6	18	8	11
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告数	777	587	628	454	534	410	416	322	331	306	302	230	214	233	223	308	390	360
	定点当たり	0.25	0.19	0.20	0.14	0.17	0.13	0.13	0.10	0.11	0.10	0.10	0.07	0.07	0.07	0.07	0.10	0.12	0.11
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	報告数	1,223	1,471	1,771	1,504	1,246	987	985	855	802	824	866	635	697	664	786	908	752	574
	定点当たり	0.39	0.47	0.56	0.48	0.40	0.31	0.31	0.27	0.25	0.26	0.28	0.20	0.22	0.21	0.25	0.29	0.24	0.18
感染性胃腸炎	報告数	14,655	21,018	25,394	22,386	18,064	14,360	13,743	11,559	11,990	11,861	11,172	8,807	8,848	9,233	11,190	12,933	11,700	8,385
	定点当たり	4.67	6.67	8.08	7.12	5.77	4.56	4.38	3.67	3.81	3.77	3.56	2.80	2.82	2.94	3.56	4.11	3.74	2.67
水痘	報告数	441	302	292	252	190	181	199	193	216	180	209	168	204	209	214	225	213	225
	定点当たり	0.14	0.10	0.09	0.08	0.06	0.06	0.06	0.06	0.07	0.06	0.07	0.05	0.06	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07
手足口病	報告数	1,171	1,037	1,008	819	612	422	284	238	201	174	212	177	185	213	277	379	446	338
	定点当たり	0.37	0.33	0.32	0.26	0.20	0.13	0.09	0.08	0.06	0.06	0.07	0.06	0.06	0.07	0.09	0.12	0.14	0.11
伝染性紅斑	報告数	30	42	48	43	42	38	31	54	42	31	43	33	47	44	46	41	33	45
	定点当たり	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
突発性発しん	報告数	822	1,015	936	800	758	720	747	639	763	759	825	806	900	923	1,032	1,197	1,219	973
	定点当たり	0.26	0.32	0.30	0.25	0.24	0.23	0.24	0.20	0.24	0.24	0.26	0.26	0.29	0.29	0.33	0.38	0.39	0.31
ヘルパンギーナ	報告数	189	226	237	149	92	70	63	51	65	56	41	37	33	50	41	34	53	47
	定点当たり	0.06	0.07	0.08	0.05	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	68	88	77	75	84	54	73	75	63	88	88	65	82	54	99	121	86	76
	定点当たり	0.02	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.02	0.03	0.02	0.03	0.04	0.03	0.02
RSウイルス感染症	報告数	886	974	1,581	1,542	1,067	837	733	540	639	601	574	433	391	315	410	420	446	306
	定点当たり	0.28	0.31	0.50	0.49	0.34	0.27	0.23	0.17	0.20	0.19	0.18	0.14	0.12	0.10	0.13	0.13	0.14	0.10
急性出血性結膜炎	報告数	4	2	3	3	7	1	2	5	2	2	4	2	3	1	4	1	5	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	0.01	-	-	0.01	-	0.01	-	-	-	0.01	-	0.01	-	-
流行性角結膜炎	報告数	134	128	118	122	113	83	93	79	106	95	82	63	99	106	95	105	97	116
	定点当たり	0.19	0.18	0.17	0.18	0.16	0.12	0.13	0.11	0.15	0.14	0.12	0.09	0.14	0.15	0.14	0.15	0.14	0.17
細菌性髄膜炎	報告数	4	5	6	6	9	5	4	6	4	6	5	5	6	6	2	4	6	6
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	-	0.01	0.01	0.01
無菌性髄膜炎	報告数	6	6	11	4	5	4	4	4	4	9	9	6	7	6	5	6	9	8
	定点当たり	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02
マイコプラズマ肺炎	報告数	3	5	5	6	3	5	9	3	4	7	5	3	8	8	10	5	6	5
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01
クラミジア肺炎	報告数	-	1	-	1	-	-	-	2	1	1	-	-	2	2	2	1	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	4	6	4	5	4	3	3	2	3	3	4	1	3	-	2	4	5	1
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	-	0.01	0.01	0.01	-	0.01	-	-	0.01	0.01	-
計		20,467	26,967	32,190	28,231	22,905	18,217	17,415	14,680	15,274	15,021	14,458	11,485	11,744	12,083	14,444	16,710	15,474	11,476

表8-2 全国週別報告状況(週報対象)

疾病名		19週	20週	21週	22週	6月				7月				8月				
						23週	24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週
インフルエンザ	報告数	6	4	8	2	7	6	6	12	48	175	187	145	160	113	138	138	135
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.04	0.04	0.03	0.03	0.02	0.03	0.03	0.03
咽頭結膜熱	報告数	554	571	997	1,144	1,314	1,301	1,347	1,364	1,185	1,096	623	544	398	259	226	231	219
	定点当たり	0.18	0.18	0.32	0.36	0.42	0.41	0.43	0.43	0.38	0.35	0.20	0.17	0.13	0.08	0.07	0.07	0.07
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	報告数	846	1,020	948	1,091	1,078	1,174	1,100	1,032	1,248	1,318	826	889	881	614	568	659	892
	定点当たり	0.27	0.32	0.30	0.35	0.34	0.37	0.35	0.33	0.40	0.42	0.26	0.28	0.28	0.20	0.18	0.21	0.28
感染性胃腸炎	報告数	13,131	15,587	16,722	16,790	17,159	18,002	16,757	15,059	14,389	13,306	9,487	8,613	7,460	5,151	5,213	6,081	6,627
	定点当たり	4.17	4.95	5.32	5.33	5.44	5.72	5.31	4.78	4.56	4.25	3.02	2.74	2.38	1.67	1.67	1.94	2.11
水痘	報告数	262	226	269	274	251	260	262	287	215	241	214	207	195	159	174	151	169
	定点当たり	0.08	0.07	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08	0.09	0.07	0.08	0.07	0.07	0.06	0.05	0.06	0.05	0.05
手足口病	報告数	385	583	628	744	807	1,133	1,884	3,067	4,502	5,902	6,802	9,494	10,461	8,583	8,502	10,518	11,737
	定点当たり	0.12	0.19	0.20	0.24	0.26	0.36	0.60	0.97	1.43	1.89	2.16	3.02	3.34	2.78	2.73	3.35	3.73
伝染性紅斑	報告数	46	42	32	41	26	41	45	49	32	39	32	60	38	19	32	16	47
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
突発性発しん	報告数	1,155	1,270	1,272	1,302	1,286	1,205	1,271	1,294	1,229	1,173	955	884	903	680	656	744	839
	定点当たり	0.37	0.40	0.40	0.41	0.41	0.38	0.40	0.41	0.39	0.37	0.30	0.28	0.29	0.22	0.21	0.24	0.27
ヘルパンギーナ	報告数	71	97	90	123	166	252	451	767	1,069	1,610	1,700	2,367	2,470	1,932	1,579	2,478	2,805
	定点当たり	0.02	0.03	0.03	0.04	0.05	0.08	0.14	0.24	0.34	0.51	0.54	0.75	0.79	0.63	0.51	0.79	0.89
流行性耳下腺炎	報告数	112	121	123	128	127	102	114	131	115	112	93	78	74	56	73	95	97
	定点当たり	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03
RSウイルス感染症	報告数	298	548	643	698	844	1,353	1,861	2,995	4,783	7,184	7,248	7,450	7,302	5,095	4,108	3,947	4,583
	定点当たり	0.09	0.17	0.20	0.22	0.27	0.43	0.59	0.95	1.52	2.30	2.30	2.37	2.33	1.65	1.32	1.26	1.46
急性出血性結膜炎	報告数	4	2	2	2	1	11	2	6	2	6	7	1	1	-	5	1	2
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	0.02	-	0.01	-	0.01	-	-	-	-	0.01	-	-
流行性角結膜炎	報告数	119	109	118	136	148	134	123	154	166	145	140	156	122	84	119	144	152
	定点当たり	0.17	0.16	0.17	0.20	0.21	0.19	0.18	0.22	0.24	0.21	0.20	0.22	0.18	0.12	0.17	0.21	0.22
細菌性瞼膜炎	報告数	10	5	8	5	5	4	7	3	6	5	5	4	2	8	7	10	7
	定点当たり	0.02	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	-	0.02	0.01	0.02	0.01
無菌性瞼膜炎	報告数	7	10	10	7	10	12	12	10	17	10	11	12	9	8	2	11	7
	定点当たり	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	0.03	0.03	0.02	0.04	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	-	0.02	0.01
マイコプラズマ肺炎	報告数	9	10	8	11	9	7	9	8	8	5	3	7	5	9	6	12	4
	定点当たり	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.03	0.01
クラミジア肺炎	報告数	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	2	2	1	-	-	1	1	3	1	-	-	-	2	1	1	3	3
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	0.01	0.01
計		17,019	20,208	21,879	22,499	23,238	24,998	25,252	26,241	29,015	32,327	28,333	30,911	30,485	22,771	21,409	25,239	28,325

表8-3 全国週別報告状況(週報対象)

疾病名		9月 36週 37週 38週 39週				10月 40週 41週 42週 43週 44週				11月 45週 46週 47週 48週				12月 49週 50週 51週 52週				
インフルエンザ	報告数	133	111	80	52	71	97	111	159	274	412	555	547	638	1,246	2,618	6,136	10,422
	定点当たり	0.03	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02	0.03	0.06	0.08	0.11	0.11	0.13	0.25	0.53	1.24	2.14
咽頭結膜熱	報告数	190	215	137	168	156	148	201	227	249	276	263	306	430	421	499	587	419
	定点当たり	0.06	0.07	0.04	0.05	0.05	0.05	0.06	0.07	0.08	0.09	0.08	0.10	0.14	0.13	0.16	0.19	0.14
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	報告数	899	960	797	1,038	1,185	1,113	1,316	1,387	1,191	1,287	1,249	1,111	1,165	1,164	1,333	1,186	794
	定点当たり	0.29	0.31	0.25	0.33	0.38	0.35	0.42	0.44	0.38	0.41	0.40	0.35	0.37	0.37	0.42	0.38	0.26
感染性胃腸炎	報告数	6,791	6,787	5,177	6,327	6,200	6,221	6,993	7,496	7,677	8,773	10,135	10,138	12,036	13,802	15,655	17,653	12,922
	定点当たり	2.16	2.16	1.64	2.01	1.98	1.98	2.23	2.39	2.44	2.79	3.22	3.22	3.82	4.38	4.97	5.60	4.17
水痘	報告数	160	213	138	192	190	183	236	274	271	394	357	379	359	358	338	323	217
	定点当たり	0.05	0.07	0.04	0.06	0.06	0.06	0.08	0.09	0.09	0.13	0.11	0.12	0.11	0.11	0.10	0.07	
手足口病	報告数	11,886	10,816	7,126	6,251	5,352	4,172	3,663	2,889	2,374	2,018	1,730	1,521	1,380	1,279	1,014	894	540
	定点当たり	3.77	3.44	2.26	1.99	1.71	1.32	1.17	0.92	0.75	0.64	0.55	0.48	0.44	0.41	0.32	0.28	0.17
伝染性紅斑	報告数	36	54	34	26	21	34	22	29	46	24	30	25	27	28	28	31	20
	定点当たり	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
突発性発しん	報告数	856	863	706	848	772	739	781	774	803	842	797	815	787	738	761	679	531
	定点当たり	0.27	0.27	0.22	0.27	0.25	0.23	0.25	0.25	0.26	0.27	0.25	0.26	0.25	0.23	0.24	0.22	0.17
ヘルパンギーナ	報告数	2,768	2,554	1,361	1,419	1,268	878	1,026	756	646	580	565	594	585	529	400	324	215
	定点当たり	0.88	0.81	0.43	0.45	0.40	0.28	0.33	0.24	0.21	0.18	0.18	0.19	0.19	0.17	0.13	0.10	0.07
流行性耳下腺炎	報告数	111	111	93	113	96	90	106	86	102	106	108	131	112	115	132	97	57
	定点当たり	0.04	0.04	0.03	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	0.03	0.02
RSウイルス感染症	報告数	5,029	5,047	3,926	3,745	3,540	3,064	3,113	2,945	2,708	2,467	2,345	1,842	1,584	1,713	1,507	1,257	885
	定点当たり	1.60	1.60	1.25	1.19	1.13	0.97	0.99	0.94	0.86	0.78	0.75	0.58	0.50	0.54	0.48	0.40	0.29
急性出血性結膜炎	報告数	6	5	4	7	4	1	5	3	2	-	1	-	7	6	14	11	4
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	-	0.01	-	-	-	-	-	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01
流行性角結膜炎	報告数	131	159	131	116	132	139	159	147	130	147	136	135	160	160	130	169	107
	定点当たり	0.19	0.23	0.19	0.17	0.19	0.20	0.23	0.21	0.19	0.21	0.20	0.19	0.23	0.23	0.19	0.24	0.16
細菌性瞼膜炎	報告数	7	7	5	5	6	3	8	9	7	9	3	7	6	7	5	5	2
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	-
無菌性瞼膜炎	報告数	5	7	9	12	15	7	12	5	14	11	10	6	11	9	10	4	7
	定点当たり	0.01	0.01	0.02	0.03	0.03	0.01	0.03	0.01	0.03	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01
マイコプラズマ肺炎	報告数	5	9	4	5	11	11	8	10	14	12	13	7	11	9	13	15	8
	定点当たり	0.01	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.01	0.02	0.02	0.03	0.03	0.02
クラミジア肺炎	報告数	1	3	2	-	1	-	-	-	-	1	1	1	-	1	1	-	1
	定点当たり	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	1	1	1	4	-	1	-	2	-	1	1	2	2	-	-	2	3
	定点当たり	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01
計		29,015	27,922	19,731	20,328	19,020	16,901	17,760	17,198	16,508	17,360	18,299	17,567	19,300	21,585	24,458	29,373	27,154

表9-1 全国月別報告状況(週報対象)

疾病名		1月 5週	2月 4週	3月 4週	4月 4週	5月 5週	6月 4週	7月 4週	8月 5週	9月 4週	10月 5週	11月 4週	12月 4週	合計 52週
	報告数	310	154	64	48	31	31	555	684	376	712	2,152	20,422	25,539
インフルエンザ	定点当たり	0.06	0.04	—	—	—	—	0.12	0.14	0.08	0.14	0.43	4.16	5.17
	報告数	2,980	1,479	1,052	1,154	3,626	5,326	3,448	1,333	710	981	1,275	1,926	25,290
咽頭結膜熱	定点当たり	0.95	0.47	0.34	0.36	1.15	1.69	1.10	0.42	0.22	0.31	0.41	0.62	8.04
	報告数	7,215	3,629	3,022	3,110	4,479	4,384	4,281	3,614	3,694	6,192	4,812	4,477	52,909
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	定点当たり	2.30	1.14	0.96	0.99	1.42	1.39	1.36	1.15	1.18	1.97	1.53	1.43	16.82
	報告数	101,517	51,652	40,688	45,056	70,615	66,977	45,795	30,532	25,082	34,587	41,082	60,032	613,615
感染性胃腸炎	定点当たり	32.31	16.42	12.95	14.35	22.44	21.25	14.57	9.77	7.97	11.02	13.05	19.12	195.22
	報告数	1,477	789	761	861	1,256	1,060	877	848	703	1,154	1,489	1,236	12,511
水痘	定点当たり	0.47	0.25	0.24	0.28	0.40	0.33	0.29	0.27	0.22	0.38	0.47	0.39	3.99
	報告数	4,647	1,145	748	1,315	2,678	6,891	26,700	49,801	36,079	18,450	6,649	3,727	158,830
手足口病	定点当たり	1.48	0.36	0.25	0.42	0.86	2.19	8.50	15.93	11.46	5.87	2.11	1.18	50.61
	報告数	205	165	154	164	206	161	163	152	150	152	106	107	1,885
伝染性紅斑	定点当たり	0.06	0.05	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	0.57
	報告数	4,331	2,869	3,290	4,371	5,972	5,056	4,241	3,822	3,273	3,869	3,241	2,709	47,044
突発性発しん	定点当たり	1.37	0.91	1.05	1.39	1.89	1.60	1.34	1.23	1.03	1.24	1.03	0.86	14.94
	報告数	893	249	167	178	428	1,636	6,746	11,264	8,102	4,574	2,324	1,468	38,029
ヘルパンギーナ	定点当たり	0.29	0.08	0.05	0.06	0.13	0.51	2.14	3.61	2.57	1.46	0.74	0.47	12.11
	報告数	392	265	323	360	560	474	398	395	428	480	457	401	4,933
流行性耳下腺炎	定点当たり	0.12	0.08	0.11	0.12	0.18	0.15	0.13	0.12	0.15	0.15	0.14	0.13	1.58
	報告数	6,050	2,749	1,999	1,591	2,493	7,053	26,665	25,035	17,747	15,370	8,238	5,362	120,352
RSウイルス感染症	定点当たり	1.92	0.87	0.63	0.50	0.78	2.24	8.49	8.02	5.64	4.89	2.61	1.71	38.30
	報告数	19	10	11	11	10	20	16	9	22	15	8	35	186
急性出血性結膜炎	定点当たり	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01	0.03	0.02	0.01	0.04	0.02	0.01	0.06	0.26
	報告数	615	361	339	403	598	559	607	621	537	707	578	566	6,491
流行性角結膜炎	定点当たり	0.88	0.51	0.49	0.58	0.87	0.80	0.87	0.90	0.78	1.02	0.83	0.82	9.35
	報告数	30	19	22	18	34	19	20	34	24	33	25	19	297
細菌性瞼膜炎	定点当たり	0.06	0.04	0.04	0.03	0.07	0.04	0.04	0.06	0.04	0.07	0.05	0.03	0.57
	報告数	32	16	31	26	42	44	50	37	33	53	38	30	432
無菌性瞼膜炎	定点当たり	0.06	0.04	0.06	0.05	0.08	0.10	0.11	0.07	0.07	0.11	0.07	0.06	0.88
	報告数	22	21	23	29	43	33	23	36	23	54	43	45	395
マイコプラズマ肺炎	定点当たり	0.05	0.05	0.05	0.06	0.09	0.07	0.05	0.08	0.05	0.11	0.09	0.10	0.85
	報告数	2	3	3	5	4	—	—	2	6	1	3	3	32
クラミジア肺炎	定点当たり	—	—	—	—	—	—	—	—	0.01	—	—	—	0.01
	報告数	23	11	11	11	6	5	1	10	7	3	6	5	99
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点当たり	0.05	0.03	0.03	0.02	—	0.01	—	0.02	0.01	—	—	0.01	0.18
	報告数	1,284	1,177	1,314	1,194	1,288	1,312	1,245	1,338	1,369	1,336	1,319	1,319	15,495
計		130,760	65,586	52,708	58,711	93,081	99,729	120,586	128,229	96,996	87,387	72,526	102,570	1,108,869
内科小児科系疾患月報告分		1,284	1,177	1,314	1,194	1,288	1,312	1,245	1,338	1,369	1,336	1,319	1,319	15,495
総計		132,044	66,763	54,022	59,905	94,369	101,041	121,831	129,567	98,365	88,723	73,845	103,889	1,124,364

表9-2 全国月別報告状況(月報対象)

疾病名		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	報告数	2,396	2,204	2,468	2,344	2,541	2,780	2,613	2,519	2,559	2,715	2,634	2,363	30,136
	定点当たり	2.43	2.24	2.50	2.38	2.58	2.83	2.66	2.57	2.60	2.76	2.68	2.40	30.63
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	770	618	714	748	741	811	766	752	675	739	700	671	8,705
	定点当たり	0.78	0.63	0.72	0.76	0.75	0.82	0.78	0.77	0.69	0.75	0.71	0.68	8.84
尖圭コンジローマ	報告数	424	376	457	458	523	581	520	552	496	521	584	487	5,979
	定点当たり	0.43	0.38	0.46	0.47	0.53	0.59	0.53	0.56	0.50	0.53	0.59	0.49	6.06
淋菌感染症	報告数	888	685	796	791	837	871	915	840	845	911	840	774	9,993
	定点当たり	0.90	0.69	0.81	0.80	0.85	0.89	0.93	0.86	0.86	0.93	0.85	0.79	10.16
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	報告数	1,232	1,144	1,264	1,145	1,212	1,243	1,176	1,271	1,311	1,247	1,218	1,231	14,694
	定点当たり	2.57	2.38	2.63	2.39	2.53	2.59	2.45	2.65	2.73	2.61	2.54	2.58	30.65
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	報告数	44	28	42	39	61	57	62	56	49	83	95	82	698
	定点当たり	0.09	0.06	0.09	0.08	0.13	0.12	0.13	0.12	0.10	0.17	0.20	0.17	1.46
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数	8	5	8	10	15	12	7	11	9	6	6	6	103
	定点当たり	0.02	0.01	0.02	0.02	0.03	0.03	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.21

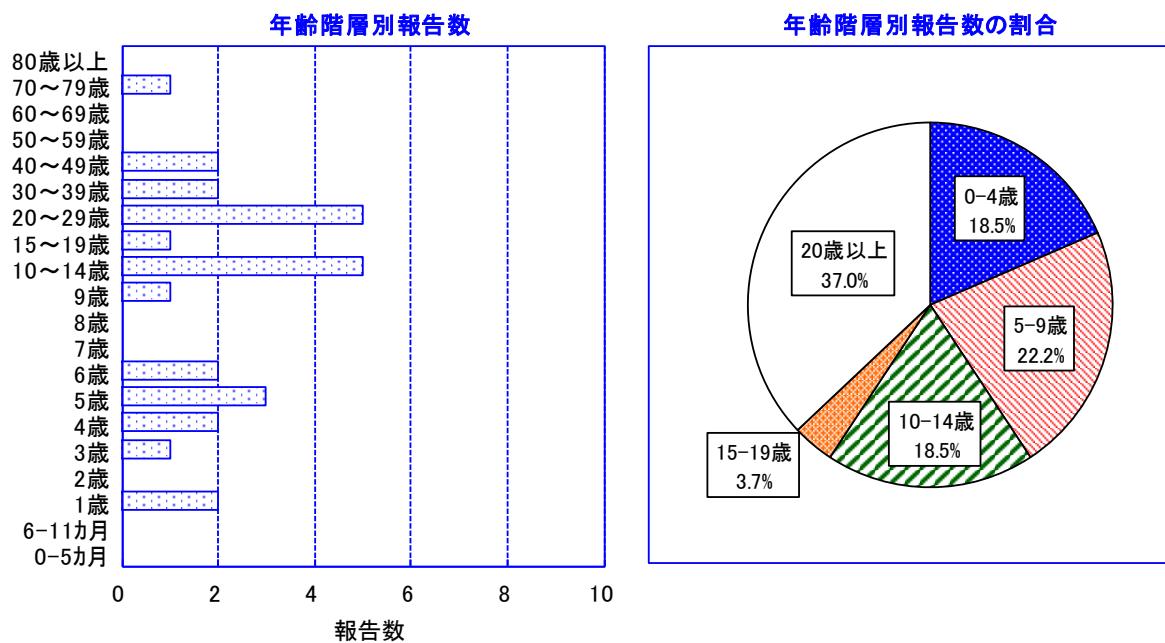
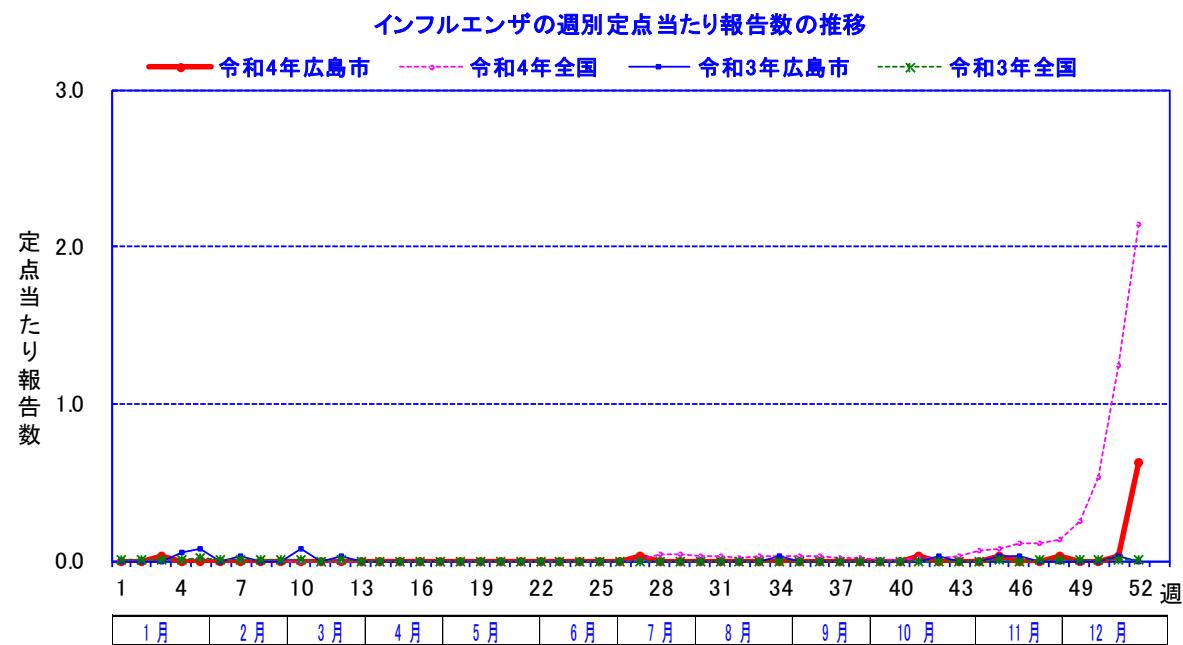
第3章 感染症別患者発生状況

第1節 インフルエンザ定点

インフルエンザ（鳥インフルエンザを除く）

年間定点当たり累積報告数は 0.80 人で、前年と比べて増加した（前年比 1.90）。

令和 3 年と同様、流行開始の目安となる定点当たり 1.00 人を超えることはなかったが、令和 4 年第 52 週に定点当たり 0.62 人と増加がみられた。



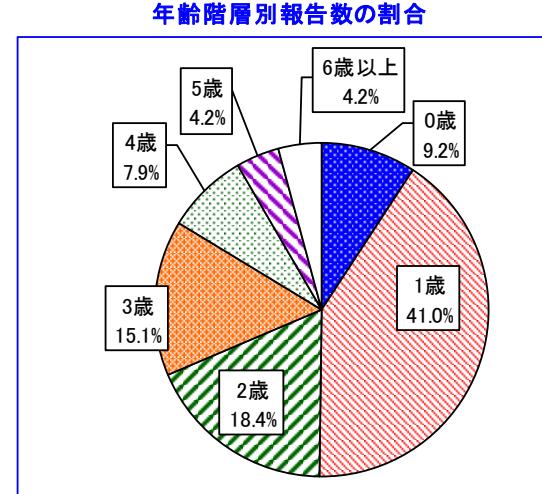
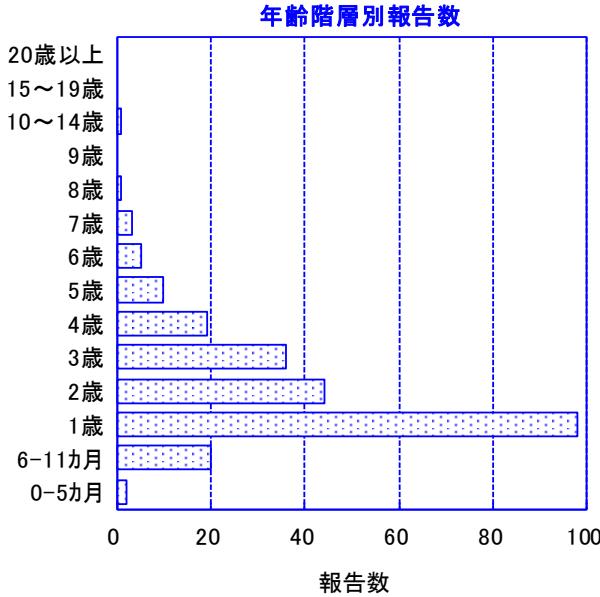
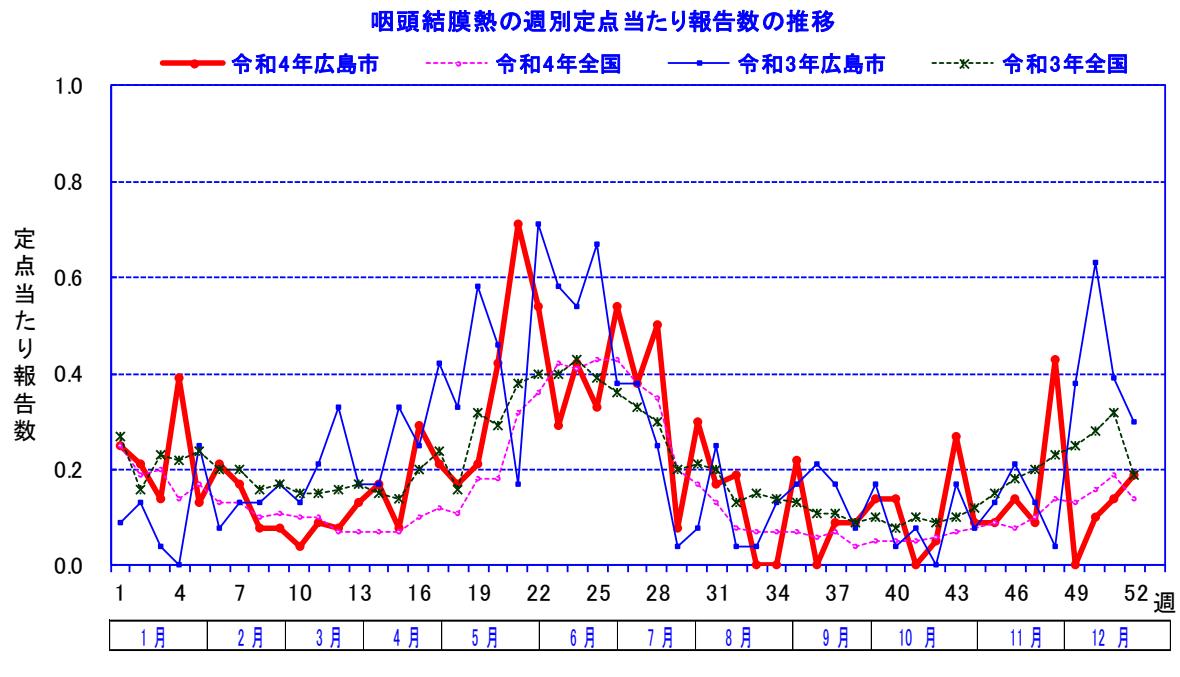
第2節 小児科定点

1 咽頭結膜熱

年間定点当たり累積報告数は10.3人で、前年と比べてやや減少した(前年比0.85)。

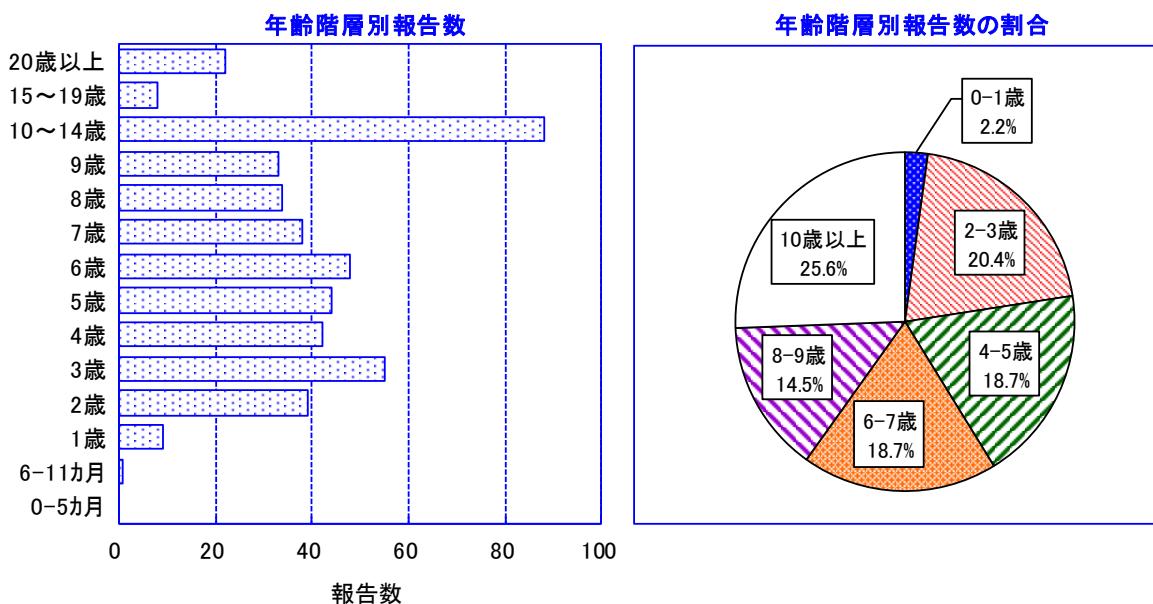
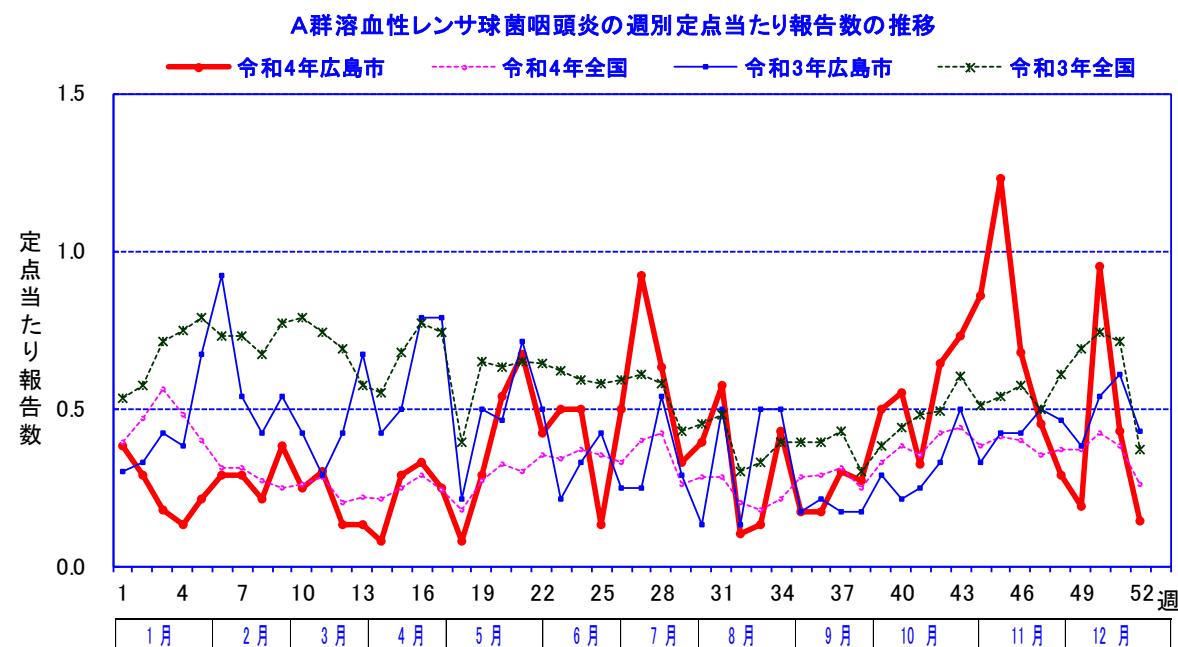
年間累積報告数は小児科定点報告数の2.6%であった。

年齢階層別報告数は1歳が最も多く、3歳以下が83.7%を占めていた。



2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

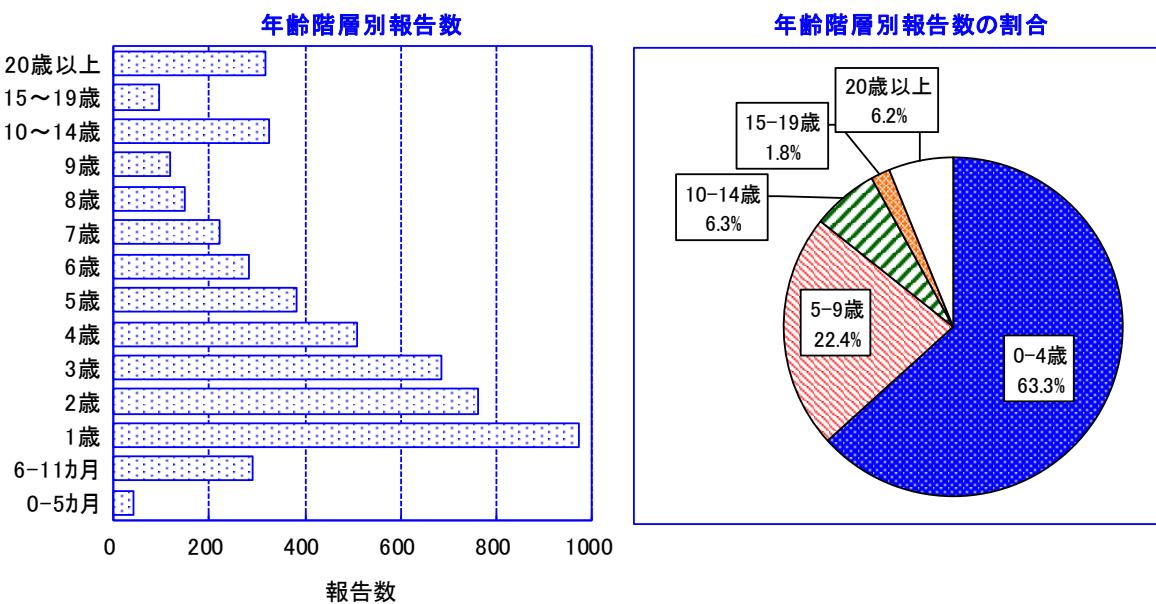
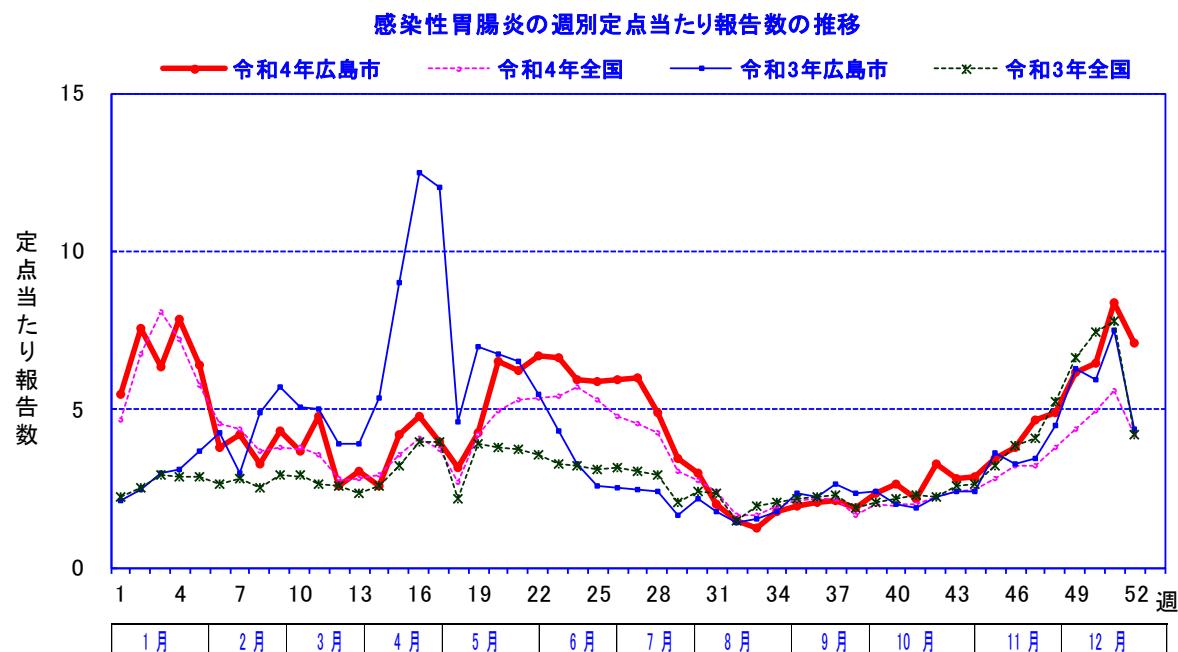
年間定点当たり累積報告数は20.1人で、前年とほぼ同程度であった(前年比0.92)。年間累積報告数は小児科定点報告数の5.1%であった。
年齢階層別報告数は2~9歳が72.3%を占めていた。



3 感染性胃腸炎

年間定点当たり累積報告数は223人で、前年とほぼ同程度であった(前年比1.06)。年間累積報告数は小児科定点報告数の56.7%を占め、小児科定点報告対象疾患の中で最も多かった。

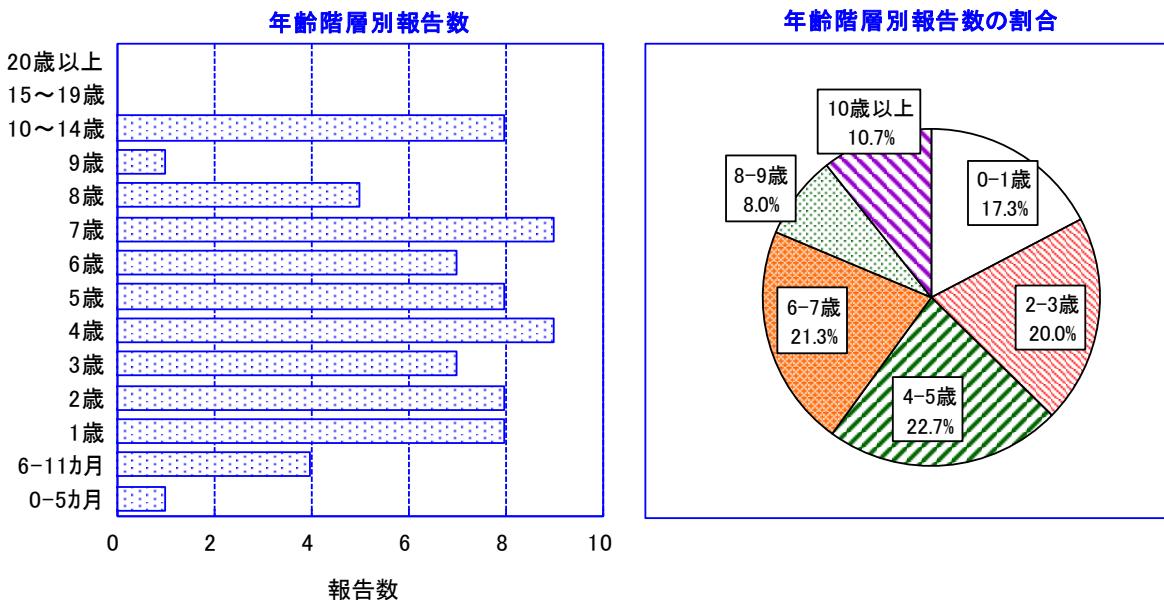
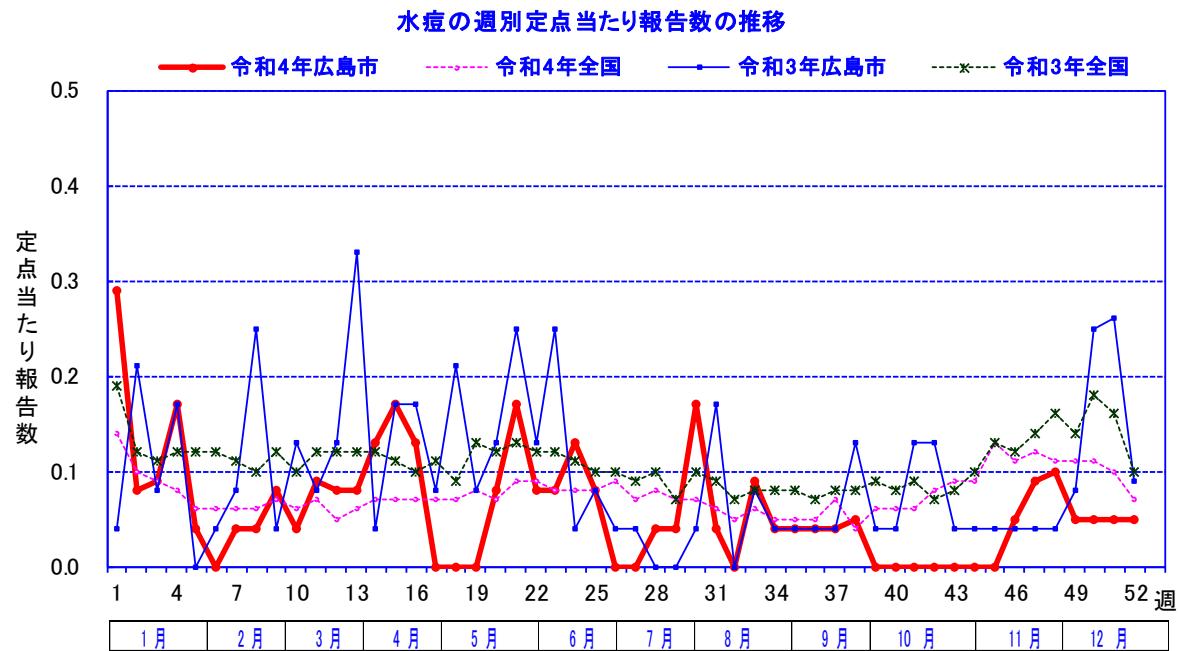
年齢階層別報告数は1歳が最も多く、4歳以下が63.3%を占めていた。



4 水痘

年間定点当たり累積報告数は3.20人で、前年と比べて減少した（前年比0.62）。年間累積報告数は小児科定点報告数の0.8%であった。

年齢階層別報告数は、6ヶ月から8歳で幅広く分布していた。

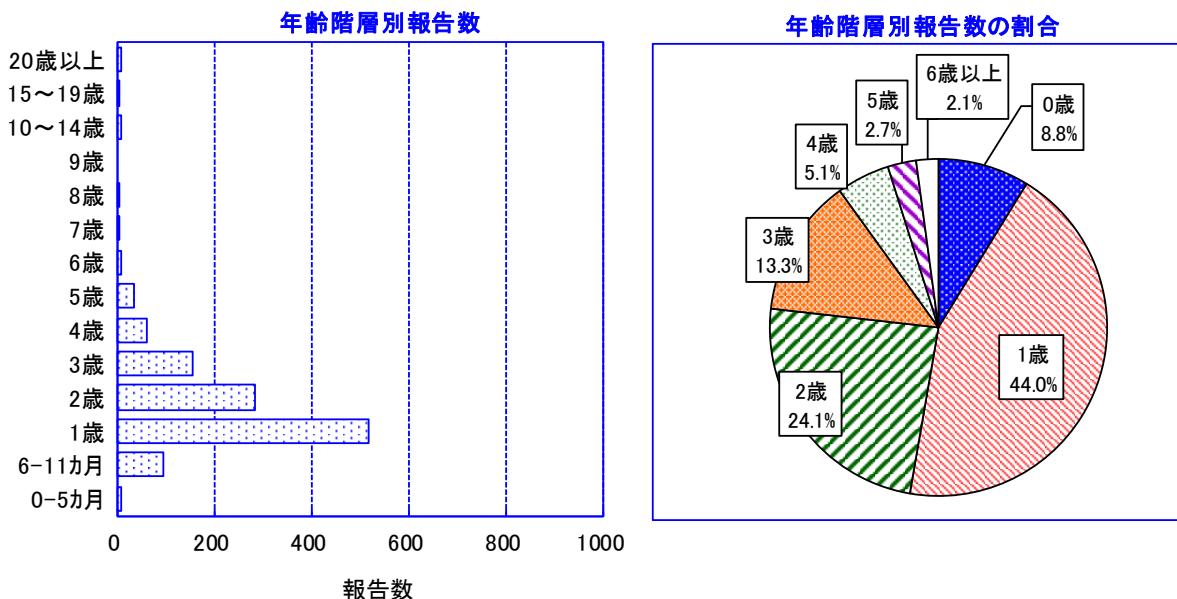
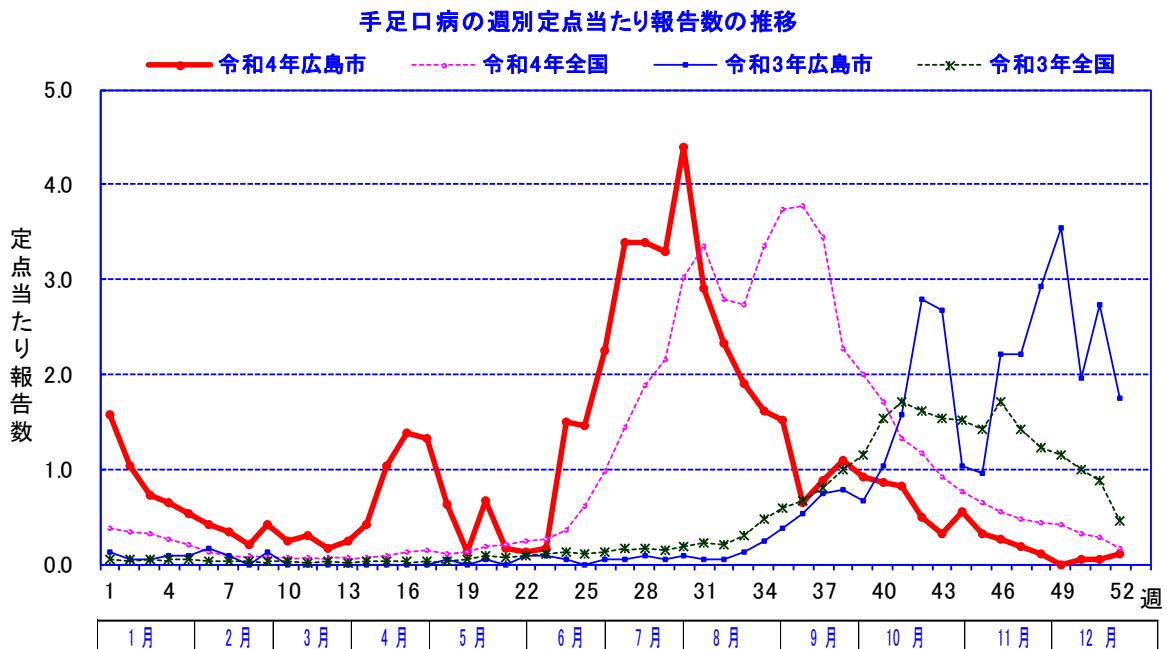


5 手足口病

年間定点当たり累積報告数は 50.5 人で、前年と比べて増加した（前年比 1.56）。年間累積報告数は小児科定点報告数の 12.9% を占め、小児科定点報告対象疾患の中では 3 番目に多かった。

令和 3 年は秋から冬にかけて報告数が増加し、例年とは異なる傾向であったが、令和 4 年は第 30 週に定点当たり 4.39 人となり、例年どおり夏季に流行が見られた。

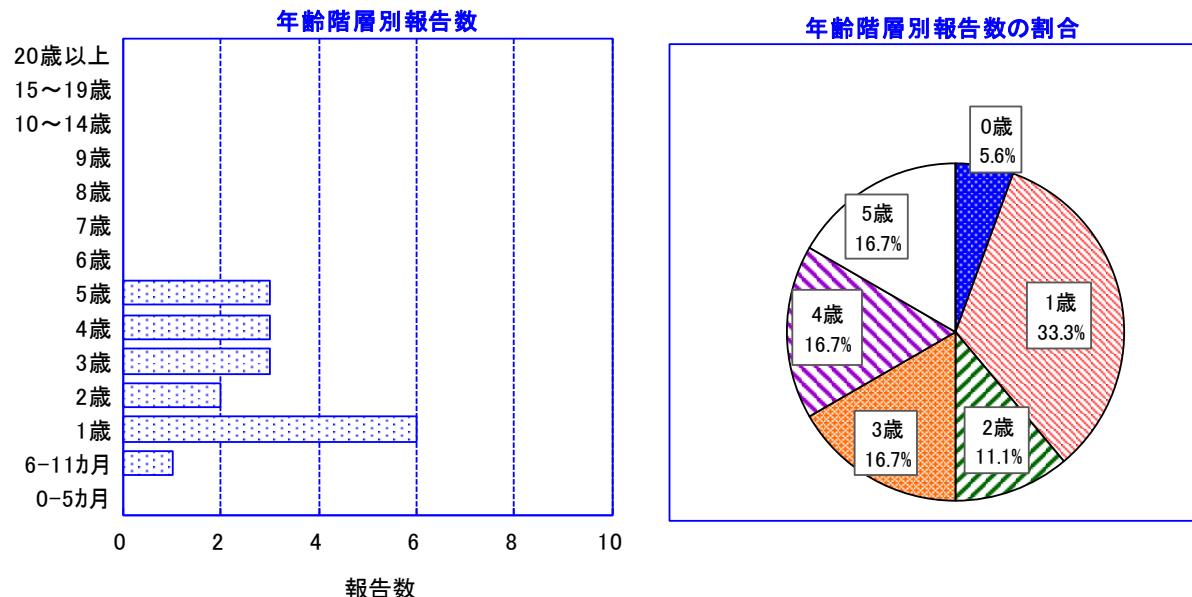
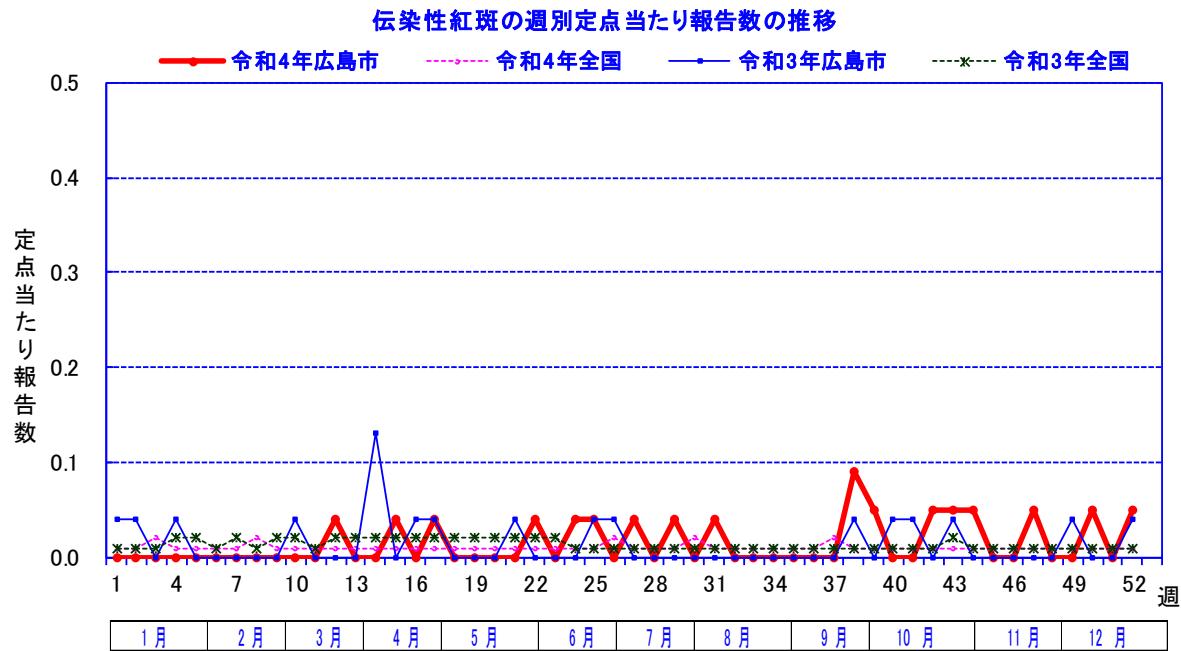
年齢階層別報告数は、1 歳が最も多く、1~3 歳が 81.4% を占めていた。



6 伝染性紅斑

年間定点当たり累積報告数は0.80人で、前年とほぼ同程度であった(前年比1.09)。年間累積報告数は小児科定点報告数の0.2%であった。

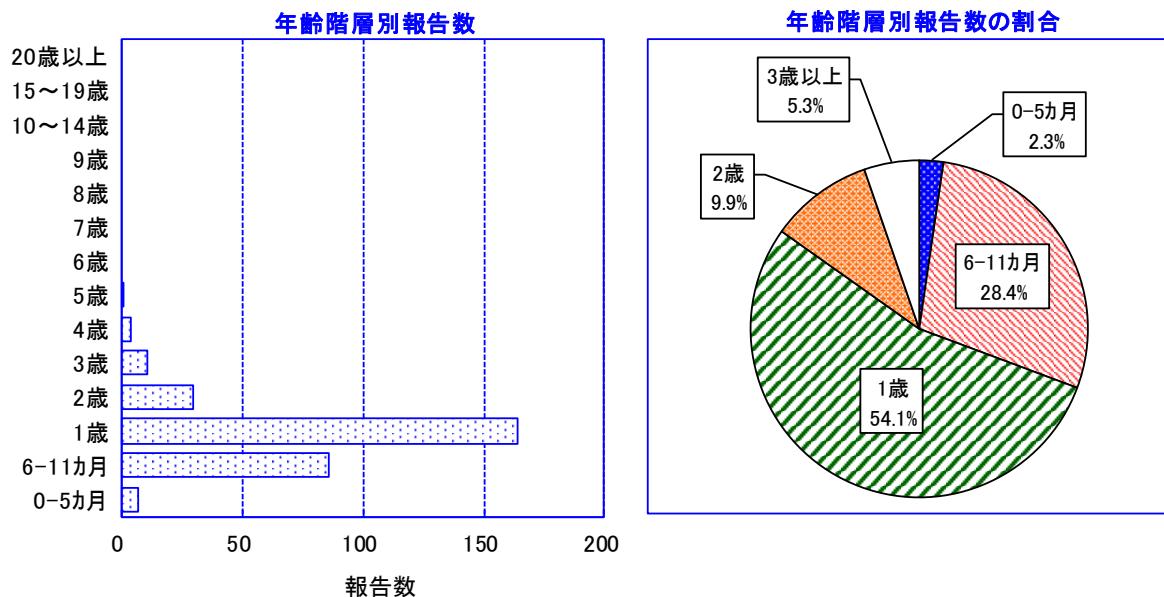
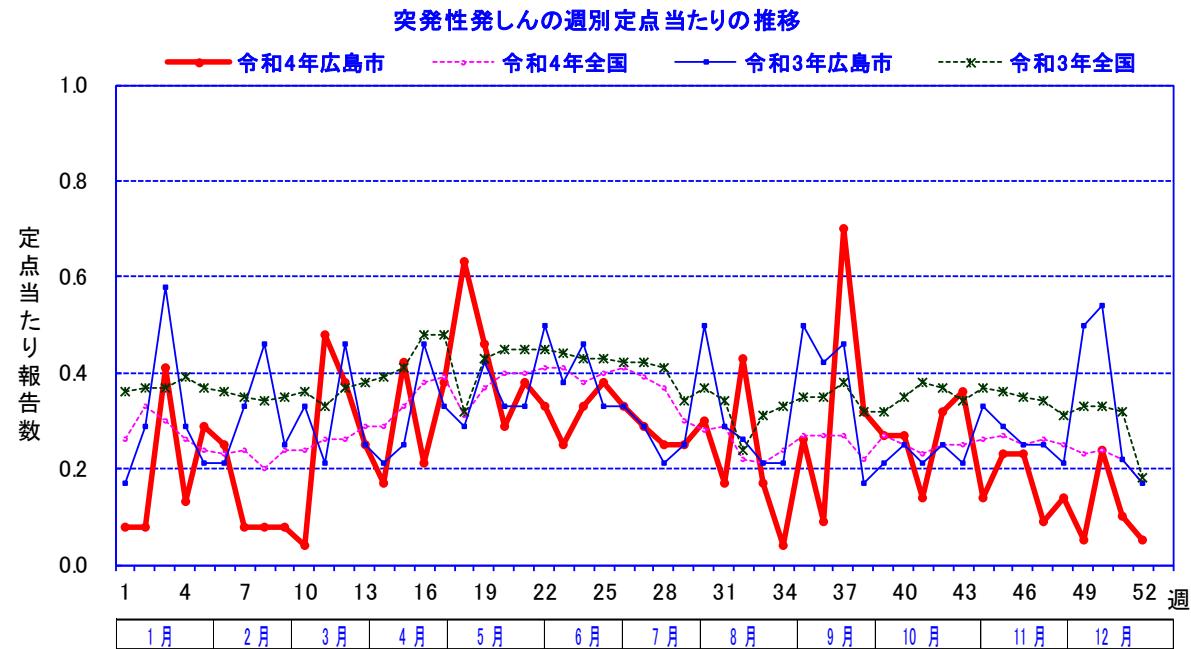
年齢階層別報告数は、1歳が最も多かった。



7 突発性発しん

年間定点当たり累積報告数は13.1人で、前年と比べてやや減少した(前年比0.80)。年間累積報告数は小児科定点報告数の3.3%であった。

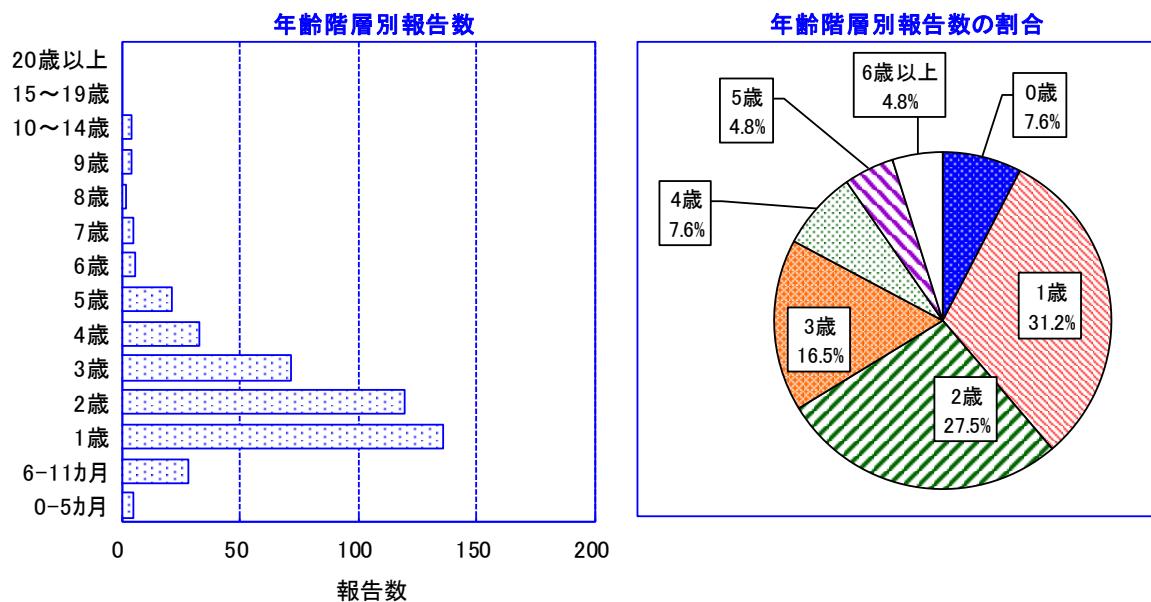
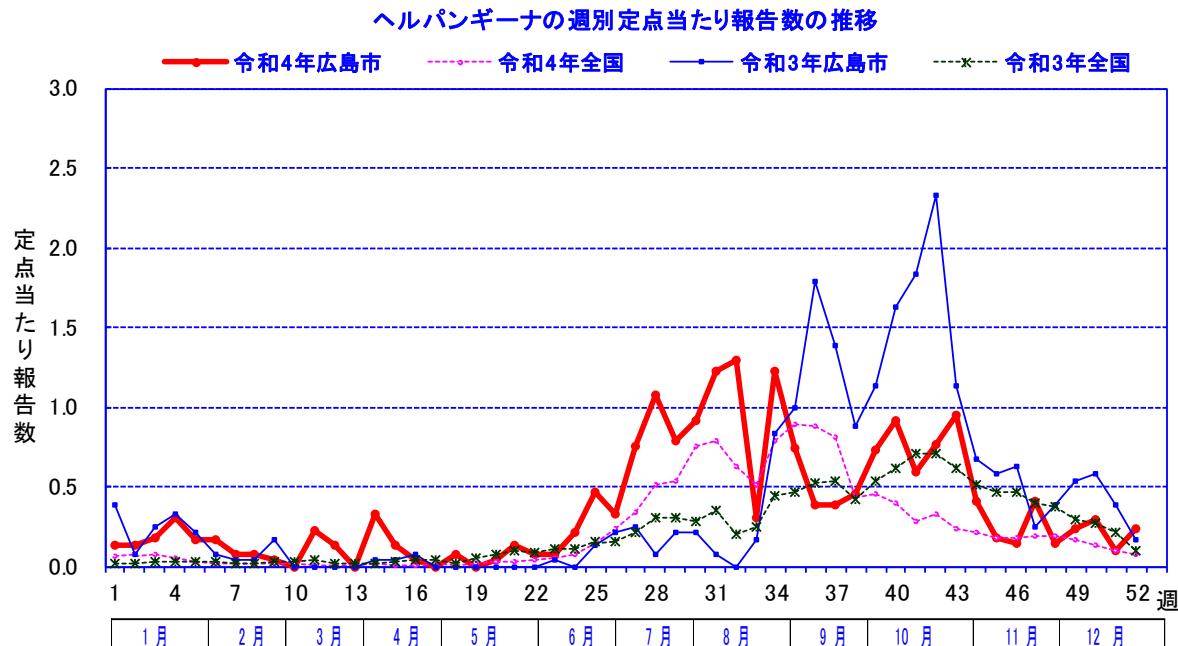
年齢階層別報告数は、1歳が最も多く、6カ月～1歳が82.5%を占めていた。



8 ヘルパンギーナ

年間定点当たり累積報告数は19.2人で、前年と比べてやや減少した(前年比0.90)。年間累積報告数は小児科定点報告数の4.9%であった。

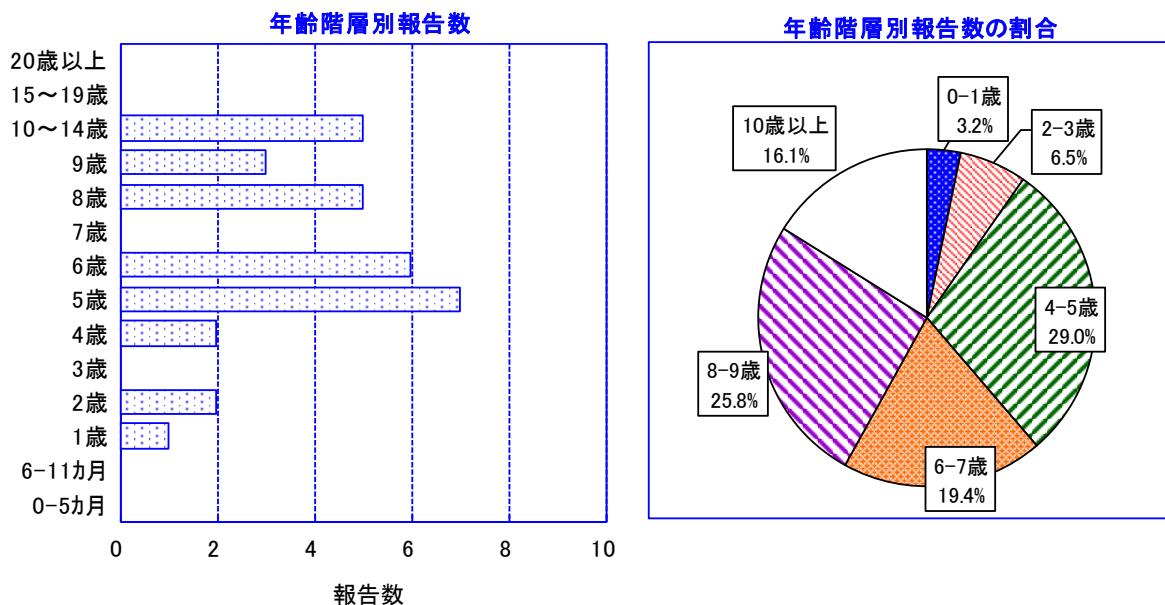
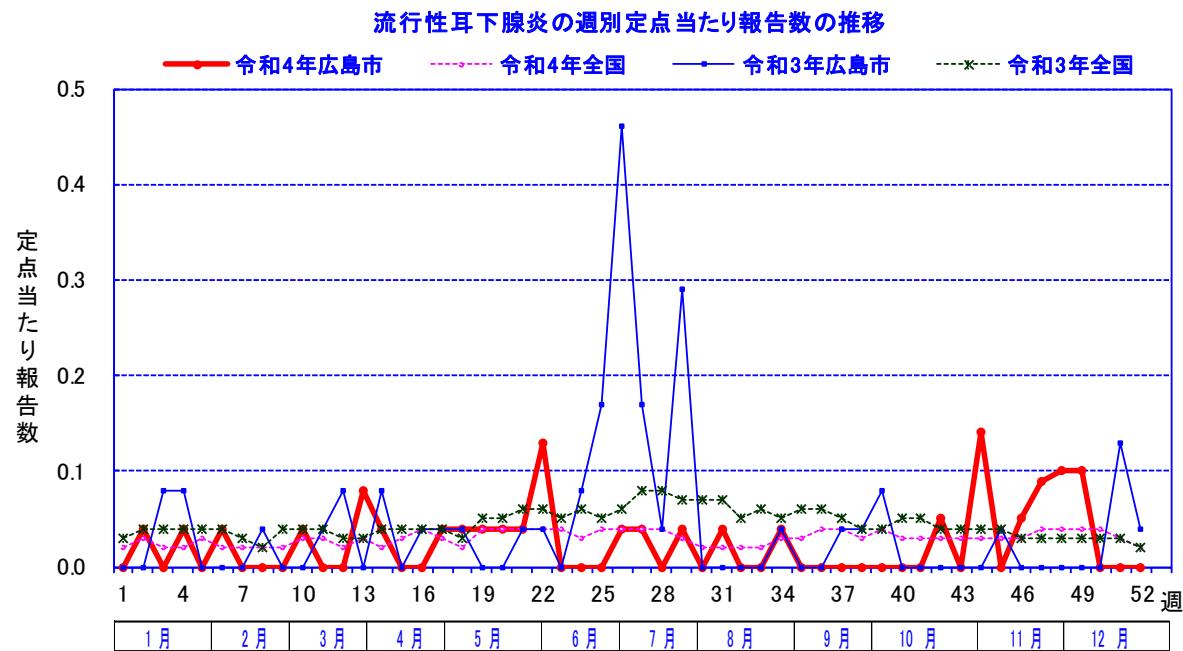
年齢階層別報告数は1~3歳が多く75.2%を占めていた。



9 流行性耳下腺炎

年間定点当たり累積報告数は 1.34 人で、前年と比べて減少した（前年比 0.60）。年間累積報告数は小児科定点報告数の 0.3% であった。

年齢階層別報告数は 4~9 歳が多く 74.2% を占めていた。

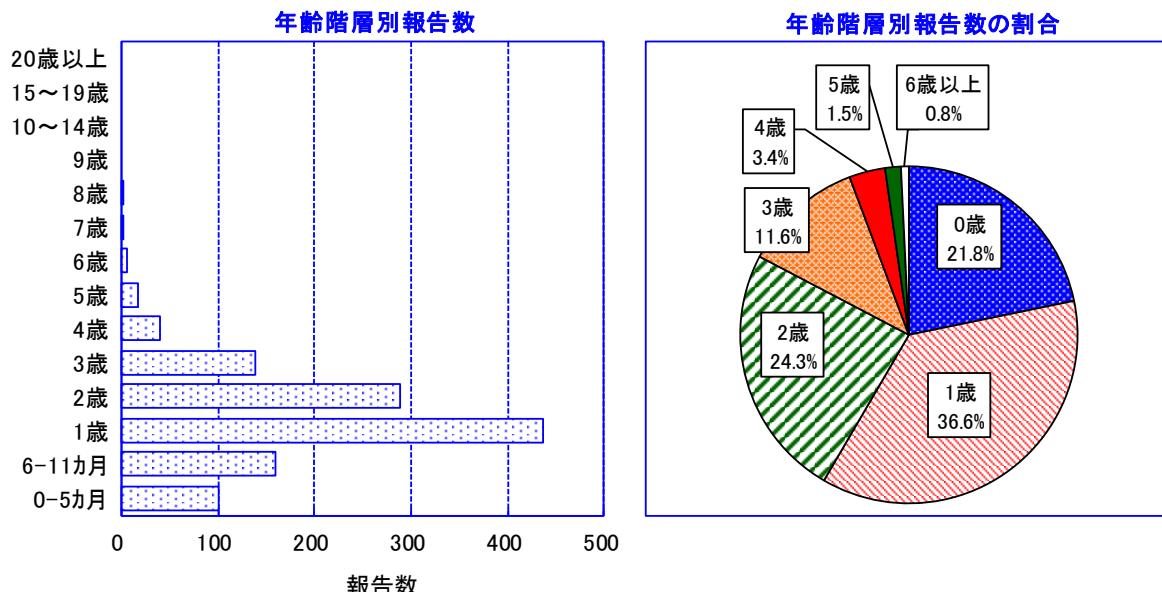
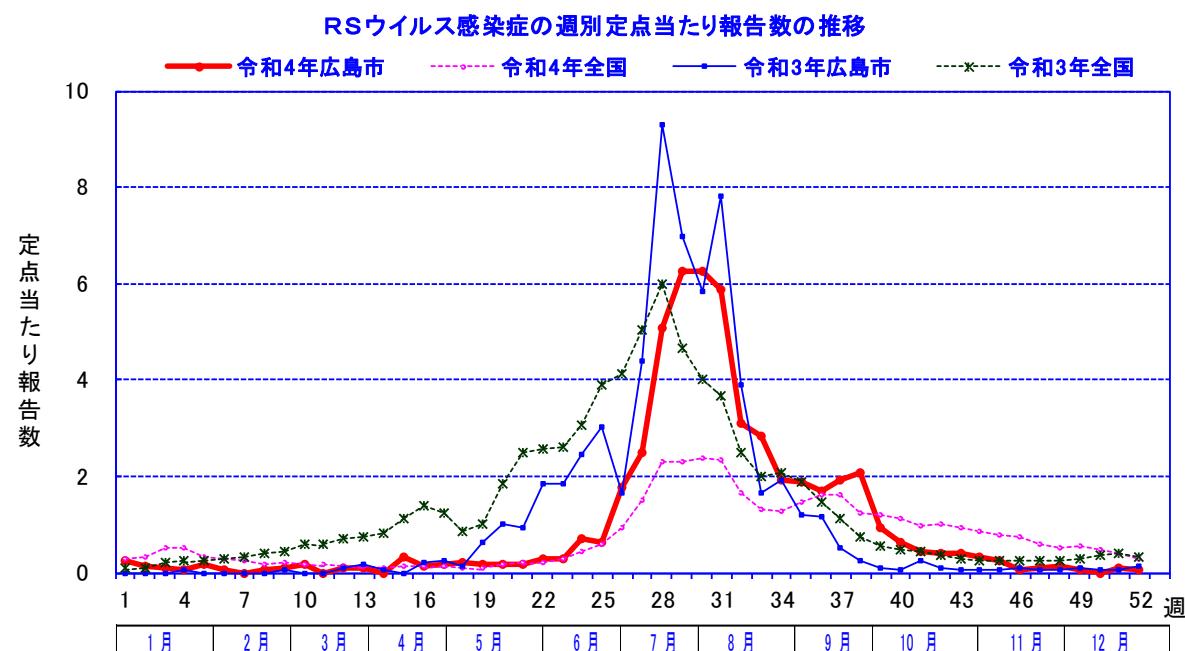


10 RSウイルス感染症

年間定点当たり累積報告数は51.5人で、前年と比べてやや減少した(前年比0.85)。年間累積報告数は小児科定点報告数の13.1%を占め、小児科定点報告対象疾患の中では感染性胃腸炎に次いで多かった。

定点当たり報告数は、6月から増加し、9月にかけて流行が見られた。

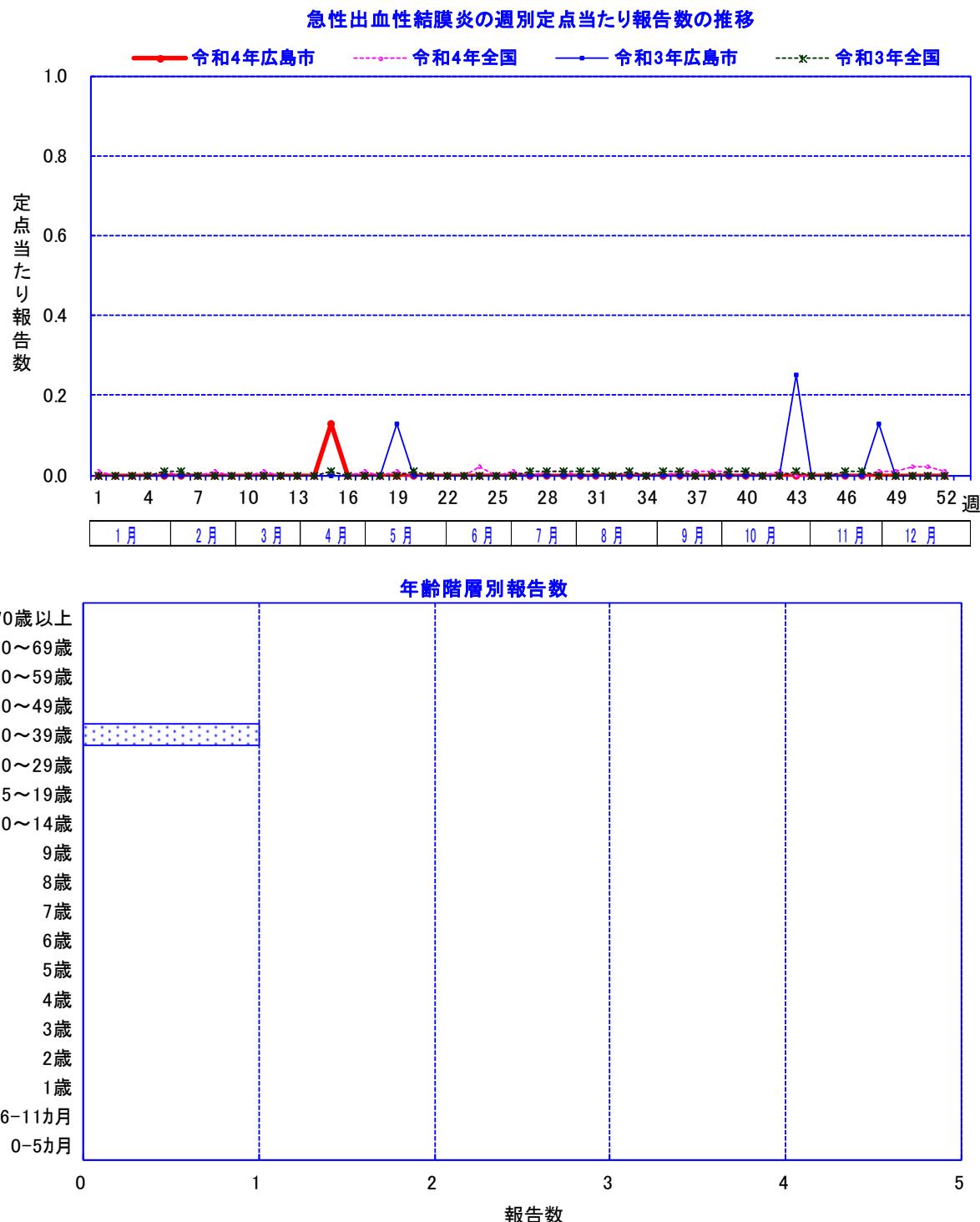
年齢階層別報告数は3歳以下が多く94.3%を占めていた。



第3節 眼科定点

1 急性出血性結膜炎

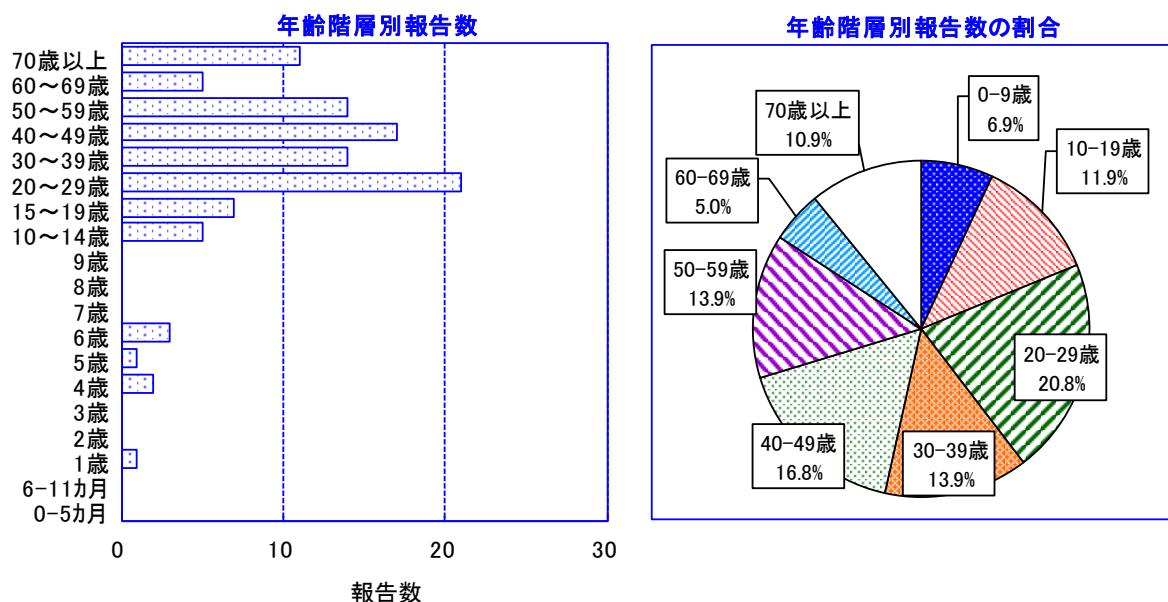
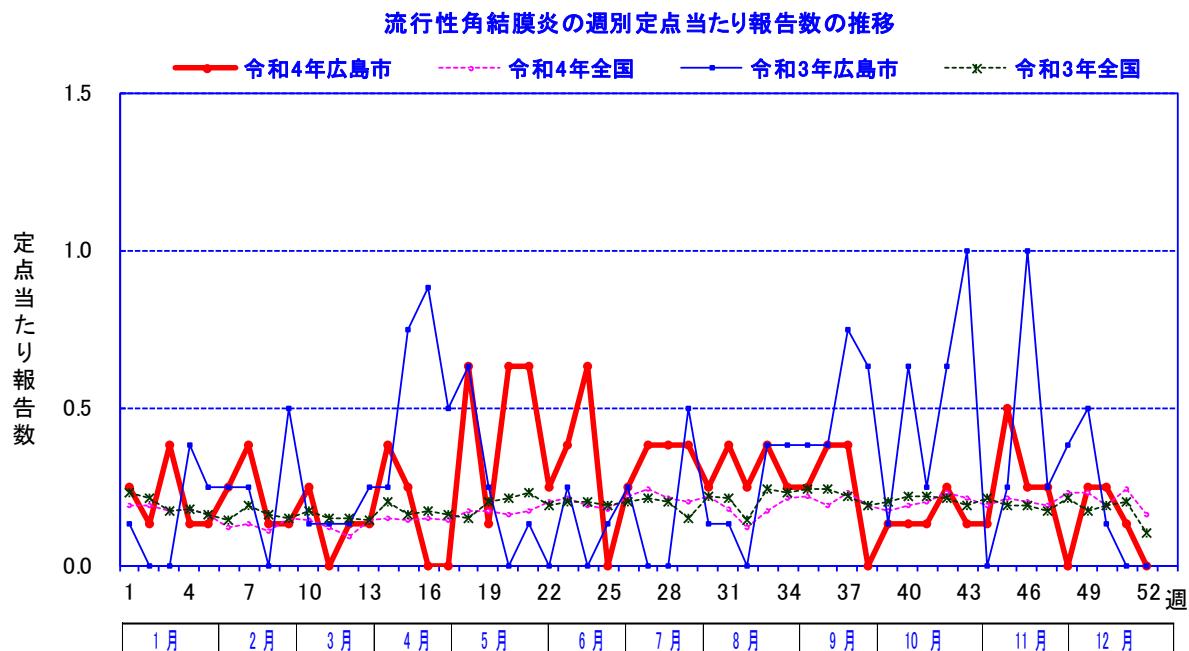
年間報告数は1人であった。



2 流行性角結膜炎

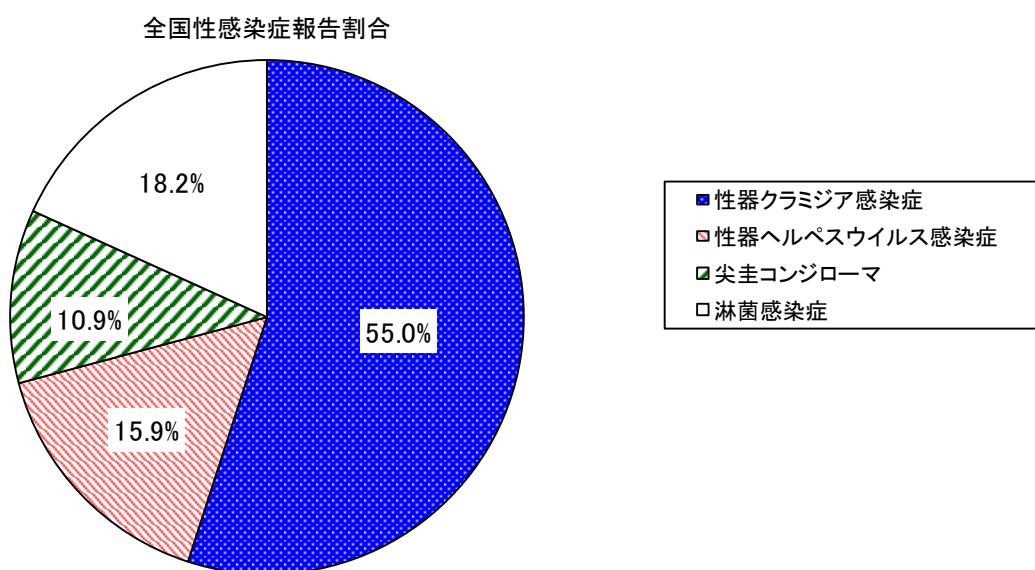
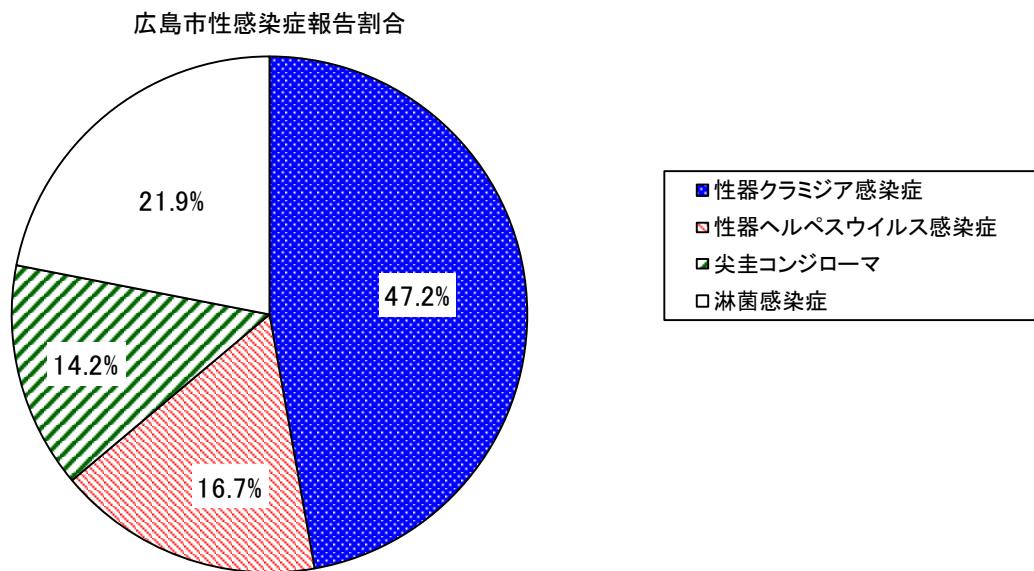
年間定点当たり累積報告数は12.8人で、前年と比べてやや減少した(前年比0.83)。

年齢階層別報告数は、20~50代が65.4%を占めていた。



第4節 性感染症定点

性感染症対象4疾患の報告割合は次のグラフのとおりである。性感染症4疾患の年間定点当たり累積報告総数は97.2人で、前年と比べてやや減少した(前年比0.87)。年間定点当たり累積報告数は、性器クラミジア感染症、淋菌感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマの順に多かった。

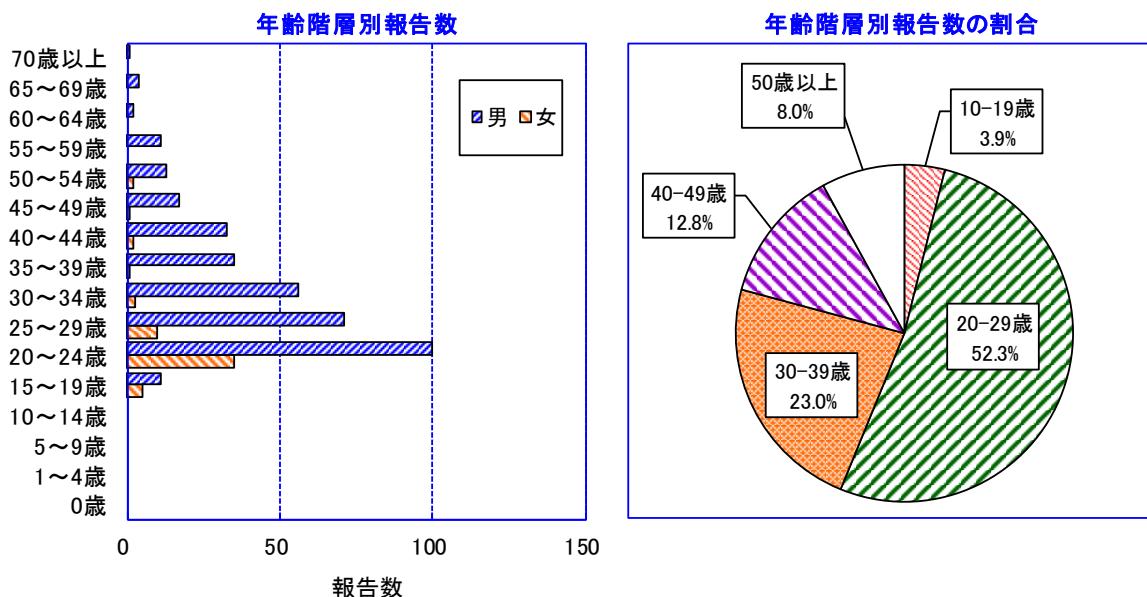
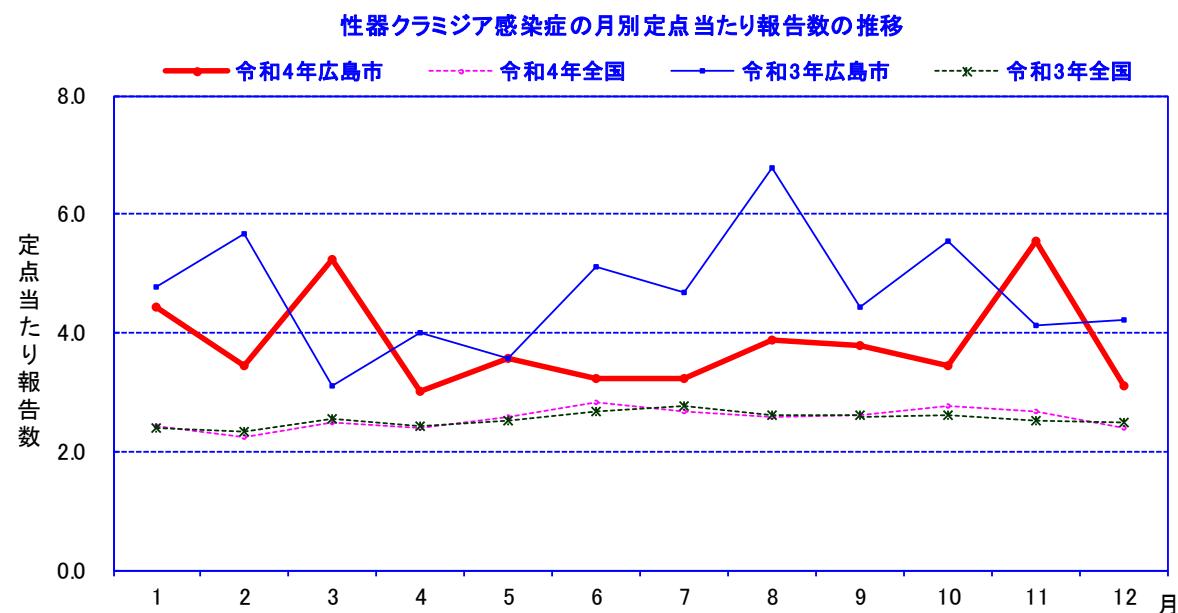


1 性器クラミジア感染症

年間定点当たり累積報告数は45.9人で、前年と比べてやや減少した(前年比0.81)。年間累積報告数は性感染症定点報告数の47.2%を占め、性感染症定点報告対象疾患の中で最も多かった。

男性が多く、年間定点当たり累積報告数は男性39.3人(85.7%)、女性6.56人(14.3%)であった。

年齢階層別報告数は20代が最も多く、20~40代が88.1%を占めていた。

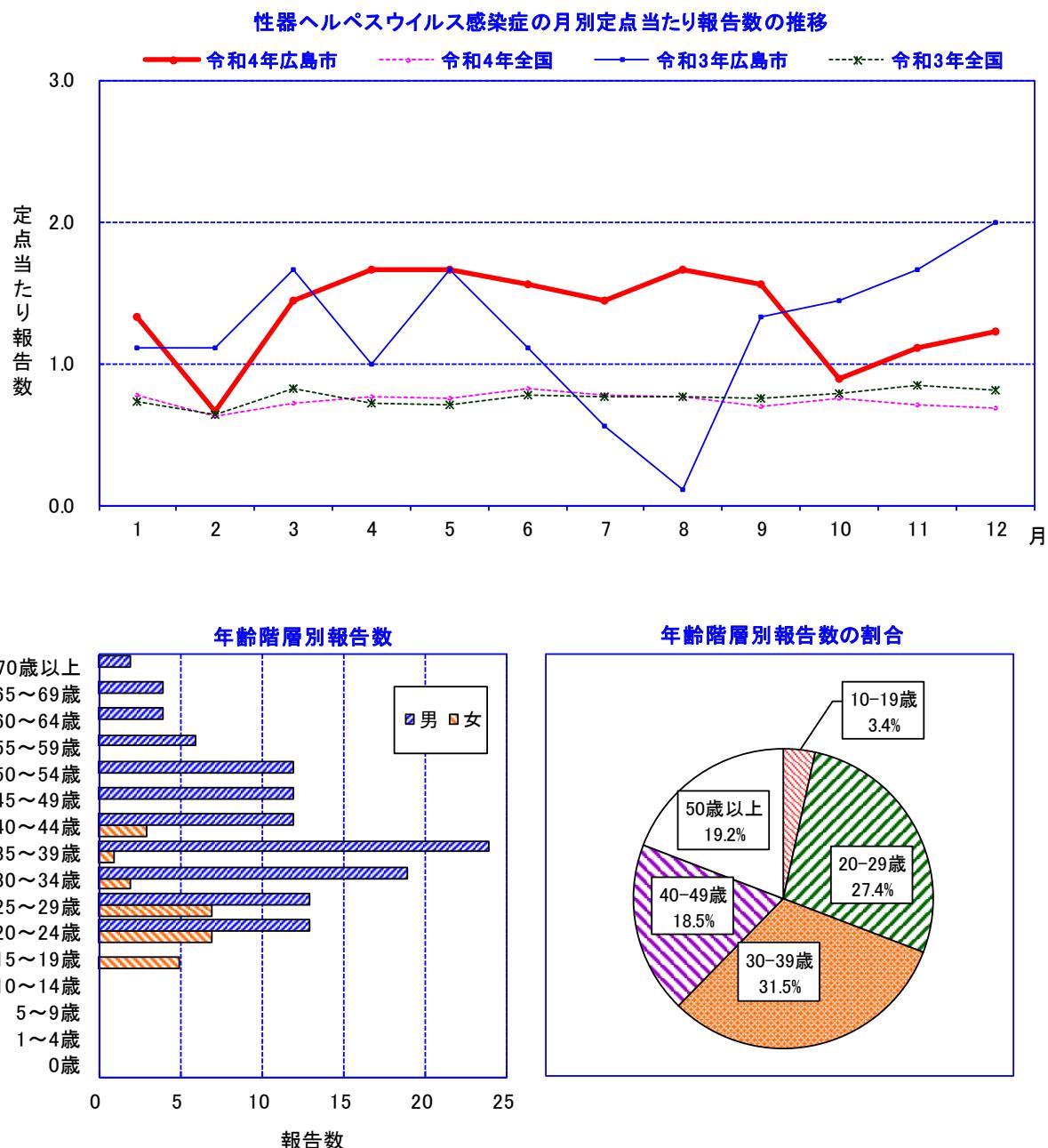


2 性器ヘルペスウイルス感染症

年間定点当たり累積報告数は16.2人で、前年とほぼ同程度であった(前年比1.09)。年間累積報告数は性感染症定点報告数の16.7%であった。

男性が多く、年間定点当たり累積報告数は男性13.4人(82.9%)、女性2.78人(17.1%)であった。

年齢階層別報告数は、20~40代が77.4%を占めていた。

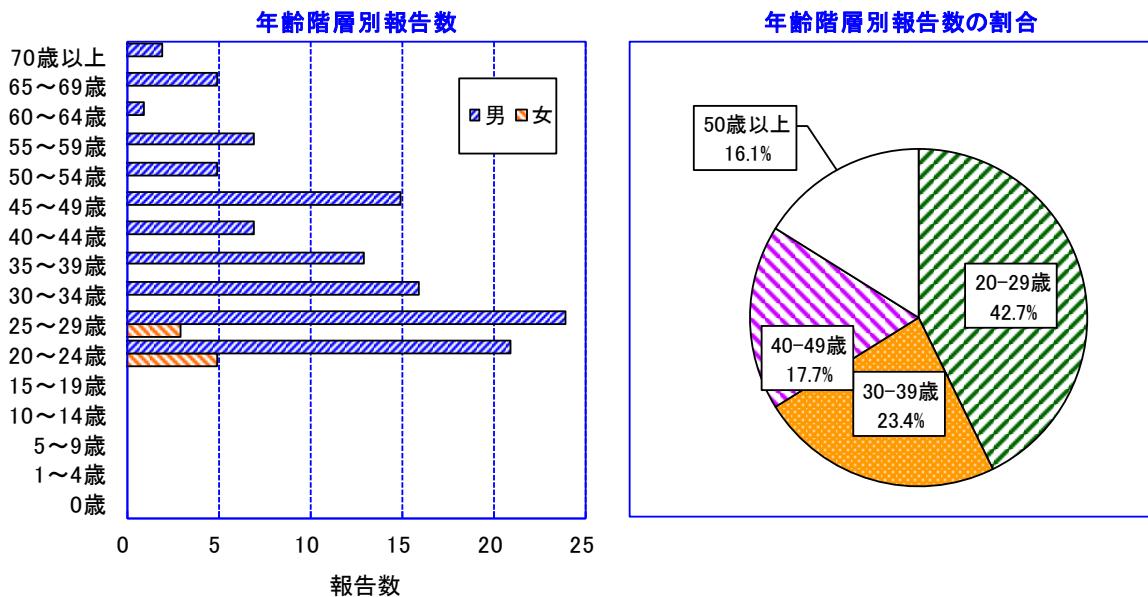
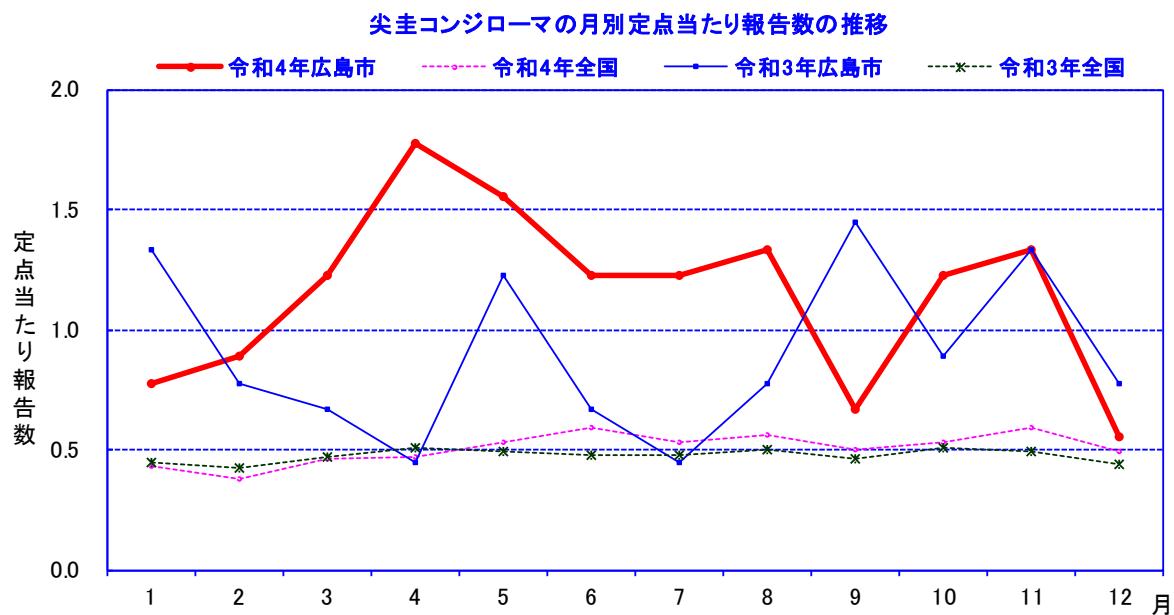


3 尖圭コンジローマ

年間定点当たり累積報告数は13.8人で、前年と比べてやや増加した(前年比1.27)。年間累積報告数は性感染症定点報告数の14.2%であった。

男性が多く、年間定点当たり累積報告数は男性12.9人(93.5%)、女性0.89人(6.5%)であった。

年齢階層別報告数は20代が最も多く、20~40代が83.8%を占めていた。

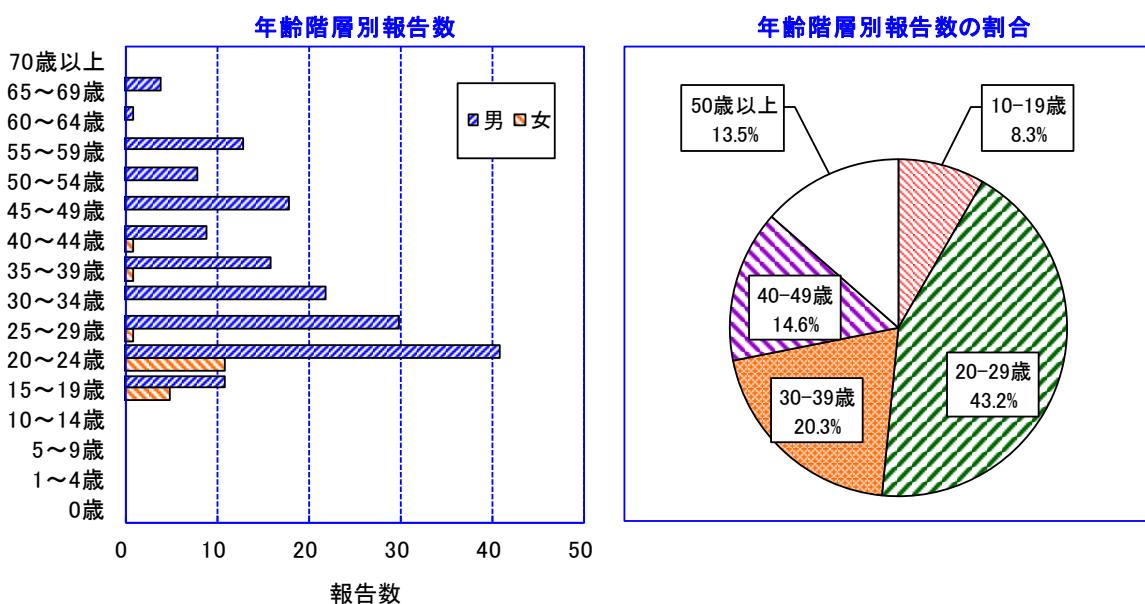
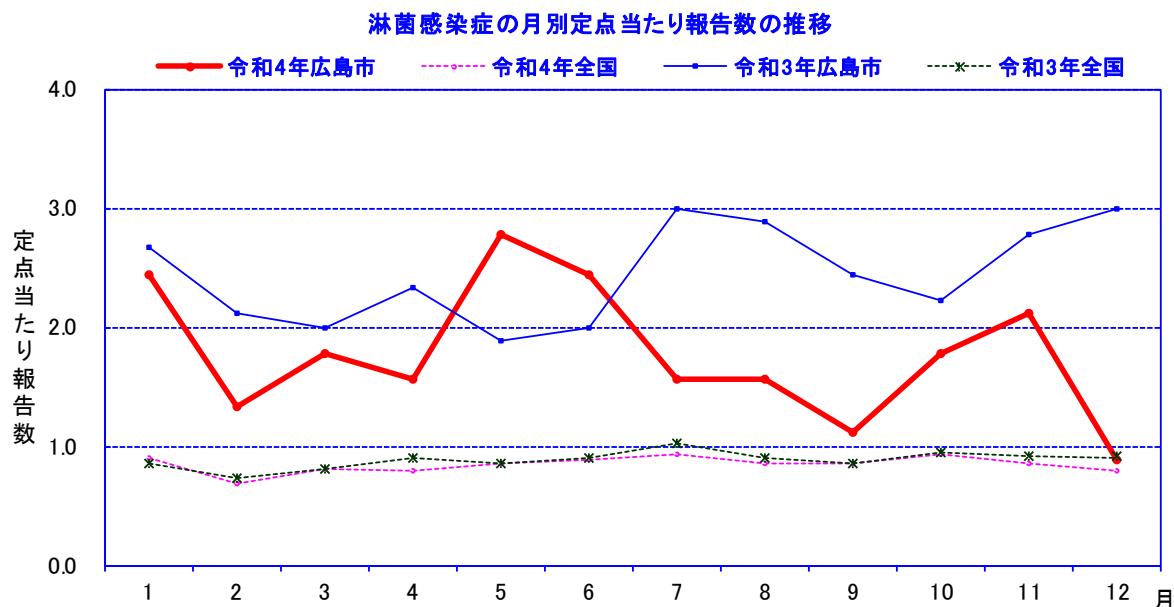


4 淋菌感染症

年間定点当たり累積報告数は21.3人で、前年と比べてやや減少した(前年比0.72)。年間累積報告数は性感染症定点報告数の22%を占め、性感染症定点報告対象疾患の中では性器クラミジア感染症に次いで多かった。

男性が多く、年間定点当たり累積報告数は男性19.2人(90.1%)、女性2.11人(9.9%)であった。

年齢階層別報告数は20代が最も多く、20~40代が78.1%を占めていた。

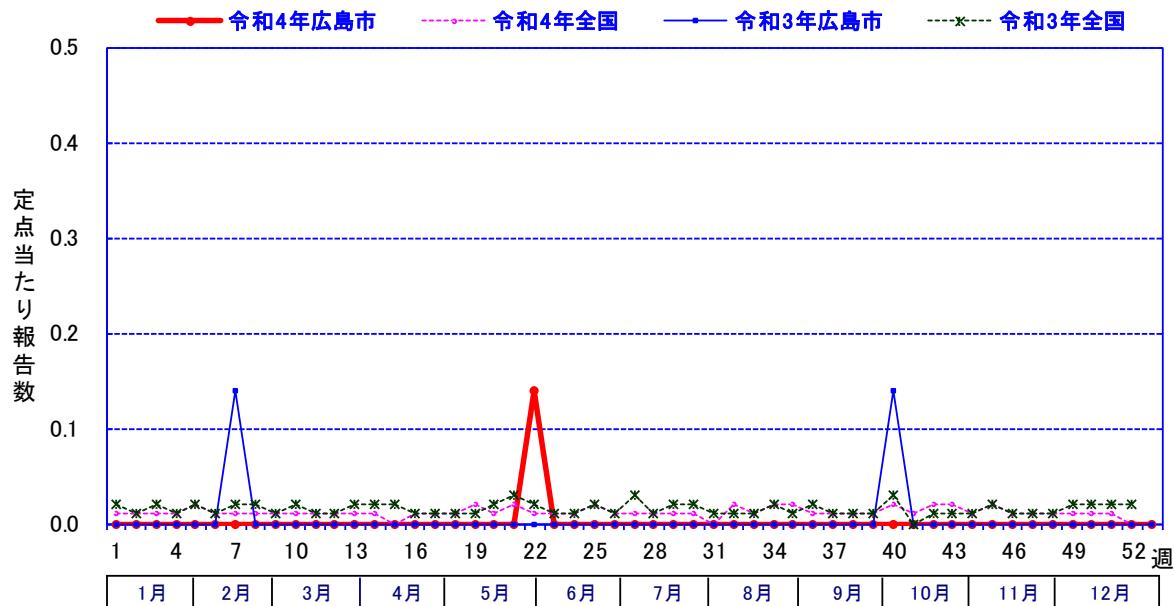


第5節 基幹定点

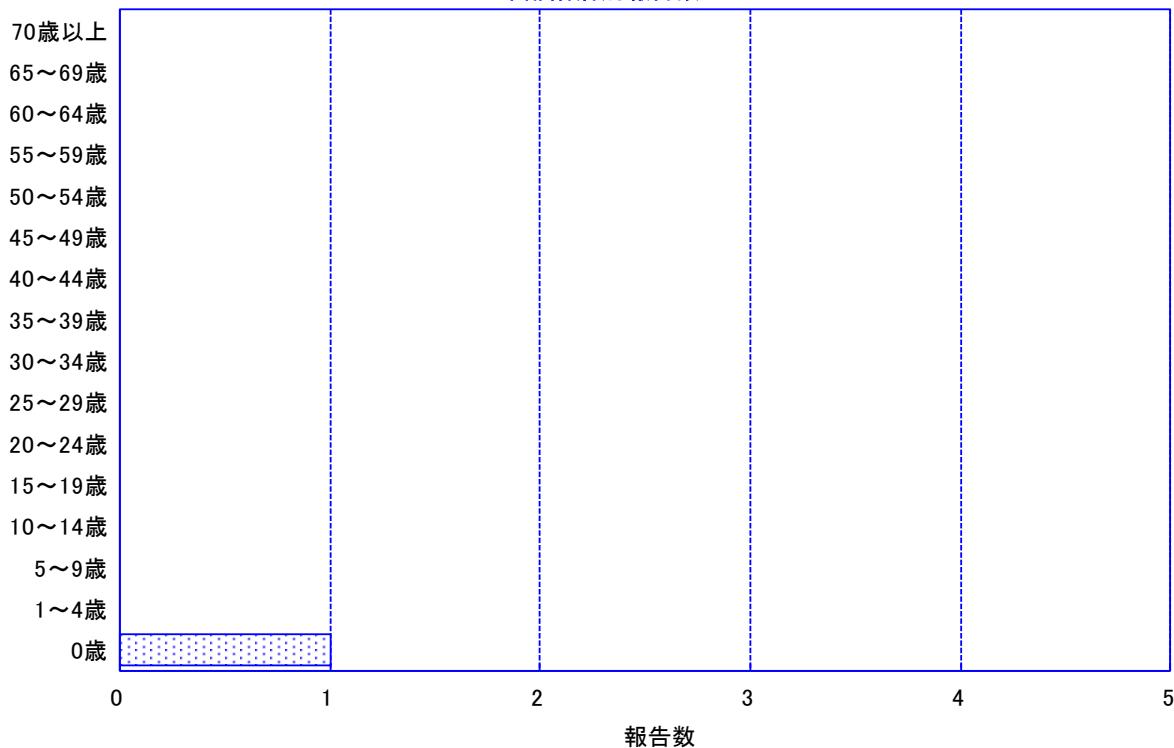
1 細菌性髄膜炎

年間報告数は1人であった。

細菌性髄膜炎の週別定点当たり報告数の推移

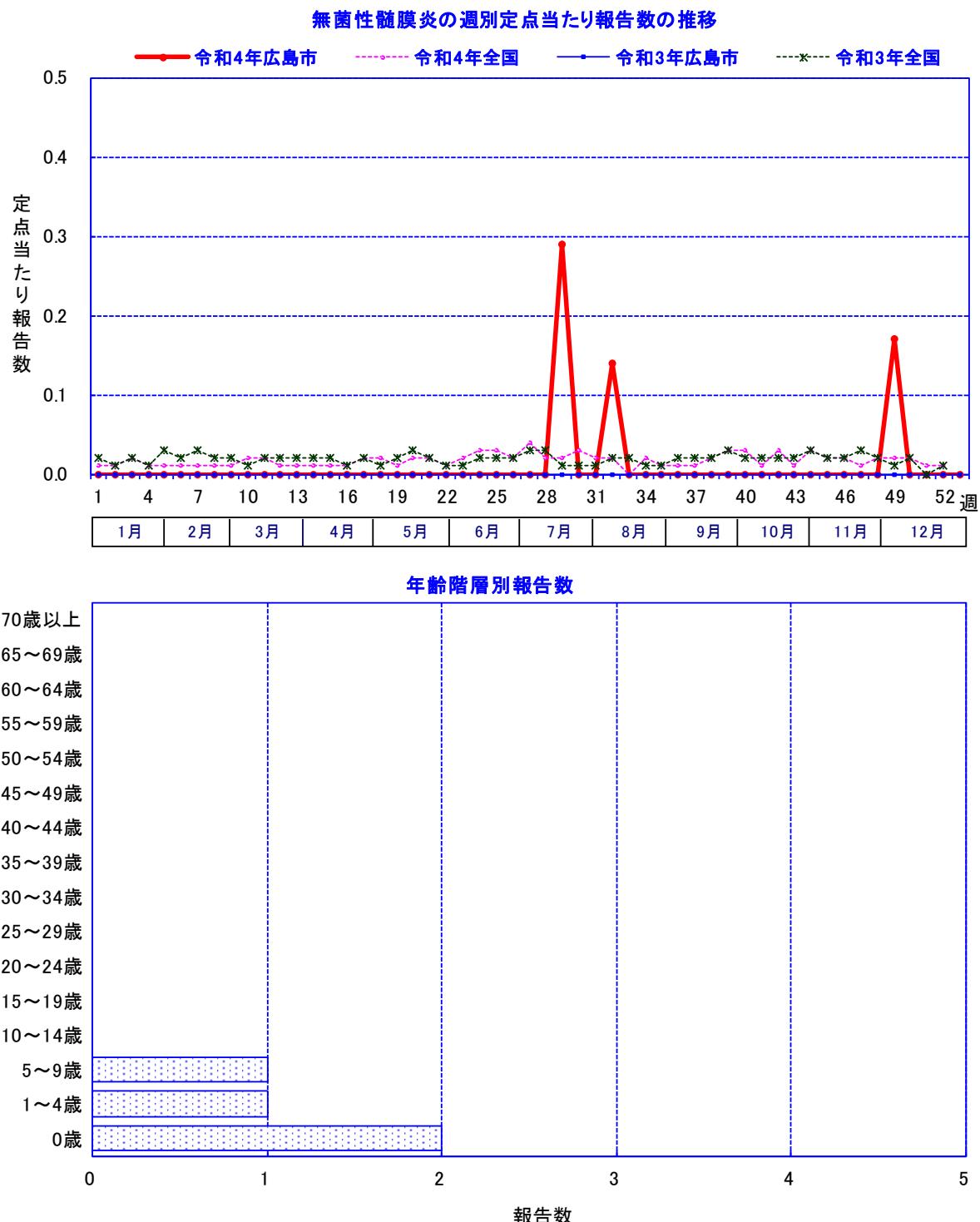


年齢階層別報告数



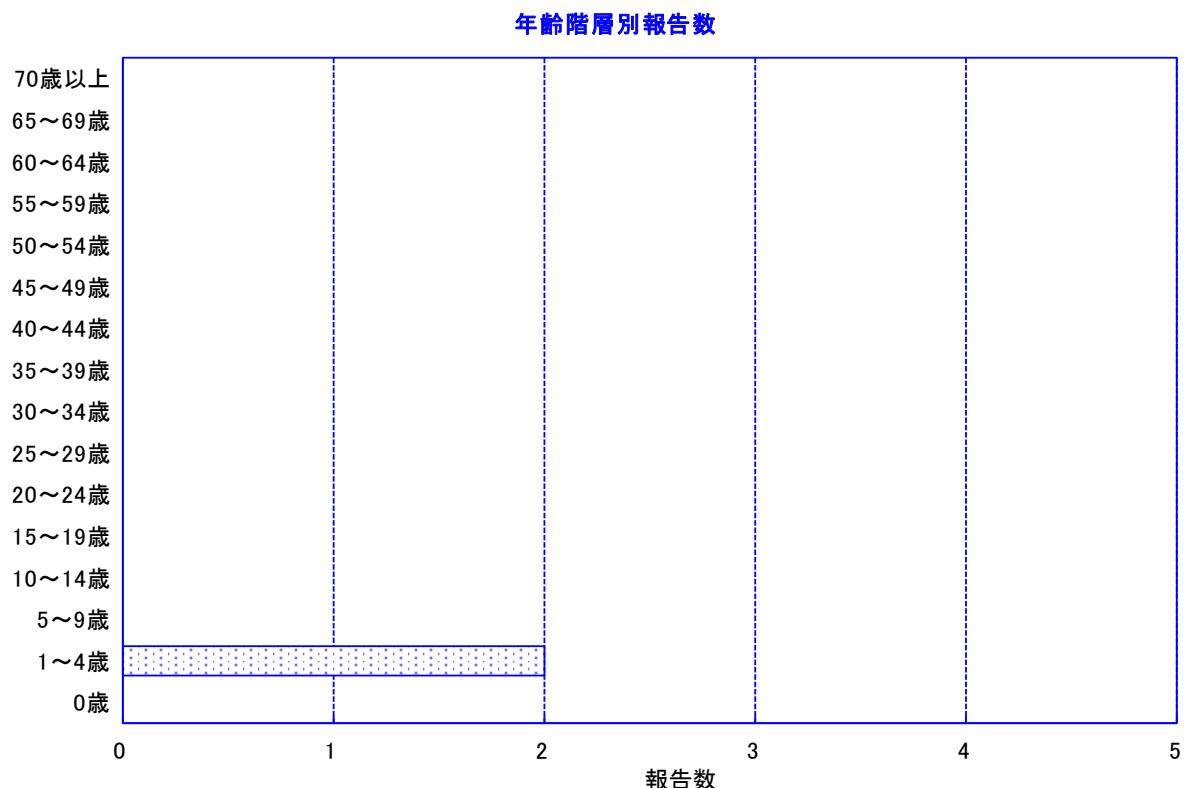
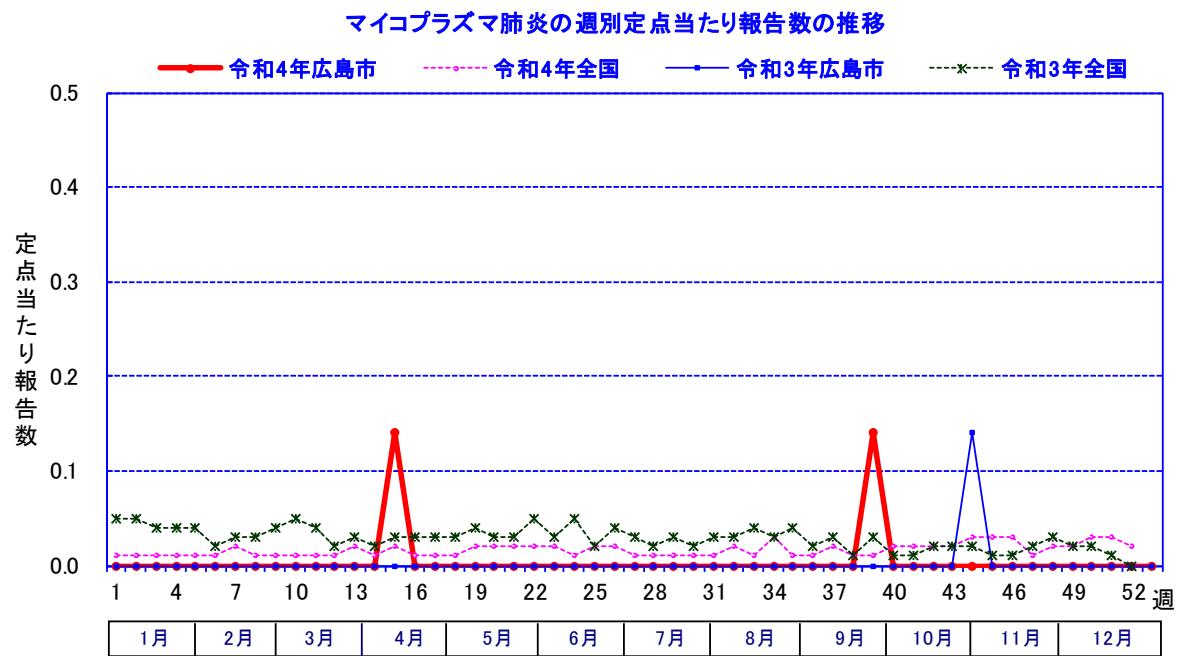
2 無菌性髄膜炎

年間報告数は4人であった。



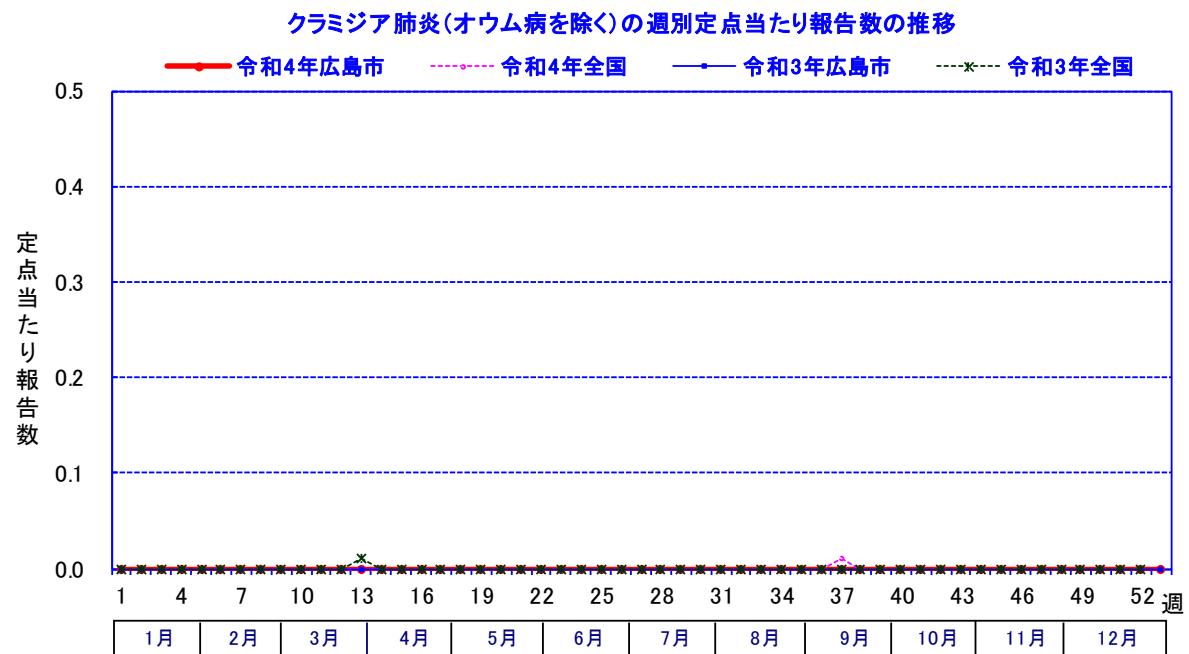
3 マイコプラズマ肺炎

年間報告数は2人であった。



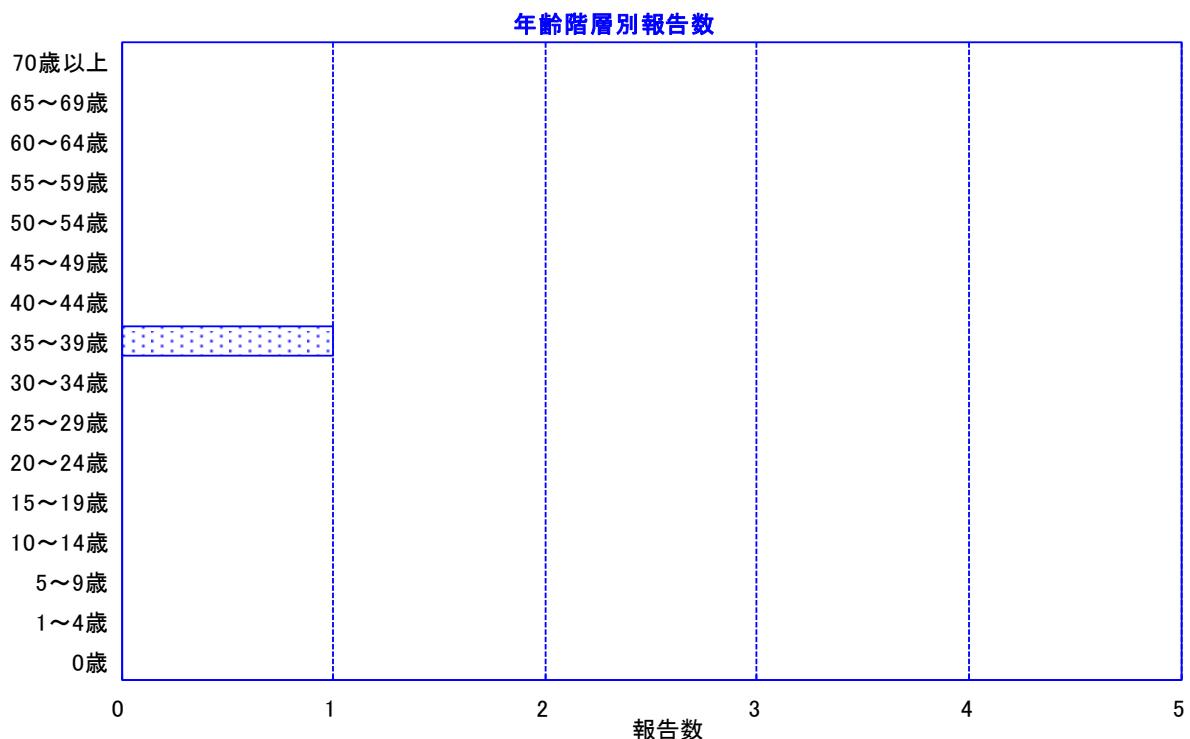
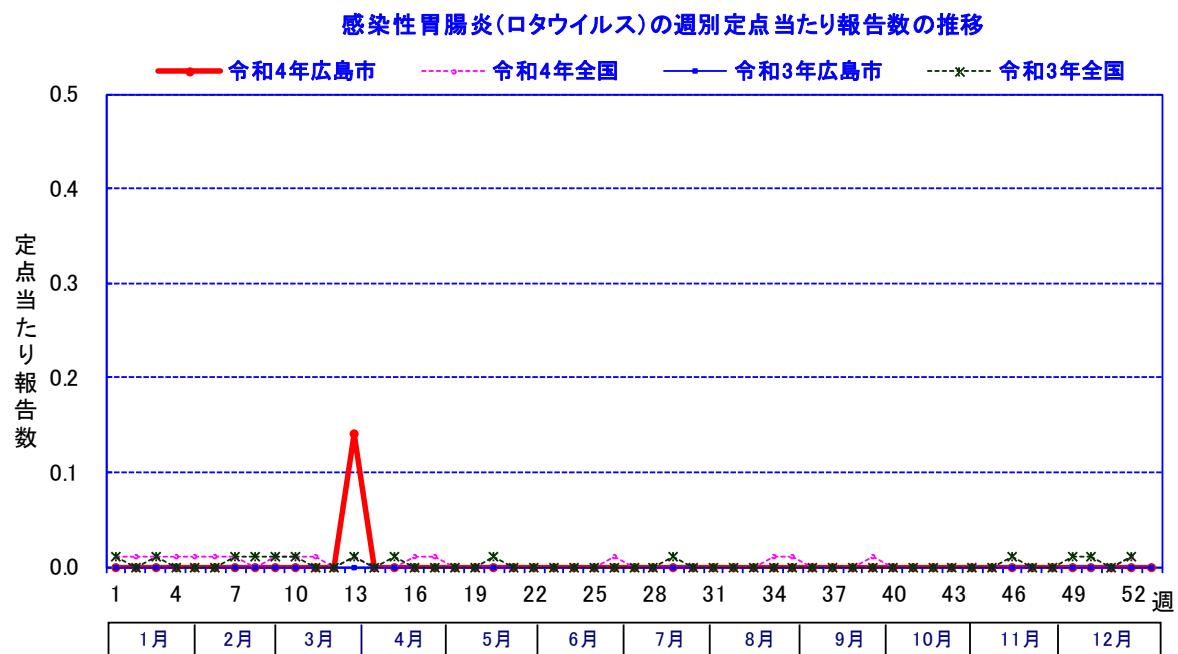
4 クラミジア肺炎（オウム病を除く）

年間を通して報告はなかった。



5 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）

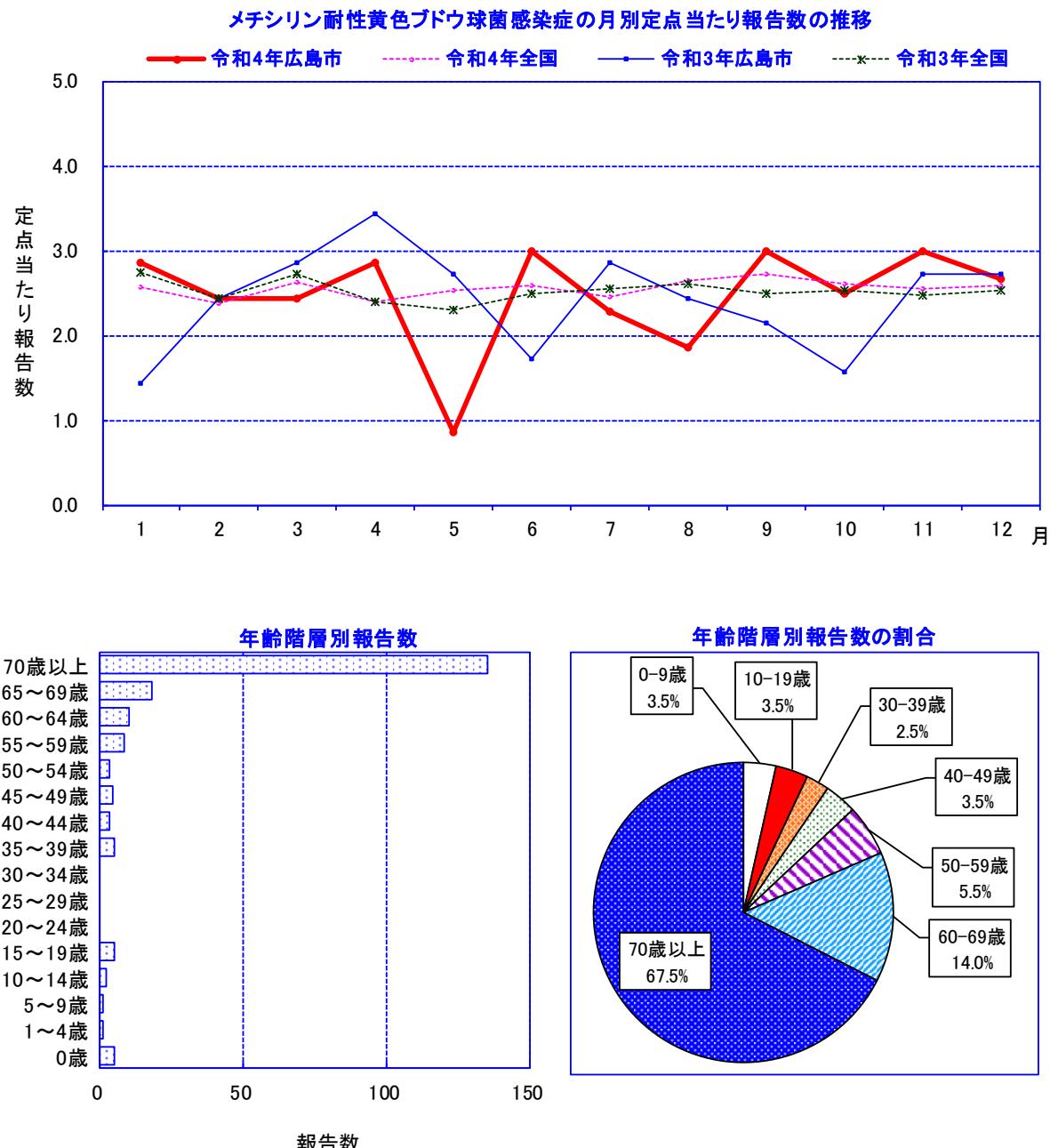
年間報告数は1人であった。



6 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

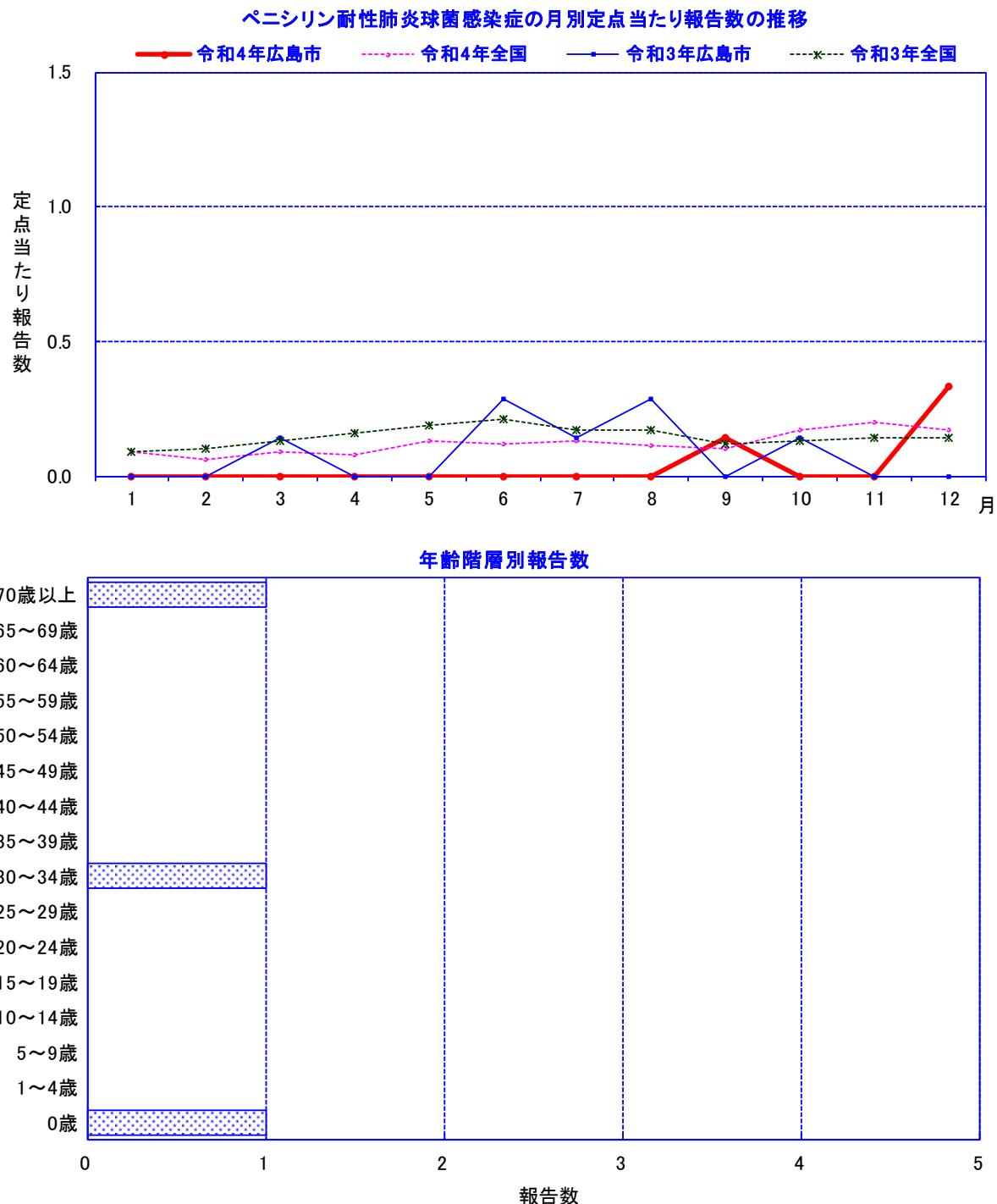
年間定点当たり累積報告数は29.8人で、前年とほぼ同程度であった(前年比1.02)。年間累積報告数は、基幹定点対象疾患の薬剤耐性菌感染症3疾患の中で最も多かつた。

年齢階層別報告数は70歳以上が67.5%を占め、高齢者に多い傾向であった。



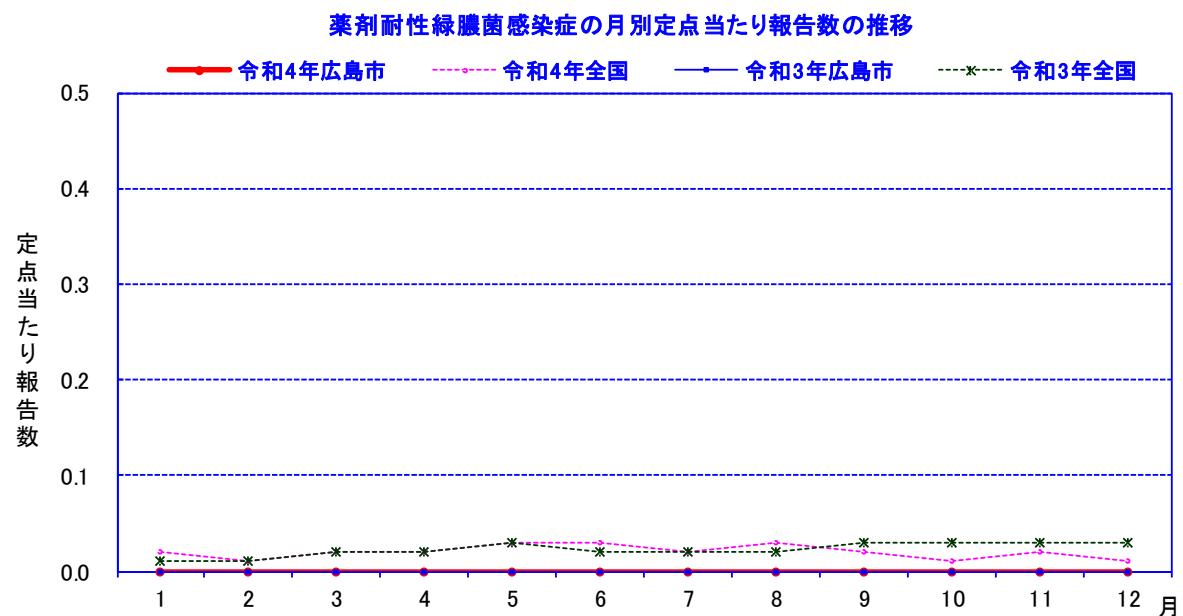
7 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

年間報告数は3人であった。



8 薬剤耐性緑膿菌感染症

年間を通して報告はなかった。



第6節 各感染症の推移（平成23年～令和4年）

平成23年～令和4年における月別定点当たり報告数の推移をグラフに示す。

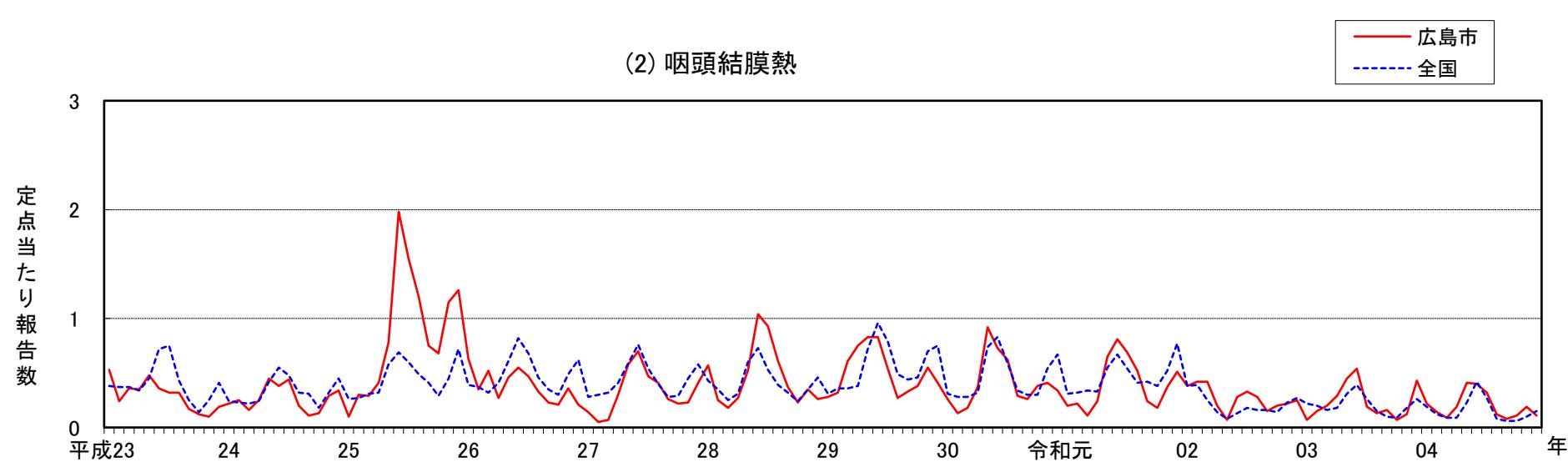
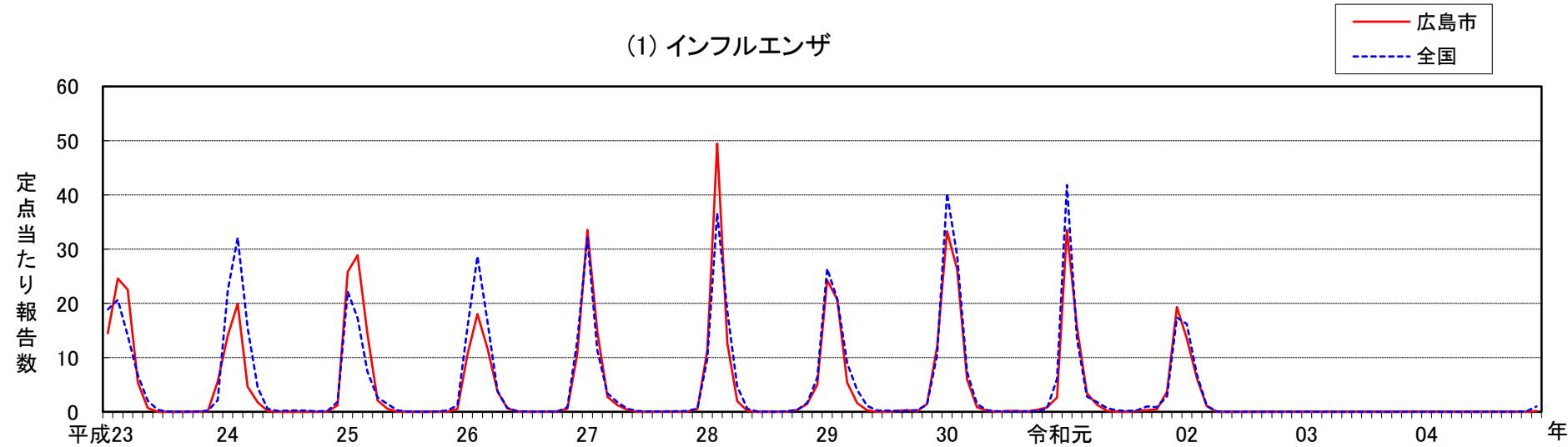
なお、週報対象感染症のグラフは、各週の定点当たり報告数の月平均値の推移を示している。

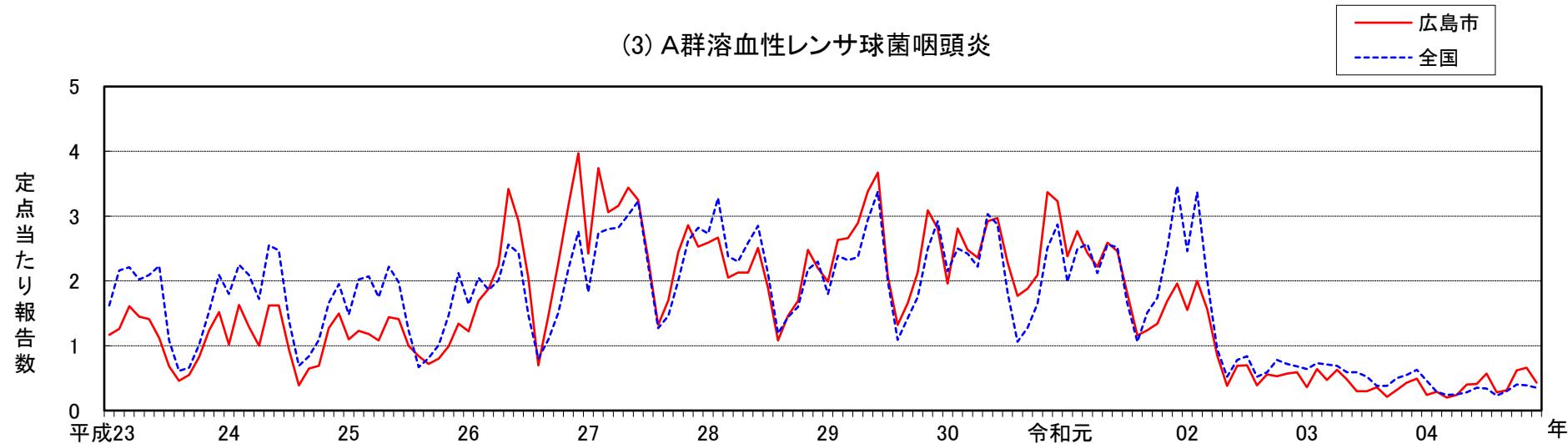
【週報対象感染症】

- (1) インフルエンザ（鳥インフルエンザを除く）
- (2) 咽頭結膜熱
- (3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- (4) 感染性胃腸炎
- (5) 水痘
- (6) 手足口病
- (7) 伝染性紅斑
- (8) 突発性発しん
- (9) ヘルパンギーナ
- (10) 流行性耳下腺炎
- (11) R Sウイルス感染症
- (12) 急性出血性結膜炎
- (13) 流行性角結膜炎
- (14) 細菌性髄膜炎
- (15) 無菌性髄膜炎
- (16) マイコプラズマ肺炎
- (17) クラミジア肺炎（オウム病を除く）
- (18) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）

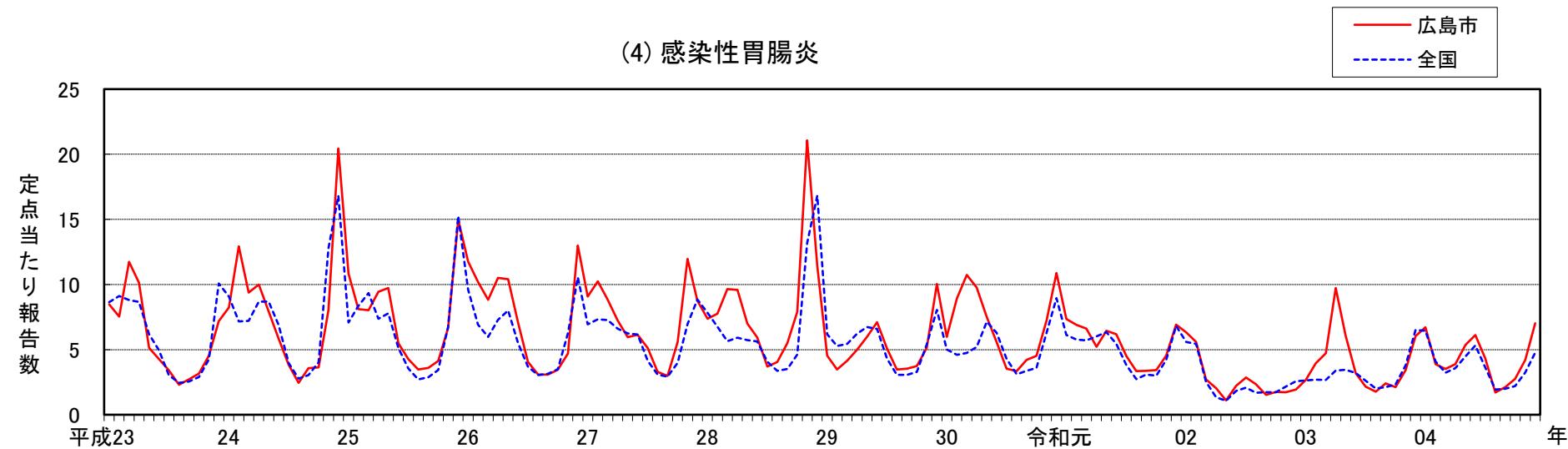
【月報対象感染症】

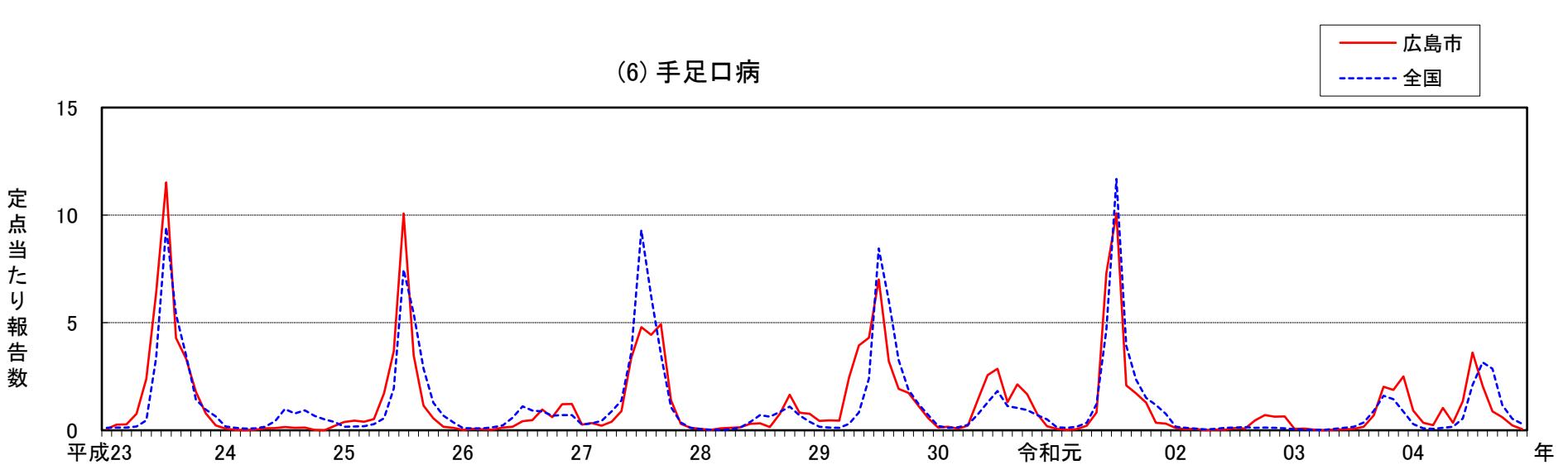
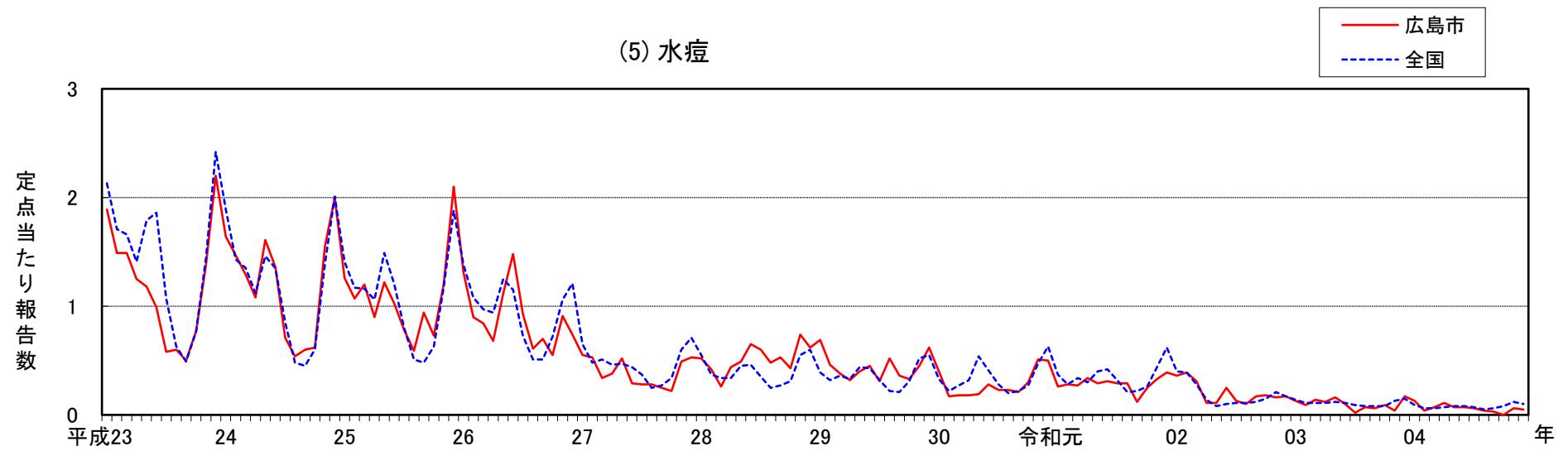
- (19) 性器クラミジア感染症
- (20) 性器ヘルペスウイルス感染症
- (21) 尖圭コンジローマ
- (22) 淋菌感染症
- (23) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症
- (24) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症
- (25) 薬剤耐性緑膿菌感染症

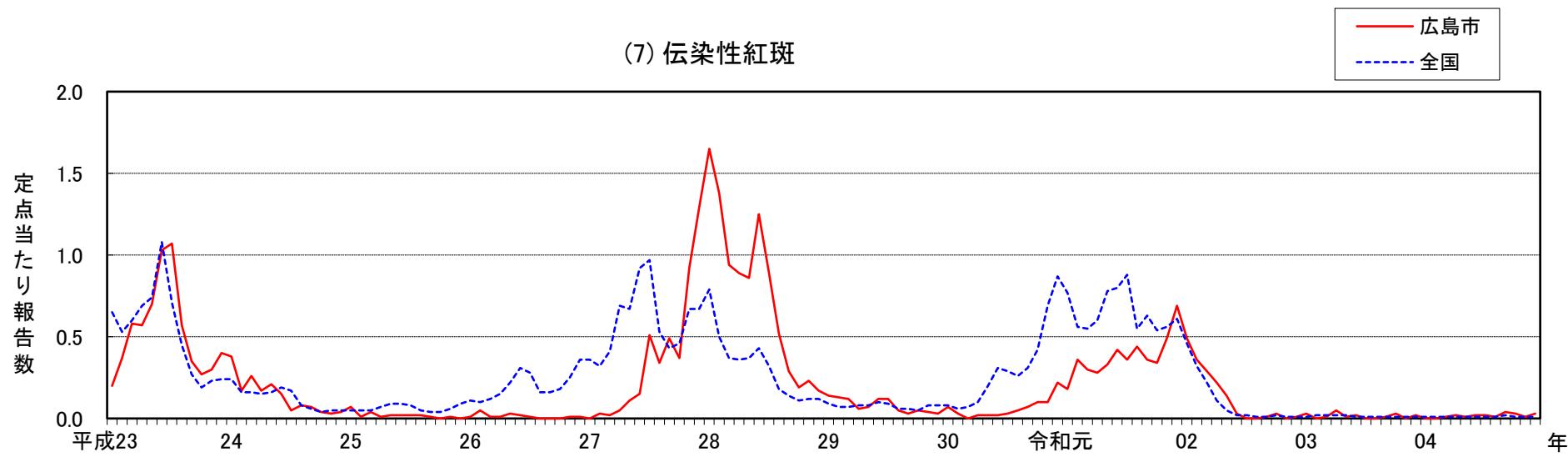




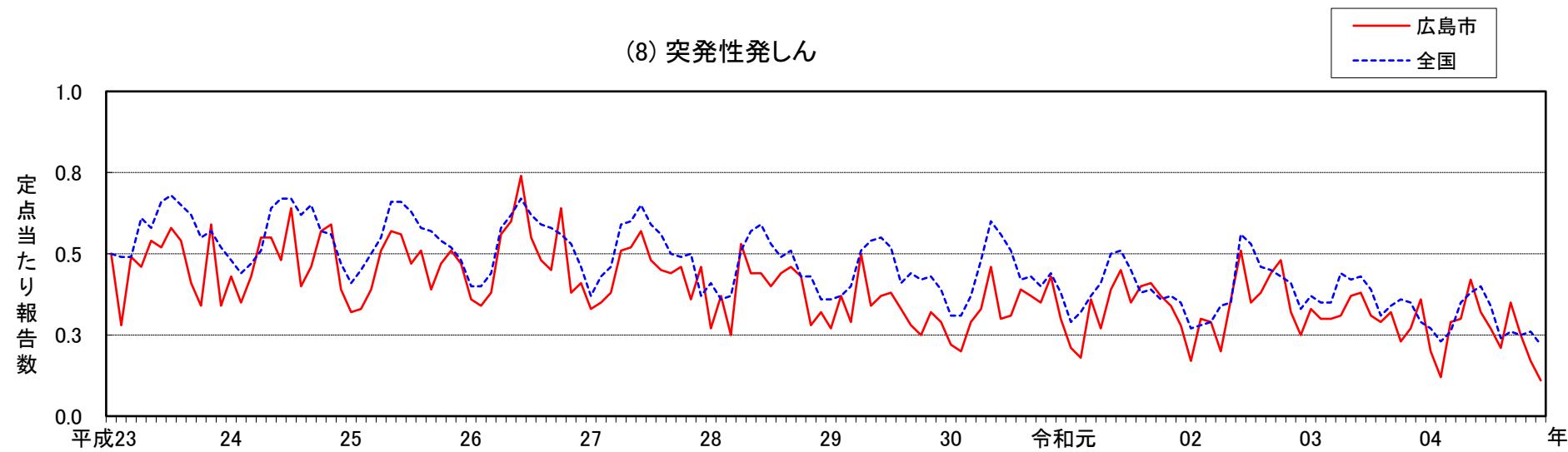
76

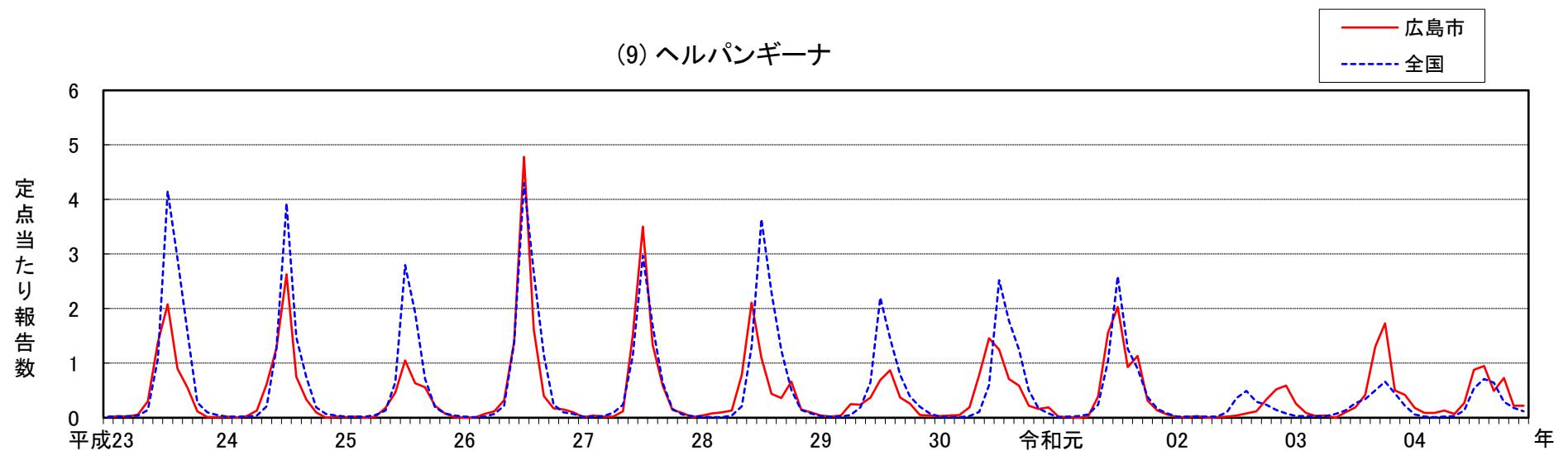




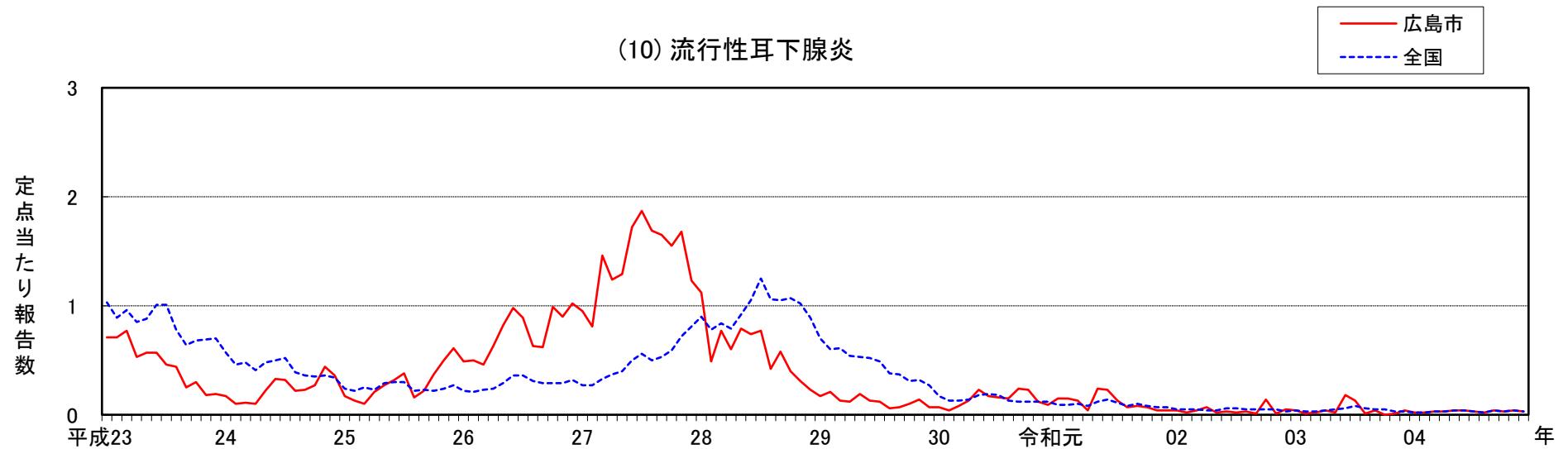


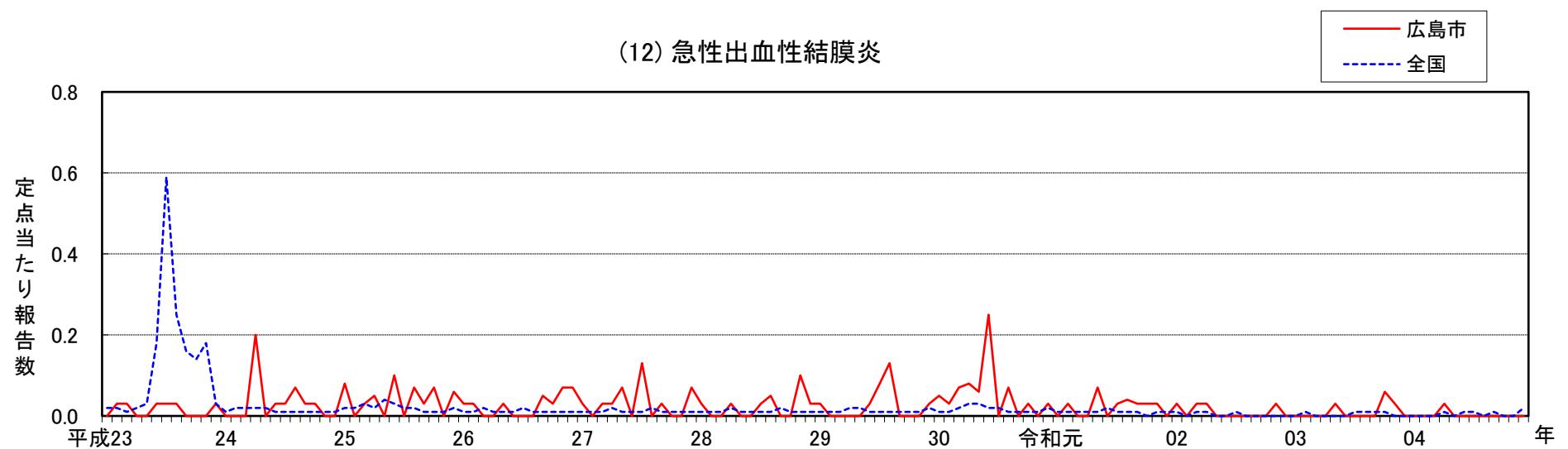
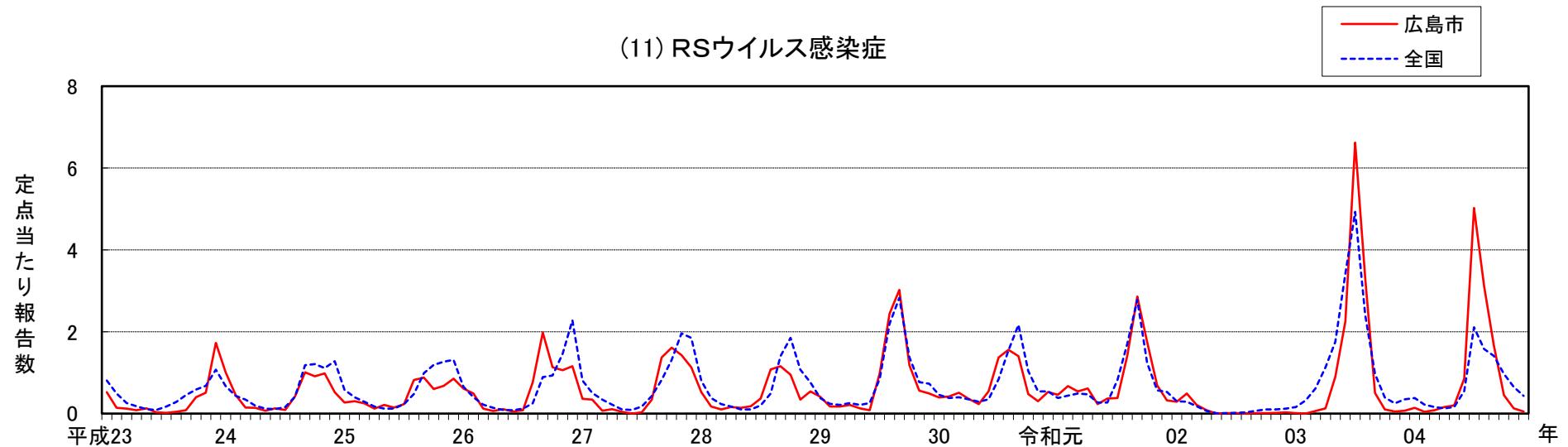
78

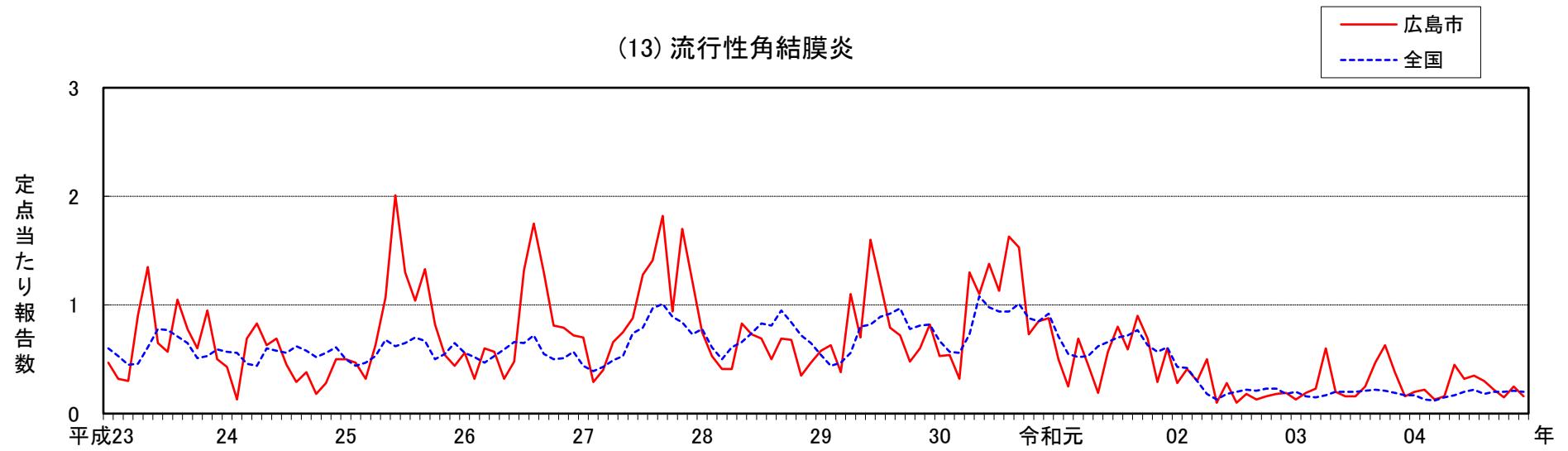




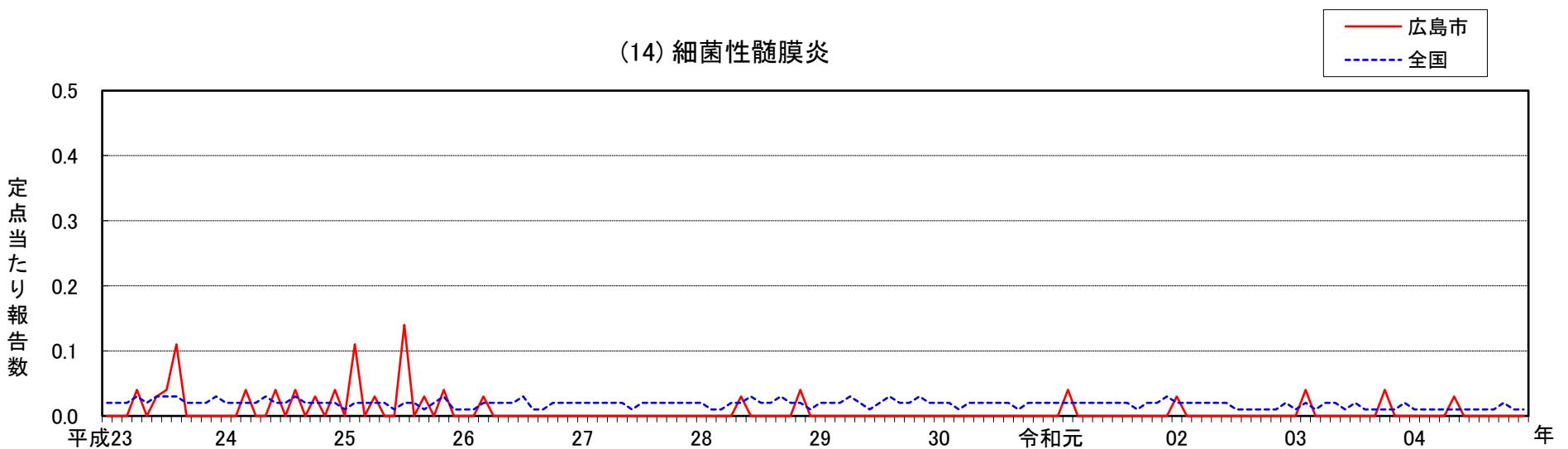
79

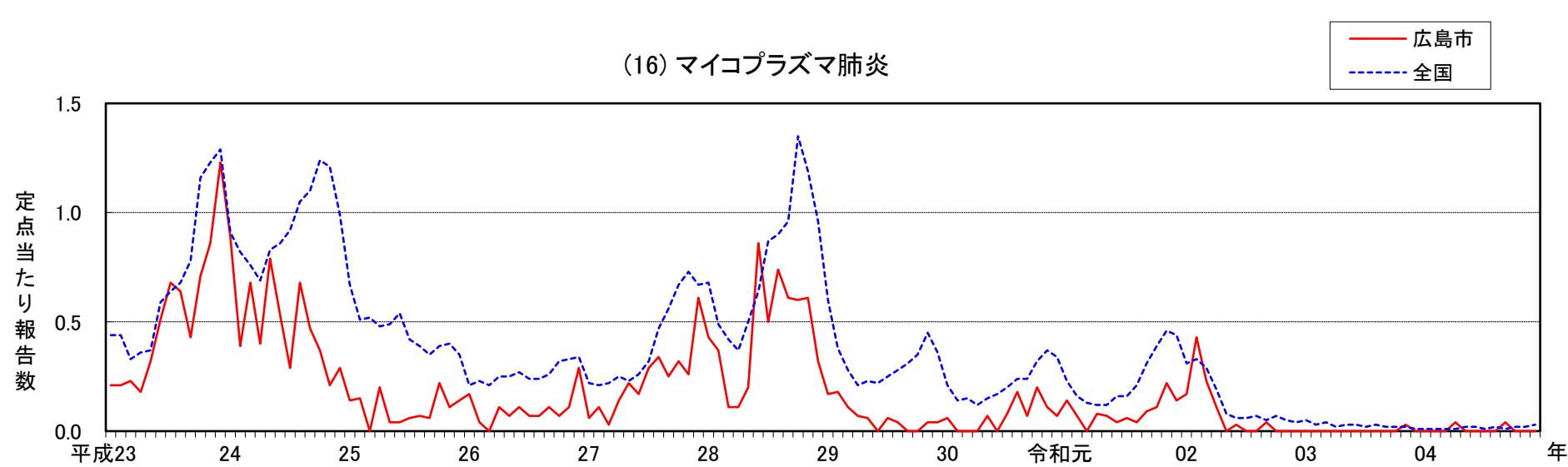
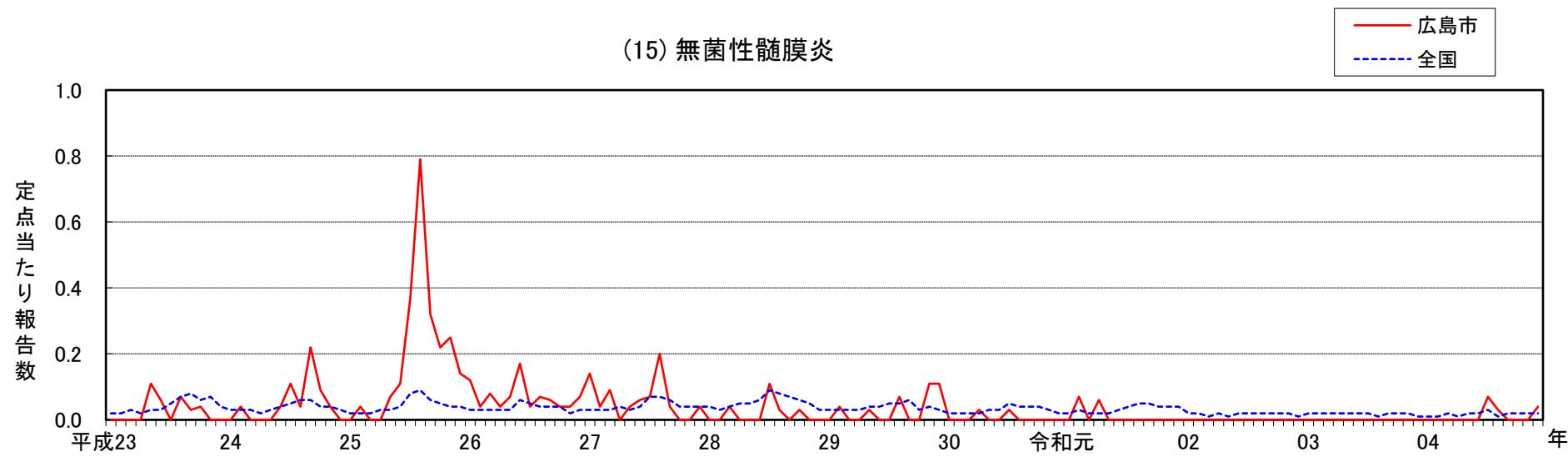


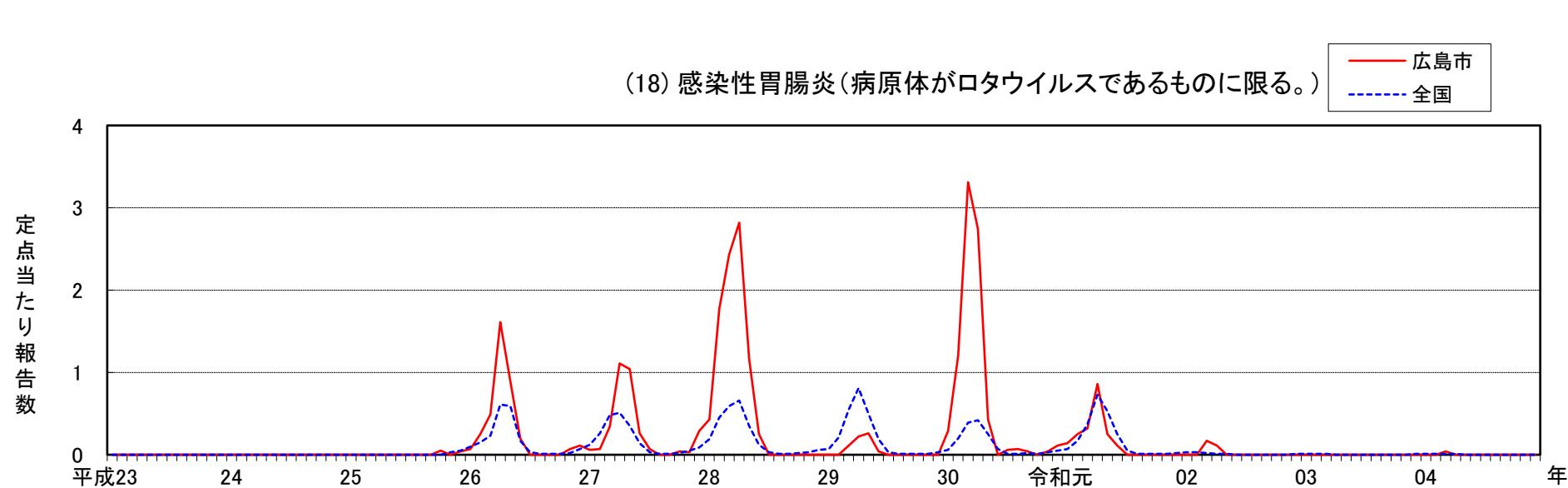
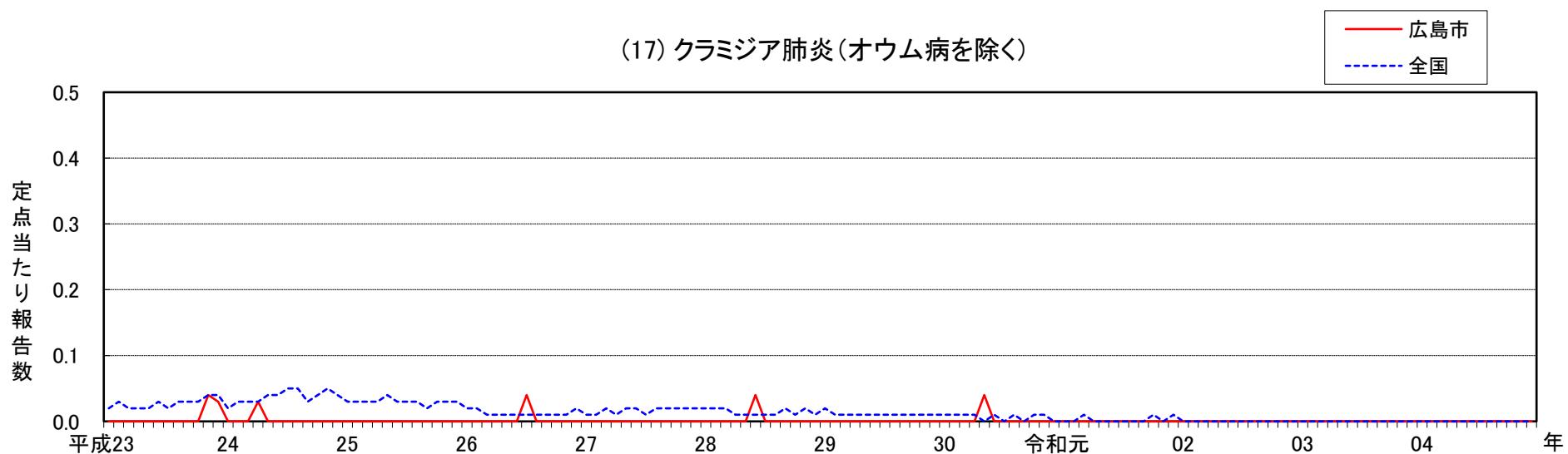


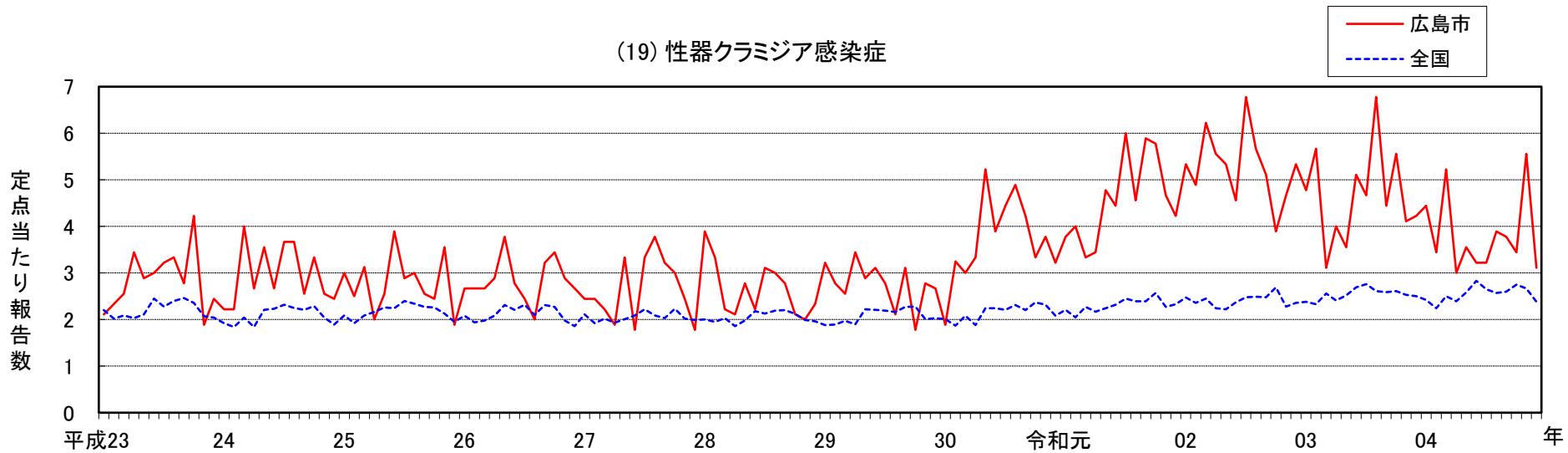


81

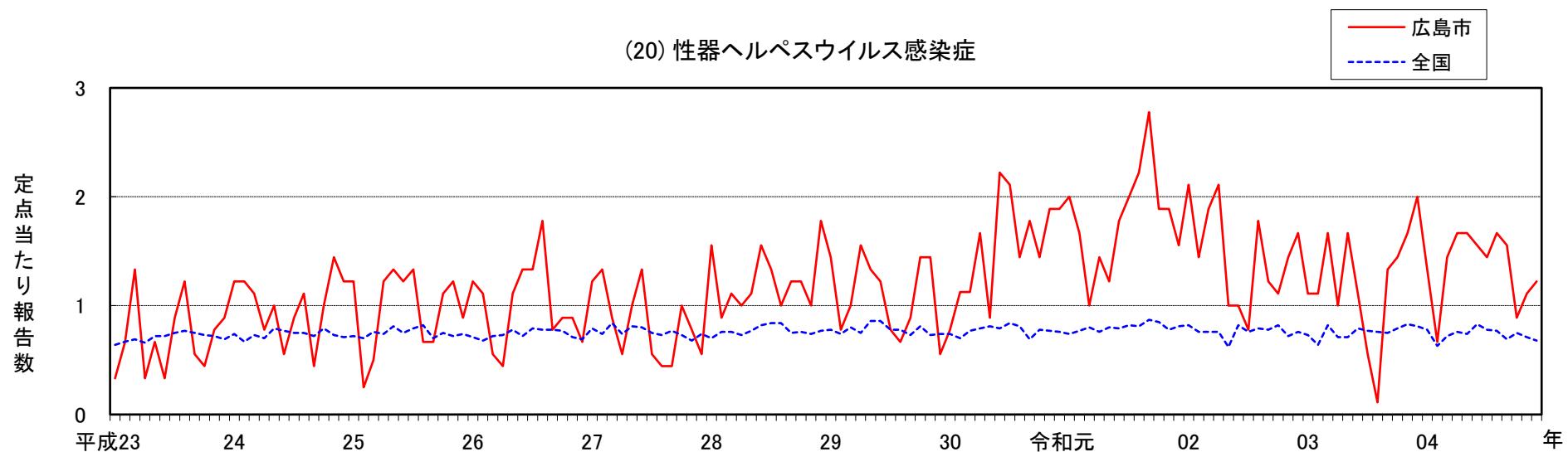


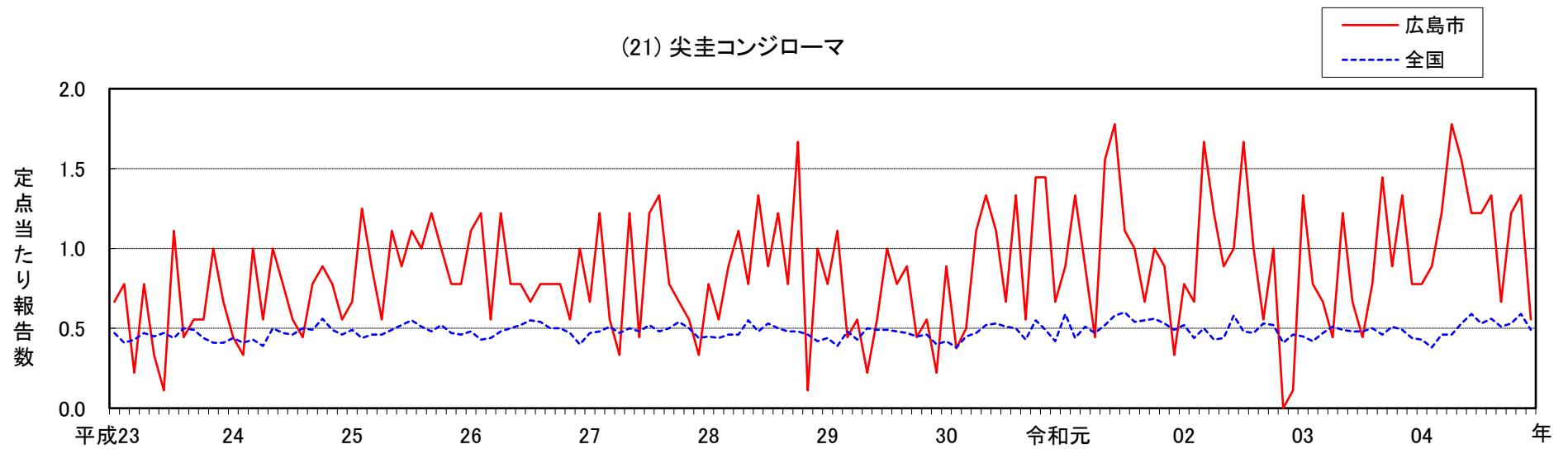




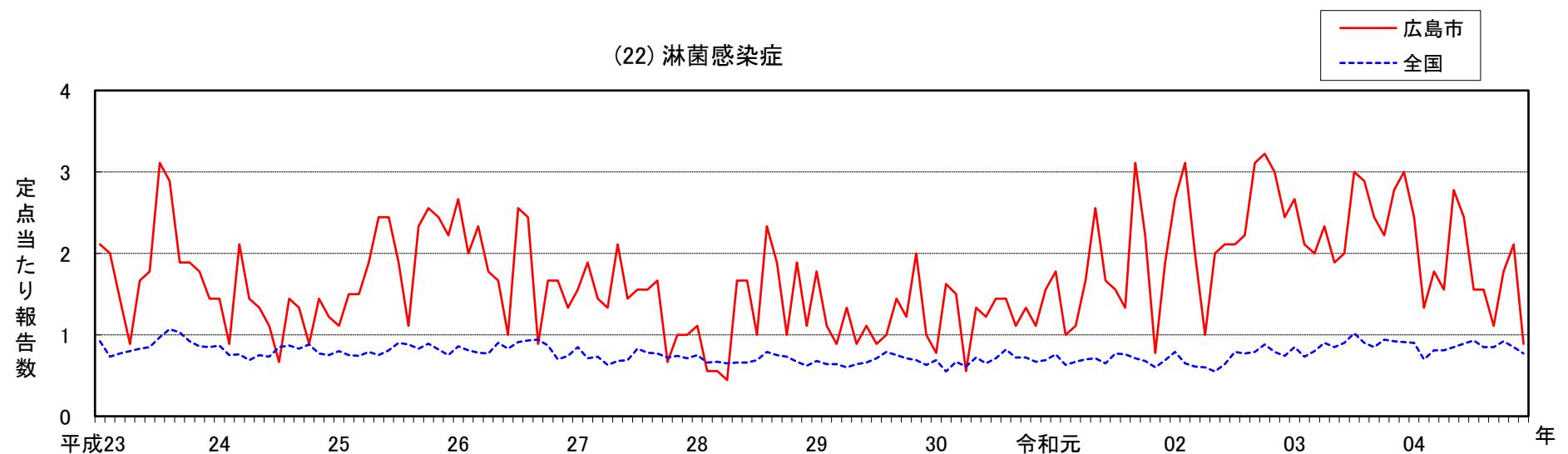


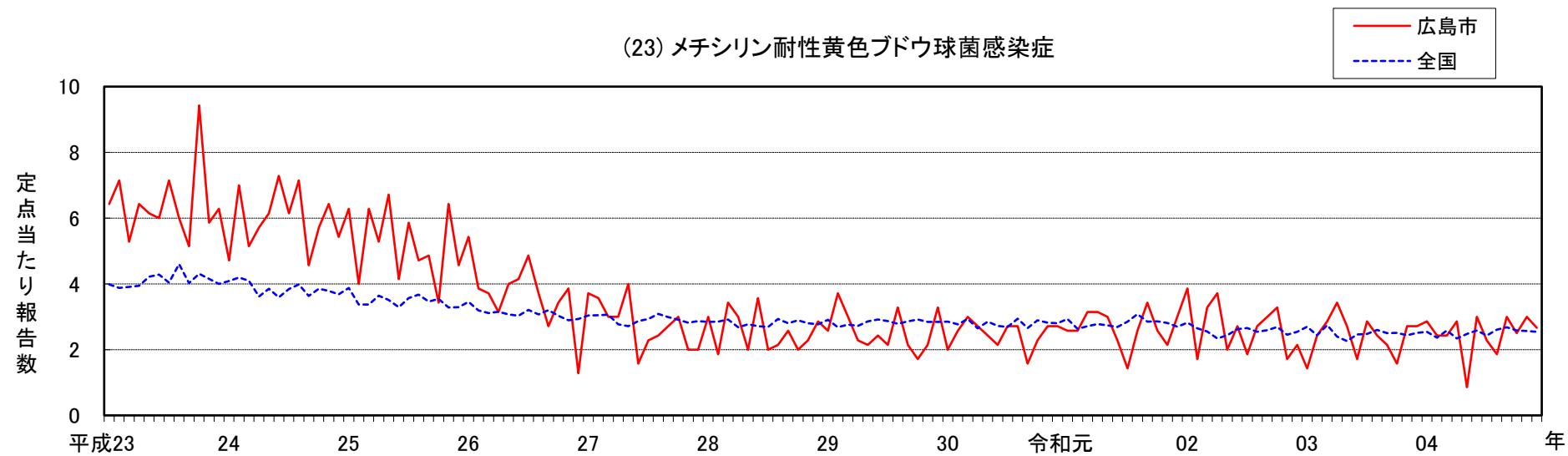
84



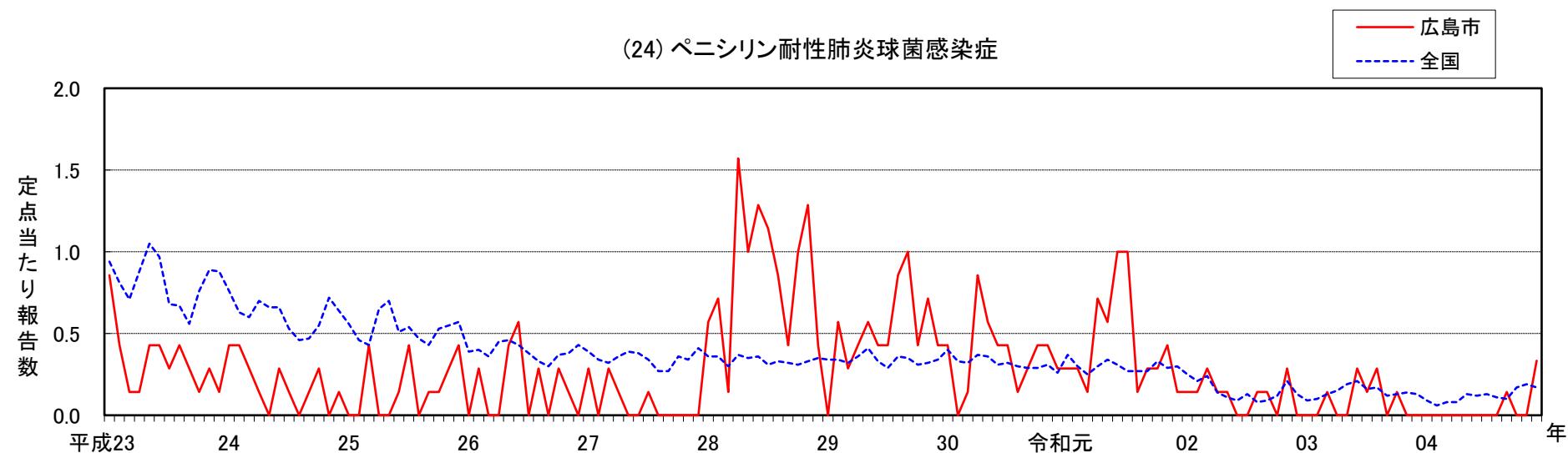


85



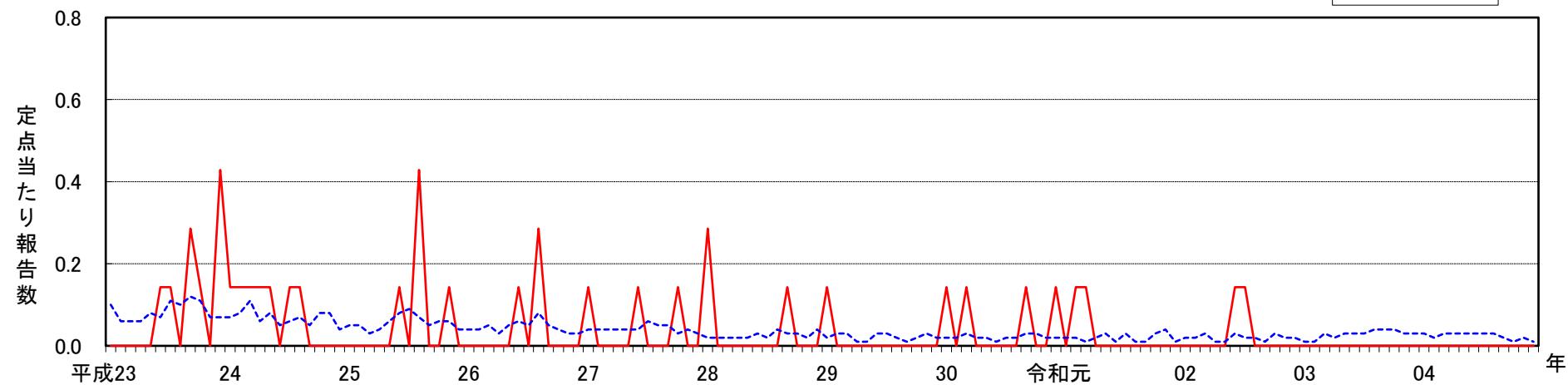


88



(25) 薬剤耐性緑膿菌感染症

—— 広島市
- - - 全国



第4章 検査情報

第1節 検査の概要

市内 15 か所の病原体定点医療機関で検査材料を採取し、衛生研究所において病原体検査を行った。

検査結果は病原体定点医療機関に隨時通知とともに、これらを病原体情報として取りまとめ、広島市感染症情報センターへ報告した。また、これらの病原体情報は国立感染症研究所感染症疫学センターへオンラインにより報告した。

第2節 検査方法及び検体採取状況

1 検査材料

病原体定点医療機関において、患者から咽頭拭い液（鼻汁を含む）、糞便、髄液、結膜拭い液、尿、血液などが採取され、衛生研究所に搬入されたものを検査材料とした。なお、一人の患者から複数の検体が採取され、または複数の病原体が検出されたものがあるため、本文中及び表では、患者数、検体数又は検出ウイルス数で示した。

2 細菌検査

感染性胃腸炎は、赤痢菌、病原性大腸菌、サルモネラ属菌、コレラ菌、腸炎ビブリオ、カンピロバクターについて検査を実施した。

その他、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の検査を実施した。

3 ウィルス検査

培養細胞を用いた細胞培養法によるウイルス分離を行うとともに、細胞培養が困難なウイルスを対象に遺伝子検査法、イムノクロマト法などを併用した。

培養細胞で分離されたウイルスの同定は主に中和試験を行い、同定が困難な株については、遺伝子検査法による同定を行った。

4 臨床診断名別検体採取状況

令和 4 年の月別臨床診断名別検査患者数を表 1 に、臨床診断名別検体別検査数を表 2 に示した。

臨床診断名別患者は病原体定点対象疾患では流行性角結膜炎 49 人（49 検体）、感染性胃腸炎 14 人（18 検体）、手足口病 11 人（13 検体）、無菌性髄膜炎 8 人（12 検体）、ヘルパンギーナ 7 人（7 検体）の順に多く、病原体定点対象疾患以外ではその他の疾患（不明熱等）24 人（43 検体）、その他の消化器疾患 19 人（23 検体）、その他の発疹性疾患 9 人（10 検体）の順に多かった。

検体は 166 人から 211 検体が採取され、咽頭拭い液 77 検体、糞便 51 検体、結膜拭い液 49 検体の順に多かった。

表1 月別臨床診断名別検査患者数

臨床診断名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
インフルエンザ										1		2	3
RSウイルス感染症					1	2	1						4
咽頭結膜熱							1						1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1								1			2
感染性胃腸炎	3					3		1	2	1	2	2	14
手足口病		1	2	1		3	2	1	1				11
突発性発しん									1				1
ヘルパンギーナ	1				1	1	1	1	1	1			7
流行性角結膜炎	1	2	6	4	6	4	7	4	6	2	3	4	49
細菌性髄膜炎						1							1
無菌性髄膜炎		2	1				3	1			1		8
その他の呼吸器疾患			1			2	1			1			5
その他の消化器疾患		2		5	1	2	3	1		1	2	2	19
その他の神経系疾患		1	1			1	3	1					7
その他の発疹性疾患	2	2				1			1			3	9
その他の循環器疾患							1						1
その他の疾患	6			2	2	6	6	1		1			24
計	13	11	11	12	11	26	29	11	12	9	8	13	166

表2 臨床診断名別検体別検査数

臨床診断名	検体名	咽頭拭い液	髄液	糞便	尿	結膜拭い液	その他	計
インフルエンザ		3						3
RSウイルス感染症		3	1					4
咽頭結膜熱		1		1				2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2						2
感染性胃腸炎		2	1	14	1			18
手足口病		10	1	1	1			13
突発性発しん		1						1
ヘルパンギーナ		7						7
流行性角結膜炎						49		49
細菌性髄膜炎			1					1
無菌性髄膜炎		3	7	2				12
その他の呼吸器疾患		4	1					5
その他の消化器疾患		3		19	1			23
その他の神経系疾患		5	3	5	1			14
その他の発疹性疾患		9		1				10
その他の循環器疾患		1	1	1	1			4
その他の疾患		23	8	7	5			43
検査検体数		77	24	51	10	49	0	211

第3節 病原体検出状況

1 月別病原体検出状況

月別病原体検出数を表3に示した。令和4年は、27種類80株のウイルス、2種類2株の細菌が検出された。

ウイルス別の検出状況は、パレコウイルス3型15株、コクサッキーウイルスA6型9株、ライノウイルス7株の順に多かった。

パレコウイルス3型は、全国では7月をピークに5月から12月にかけて検出されており、広島市でも7月をピークに5月から8月にかけて検出された。

表3 月別病原体検出数

病原体名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
エンテロウイルス未型別			1					2					3
コクサッキーウイルスA6型			1	1			2	2	1	2			9
コクサッキーウイルスA9型									1				1
パレコウイルス3型					1	4	8	2					15
ライノウイルス						1	3			1		2	7
インフルエンザウイルスA(H3)型												1	1
パラインフルエンザウイルス1型						1	1			1			3
パラインフルエンザウイルス3型											1		1
RSウイルス	1				1	2	1		1				6
ムンブスウイルス		1											1
サポウイルス	1				1								2
ノロウイルスG II	1											2	3
アデノウイルス1型											1		1
アデノウイルス2型	1				2	1						1	5
アデノウイルス4型								2					2
アデノウイルス5型											1		1
アデノウイルス31型					1					1			2
アデノウイルス37型		1									1		2
アデノウイルス41型								1			1		2
アデノウイルス53型										1			1
アデノウイルス56型				1					1				2
ヒトボカウイルス						1	1						2
単純ヘルペスウイルス1型										1			1
サイトメガロウイルス	1								1				2
EBウイルス	1		1										2
ヒトヘルペスウイルス6型	1									1			2
ヒトヘルペスウイルス7型							1						1
A群溶血性レンサ球菌										1			1
<i>Campylobacter jejuni</i>		1											1
計	7	4	2	4	4	12	16	7	6	6	3	8	79
検査検体数	15	14	14	16	11	38	48	12	12	9	9	13	211

2 臨床診断名別病原体検出状況

臨床診断名別病原体検出数を表4に示した。臨床診断名別の病原体検出数は、病原体定点対象疾患では感染性胃腸炎、手足口病が多かった。

(1) インフルエンザ

3人の患者の検体を検査し、4株のウイルスが検出された。その内訳は、ライノウイルス、インフルエンザウイルスA(H3)型、パラインフルエンザウイルス1型、同3型が各1株であった。

(2) RSウイルス感染症

4人の患者の検体を検査し、RSウイルス3株が検出された。

(3) 咽頭結膜熱

1人の患者の検体を検査し、パレコウイルス3型1株が検出された。

(4) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2人の患者の検体を検査し、A群溶血性レンサ球菌1株が検出された。

(5) 感染性胃腸炎

14人の患者の検体を検査し、8株のウイルスが検出された。その内訳は、ノロウイルスGII3株、アデノウイルス41型2株、サポウイルス、アデノウイルス31型、ヒトヘルペスウイルス7型各1株であった。

(6) 手足口病

11人の患者の検体を検査し、8株のウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウィルスA6型7株、エンテロウイルス(未型別)1株であった。

(7) 突発性発しん

1人の患者の検体を検査し、2株のウイルスが検出された。その内訳は、RSウイルス、ヒトヘルペスウイルス6型各1株であった。

(8) ヘルパンギーナ

7人の患者の検体を検査し、7株のウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウィルスA6型、パレコウイルス3型各2株、エンテロウイルス(未型別)、アデノウイルス2型、単純ヘルペスウイルス1型各1株であった。

(9) 流行性角結膜炎

49人の患者の検体を検査し、7株のウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス4型、同37型、同56型2株、アデノウイルス53型1株であった。

(10) 無菌性髄膜炎

8人の患者の検体を検査し、3株のウイルスが検出された。その内訳は、パレコウイルス3型が2株、ムンプスウイルスが1株であった。

(11) その他の呼吸器疾患

5人の患者の検体を検査し、4株のウイルスが検出された。その内訳は、パラインフルエンザウイルス1型2株、ライノウイルス、ヒトボカウイルス各1株であった。

(12) その他の消化器疾患

19人の患者の検体を検査し、8株のウイルス及び1株の細菌が検出された。その内訳は、アデノウイルス2型3株、パレコウイルス3型、サポウイルス、アデノウイルス1型、同5型、同31型各1株、*Campylobacter jejuni* 1株であった。

(13) その他の神経系疾患

7人の患者の検体を検査し、3株のウイルスが検出された。その内訳は、パレコウイルス3型、ヒトボカウイルス、EBウイルス各1株であった。

(14) その他の発疹性疾患

9人の患者の検体を検査し、6株のウイルスが検出された。その内訳は、サイト

メガロウイルス 2 株、コクサッキーウィルス A9 型、ライノウイルス、EB ウィルス、ヒトヘルペスウィルス 6 型各 1 株であった。

(15) その他の循環器疾患

1 人の患者の検体を検査し、2 株のウィルスが検出された。その内訳は、パレコウイルス 3 型、RS ウィルス各 1 株であった。

(16) その他の疾患

24 人の患者の検体を検査し、9 株のウィルスが検出された。その内訳は、ライノウイルス 4 株、パレコウイルス 3 型 2 株、エンテロウイルス未型別、RS ウィルス、アデノウイルス 2 型各 1 株であった。

表4 臨床診断名別病原体検出数

病原体名	臨床診断名										計							
	インフルエンザ	R Sウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	手足口病	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	その他の呼吸器疾患	その他の消化器疾患	その他の神経系疾患	その他の発疹性疾患	その他の循環器疾患	その他の疾患	
エンテロウイルス未型別							1		1								1	3
コクサッキーウィルスA6型						7		2										9
コクサッキーウィルスA9型															1			1
パレコウイルス3型			1					2			2		1	1	1	1	2	10
ライノウイルス	1											1		1	1	4		7
インフルエンザウイルスA(H3)型	1																	1
パラインフルエンザウイルス1型	1										2							3
パラインフルエンザウイルス3型	1																	1
RSウイルス		3					1									1	1	6
ムンブスウイルス											1							1
サボウイルス					1							1						2
ノロウイルスG II					3													3
アデノウイルス1型												1						1
アデノウイルス2型								1				3				1		5
アデノウイルス4型									2									2
アデノウイルス5型												1						1
アデノウイルス31型					1							1						2
アデノウイルス37型									2									2
アデノウイルス41型					2													2
アデノウイルス53型									1									1
アデノウイルス56型									2									2
ヒトボカウイルス												1		1				2
単純ヘルペスウイルス1型								1										1
サイトメガロウイルス														2				2
EBウイルス													1	1				2
ヒトヘルペスウイルス6型							1							1				2
ヒトヘルペスウイルス7型					1													1
A群溶血性レンサ球菌				1														1
<i>Campylobacter jejuni</i>												1						1
計	4	3	1	1	8	8	2	7	7	0	3	4	9	3	6	2	9	77
検査患者数	3	4	1	2	14	11	1	7	49	1	8	5	19	7	9	1	24	166

3 年齢別病原体別患者状況

年齢別病原体別患者数を表 5 に示した。年齢別検査数は 0 歳 23 人、1 歳 31 人、2 歳 18 人、3 歳 12 人、4 歳 8 人、5 歳 6 人、6 歳 1 人と低年齢層の患者が多く、6 歳以下が約 60% を占めた。

0~3 歳児からのパレコウイルス 3 型、コクサッキーウイルス A6 型、ライノウイルス、RS ウィルス、アデノウイルス 2 型の検出が多かった。

4 検体別病原体検出状況

検体別病原体検出数を表 6 に示した。

咽頭拭い液は 77 検体を検査し、49 株のウイルス、1 株の細菌が検出された。最も多く検出されたのはコクサッキーウイルス A6 型 9 株、次いでライノウイルス 7 株であった。

糞便は 51 検体を検査し、22 株のウイルス、1 株の細菌が検出された。最も多く検出されたのはパレコウイルス 3 型 8 株、次いでノロウイルス GII、アデノウイルス 2 型各 3 株であった。

結膜拭い液は 49 検体を検査し、7 株のウイルスが検出された。最も多く検出されたのはアデノウイルス 4 型、同 37 型、同 56 型各 2 株、次いでアデノウイルス 53 型 1 株であった。

表5 年齢別病原体別患者数

病原体名	年齢																		不 明	計				
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16 19歳	20 29歳	30 39歳	40 49歳	50歳以上			
エンテロウイルス未型別	1	1		1																	3			
コクサッキーウィルスA6型	1	3	3	1													1				9			
コクサッキーウィルスA9型		1																			1			
パレコウイルス3型	6	2	1																1		10			
ライノウイルス	3	1	1	1		1															7			
インフルエンザウイルスA(H3)型						1															1			
パラインフルエンザウイルス1型					1	2															3			
パラインフルエンザウイルス3型																		1			1			
RSウイルス	1	2	2	1																	6			
ムンプスウイルス		1																			1			
サボウイルス		1		1																	2			
ノロウイルスG II		1			1	1															3			
アデノウイルス1型			1																		1			
アデノウイルス2型		3	1	1																	5			
アデノウイルス4型																			2		2			
アデノウイルス5型			1																		1			
アデノウイルス31型				1	1																2			
アデノウイルス37型																		2			2			
アデノウイルス41型		1	1																		2			
アデノウイルス53型																		1			1			
アデノウイルス56型																			1	1	2			
ヒトボカウイルス		1																			1			
単純ヘルペスウイルス1型																	1				1			
サイトメガロウイルス		2																			2			
EBウイルス							1										1				2			
ヒトヘルペスウイルス6型		2																			2			
ヒトヘルペスウイルス7型																	1				1			
A群溶血性レンサ球菌				1																	1			
<i>Campylobacter jejuni</i>						1															1			
計	12	22	11	9	4	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	3	1	4	0	2	77
陽性患者数	11	17	11	9	4	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	3	1	4	0	2	70
検査患者数	23	31	18	12	8	6	1	3	3	0	2	1	2	1	3	1	2	10	6	10	18	5	166	

表6 検体別病原体検出数

病原体名	検体名	咽頭拭い液	膣液	糞便	尿	結膜拭い液	その他	計
エンテロウイルス未型別		3						3
コクサッキーウィルスA6型		9						9
コクサッキーウィルスA9型		1						1
パレコウイルス3型		6	1	8				15
ライノウイルス		7						7
インフルエンザウイルスA(H3)型		1						1
パラインフルエンザウイルス1型		3						3
パラインフルエンザウイルス3型		1						1
RSウイルス		6						6
ムンプスウイルス			1					1
サボウイルス				2				2
ノロウイルスG II				3				3
アデノウイルス1型				1				1
アデノウイルス2型		2		3				5
アデノウイルス4型						2		2
アデノウイルス5型				1				1
アデノウイルス31型				2				2
アデノウイルス37型						2		2
アデノウイルス41型				2				2
アデノウイルス53型						1		1
アデノウイルス56型						2		2
ヒトボカウイルス		2						2
単純ヘルペスウイルス1型		1						1
サイトメガロウイルス		2						2
EBウイルス		2						2
ヒトヘルペスウイルス6型		2						2
ヒトヘルペスウイルス7型		1						1
A群溶血性レンサ球菌		1						1
<i>Campylobacter jejuni</i>				1				1
計		50	2	23	0	7	0	82
検査検体数		77	24	51	10	49	0	211

第4節 参考資料

表7 広島市の年別病原体検出数(平成15年～令和4年)

表7-1 広島市の年別病原体検出数

検出病原体	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	計
エンテロウイルス未型別				8	2		1			6	17
コクサッキーウイルスA2型		7				3		3	1	12	26
コクサッキーウイルスA3型											0
コクサッキーウイルスA4型		3				6		4		3	16
コクサッキーウイルスA5型								2			2
コクサッキーウイルスA6型		1			4			4	24		33
コクサッキーウイルスA8型	1			2	3	1	1	10			1
コクサッキーウイルスA9型										6	23
コクサッキーウイルスA10型	2				1	2	1		3		9
コクサッキーウイルスA14型											0
コクサッキーウイルスA16型				6	1	2	1		3		13
コクサッキーウイルスB1型	18						1		5	4	28
コクサッキーウイルスB2型	5			2	3	1	8	1			20
コクサッキーウイルスB3型	2		2			12				1	17
コクサッキーウイルスB4型	1	1	7	1	1	1		3	1		16
コクサッキーウイルスB5型	1	1	5		29	2				11	49
コクサッキーウイルスB6型											0
エコーウイルス1型										2	2
エコーウイルス3型		1	1					5		7	14
エコーウイルス4型		1									1
エコーウイルス5型					1	4	2				7
エコーウイルス6型		34	1							1	12
エコーウイルス7型	5								6		11
エコーウイルス9型	7			2			14			6	29
エコーウイルス11型							3				3
エコーウイルス12型											0
エコーウイルス13型											0
エコーウイルス14型			1				3				4
エコーウイルス16型							2				2
エコーウイルス17型											0
エコーウイルス18型		9	4	90	1	1				3	108
エコーウイルス19型										18	18
エコーウイルス24型	1										1
エコーウイルス25型	1			1	2		1	12	1		18
エコーウイルス30型	22				7	8					37
エンテロウイルス68型					1				3		4
エンテロウイルス71型	39				2		2	25			68
ボリオウイルス1型	1	1		5	4	4	3	2	4		24
ボリオウイルス2型	2	1		2	3	3	2	2	4		19
ボリオウイルス3型				2	2	3		1	2		10
パレコウイルス未型別			1	1							2
パレコウイルス1型	5	4	4	5	6	5	3	7	7	3	49
パレコウイルス2型											0
パレコウイルス3型		1	2	26		41		1	16		87
パレコウイルス4型								5	2		1
パレコウイルス6型				1	1			2			4
ライノウイルス					15	17	3	20	46	56	157
A型インフルエンザウイルス											0
インフルエンザウイルスA(H1)型				3	45	60	65				173
インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型							340	43	91		474
インフルエンザウイルスA(H3)型	16	24	9	2	67	31	104	5	29	34	321
B型インフルエンザウイルス	2	6	5	2	29	3	68	22	36	17	190
パラインフルエンザウイルス1型										7	5
パラインフルエンザウイルス2型		2		1	1	2		2	1	5	14
パラインフルエンザウイルス3型					1	4	1		17	17	40
RSウイルス			3	2	4	28	47	55	24	26	189
ヒトメタヌードウイルス				41	25	19	32	36	12	13	178
ムンプスウイルス	2	2	21	2	1	2	3	5	7	1	46
麻疹ウイルス				1	3				5		9
ヒトコロナウイルスNL63											0
ヒトコロナウイルスOC43											0
ヒトコロナウイルスHKU1											0

次項へ続く

表7-2 広島市の年別病原体検出数－続き－

検出病原体	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	計
レオウイルス					1	3	2				6
レオウイルス1型											0
レオウイルス2型											0
ロタウイルス	1	1									2
A群ロタウイルス	11	8	7	2	2	17	4	10	6	4	71
C群ロタウイルス											0
サポウイルス					6		3	7	4	20	
ノロウイルス未型別											0
ノロウイルスG I		1	1	2			1	1		1	7
ノロウイルスG II	9	2	13	68	26	38	22	35	8	31	252
アストロウイルス					2	1	2	3		2	10
ピコルナ/パルボ様ウイルス											0
小型球形ウイルス(SRSV)	2	1	2		1	1	1	4			12
アデノウイルス未型別						1					1
アデノウイルス1型	12	8	9	9	9	9	9	8	7	7	87
アデノウイルス2型	24	14	17	9	11	15	18	16	13	18	155
アデノウイルス3型	24	34	23	15	10	14	2	8	1		131
アデノウイルス4型										1	1
アデノウイルス5型	7	3	2	3	14	9	7	4	4	5	58
アデノウイルス6型	4	2	2						2		10
アデノウイルス7型					1						1
アデノウイルス8型											0
アデノウイルス11型	1		2			1			1		5
アデノウイルス19型											0
アデノウイルス21型											0
アデノウイルス22型											0
アデノウイルス31型				1	2	1		2	6	4	16
アデノウイルス34/35型											0
アデノウイルス37型	1							1			2
アデノウイルス40/41型	2		1			2					5
アデノウイルス41型				1	1	1	2	2	2	8	17
アデノウイルス53型							1				1
アデノウイルス54型											0
アデノウイルス56型											0
アデノウイルス64型											0
アデノウイルス85型											0
パルボウイルスB19									5	3	8
ヒトボカウイルス									14	13	27
単純ヘルペスウイルス1型	4	1	3	2	3	5	5	5	6	1	35
単純ヘルペスウイルス2型								1			1
水痘帯状疱疹ウイルス								2	4	2	8
サイトメガロウイルス						1	1	4	1	3	10
EBウイルス											0
ヒトヘルペスウイルス6型							1	26	24	24	75
ヒトヘルペスウイルス7型								8	12	11	31
リケッチアジャボニカ											0
デングウイルス3型									1		1
未同定ウイルス			1		1						2
クラミジア・トラコマチス	5										5
肺炎マイコプラズマ											0
百日咳菌											0
A群溶血性レンサ球菌											0
A群溶血性レンサ球菌T1型											0
A群溶血性レンサ球菌T3型											0
A群溶血性レンサ球菌T12型											0
A群溶血性レンサ球菌T14/49型											0
A群溶血性レンサ球菌TB3264型											0
肺炎球菌10A型											0
<i>Campylobacter jejuni</i>											0
<i>Salmonella</i> Stanley											0
<i>Bordetella holmesii</i>											0
<i>Streptococcus pneumoniae</i>											0
計	240	174	157	316	348	395	800	411	483	400	3724
検査患者数	841	849	646	594	829	880	877	1,280	660	573	8,029

表7-3 広島市の年別病原体検出数－続き－

検出病原体	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	計
エンテロウイルス未型別	3	1	4	1				2	1	3	15
コクサッキーウイルスA2型				3		8					11
コクサッキーウイルスA3型											0
コクサッキーウイルスA4型		1		12				1	5		19
コクサッキーウイルスA5型					1		4				5
コクサッキーウイルスA6型	8		10	2	22	4	14		4	9	73
コクサッキーウイルスA8型	1										1
コクサッキーウイルスA9型	1	1	13	3	1					1	20
コクサッキーウイルスA10型				5	3	2		3	1		14
コクサッキーウイルスA14型					1						1
コクサッキーウイルスA16型		2	4	2	1		3	7	1		20
コクサッキーウイルスB1型											0
コクサッキーウイルスB2型	1	2		6	5						14
コクサッキーウイルスB3型	2			1	11				1		15
コクサッキーウイルスB4型	1		11			1	1				14
コクサッキーウイルスB5型				4	32				8		44
コクサッキーウイルスB6型											0
エコーウイルス1型											0
エコーウイルス3型			3			1					4
エコーウイルス4型											0
エコーウイルス5型											0
エコーウイルス6型	32			2	3				1		38
エコーウイルス7型						10					10
エコーウイルス9型					13	2					15
エコーウイルス11型		10				1	15				26
エコーウイルス12型											0
エコーウイルス13型											0
エコーウイルス14型											0
エコーウイルス16型				1	1						2
エコーウイルス17型											0
エコーウイルス18型			1	20	3		2	2	4		32
エコーウイルス19型											0
エコーウイルス24型											0
エコーウイルス25型					6	13		1	1		21
エコーウイルス30型	4	7	1					15	1		28
エンテロウイルス68型	3		30		1	22					56
エンテロウイルス71型	3				3	7					13
ボリオウイルス1型											0
ボリオウイルス2型											0
ボリオウイルス3型											0
パレコウイルス未型別	1	5		1							7
パレコウイルス1型	4	4	5	4	4	1	4		2		28
パレコウイルス2型							2	1			3
パレコウイルス3型	1	8		48		2	27			10	96
パレコウイルス4型	3	1	1	2	2	2					11
パレコウイルス6型		1		1							2
ライノウイルス	20	21	107	79	92	38	44	19	14	7	441
A型インフルエンザウイルス				1							1
インフルエンザウイルスA(H1)型											0
インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型	1	30	1	22	7	20	40	14			135
インフルエンザウイルスA(H3)型	28	38	43	18	15	12	36			1	191
B型インフルエンザウイルス	16	8	2	33	7	8	6	2			82
パラインフルエンザウイルス1型	5	2	6		8	1	3				28
パラインフルエンザウイルス2型	1	5			2		4				12
パラインフルエンザウイルス3型	3	5	8	5	17	3	7		8	1	57
RSウイルス	9	6	66	11	15	5	11	1	8	6	138
ヒトメタヌードウイルス	6	6	9	4	8	1	6	4			44
ムンプスウイルス	1	4	8	2	1	2	3	1		1	23
麻疹ウイルス		1									1
ヒトコロナウイルスNL63						1		3			4
ヒトコロナウイルスOC43								4	3		7
ヒトコロナウイルスHKU1						1	1	2	1		5

次項へ続く

表7-4 広島市の年別病原体検出数－続き－

検出病原体	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	計
レオウイルス			1		5		5				11
レオウイルス1型											0
レオウイルス2型											0
ロタウイルス											0
A群ロタウイルス	2	1	1	6	1	5	7				23
C群ロタウイルス											0
サポウイルス	6	5	4	4	1	2	1	1		2	26
ノロウイルス未型別											0
ノロウイルスG I			1	1					1		3
ノロウイルスG II	4	4	18	10	12	8	10	5	4	3	78
アストロウイルス	1			1		1		1	2		6
ピコルナ/パルボ様ウイルス											0
小型球形ウイルス(SRSV)											0
アデノウイルス未型別			1								1
アデノウイルス1型	6	7	7	4	8	6	8	5		1	52
アデノウイルス2型	6	5	11	18	9	12	9	3	9	5	87
アデノウイルス3型	6	2	2	13	9	7	6	2			47
アデノウイルス4型	1		1	2	1	1				2	8
アデノウイルス5型	7	1	1	3	6	8	3	3	1	1	34
アデノウイルス6型	1			1	2		1	2	1		8
アデノウイルス7型											0
アデノウイルス8型											0
アデノウイルス11型											0
アデノウイルス19型											0
アデノウイルス21型					1						1
アデノウイルス22型											0
アデノウイルス31型	2	3		6	2	1	2	4	3	2	25
アデノウイルス34/35型											0
アデノウイルス37型					1	4	4	5	4	2	20
アデノウイルス40/41型											0
アデノウイルス41型	1			1	4	1	1		1	2	11
アデノウイルス53型				1	1	1			9	1	13
アデノウイルス54型					7	9	1	1			18
アデノウイルス56型	1				4	2	6		1	2	16
アデノウイルス64型				4		1			2		7
アデノウイルス85型						9			2		11
パルボウイルスB19				2							2
ヒトボカウイルス	7	1	6		3	3	6	1	3	2	32
単純ヘルペスウイルス1型	3	1	2	3	4	1			1	1	16
単純ヘルペスウイルス2型											0
水痘帯状疱疹ウイルス	1		1			1	1				4
サイトメガロウイルス	2		2		1	3				2	10
EBウイルス	4	1	2					1		2	10
ヒトヘルペスウイルス6型	10	11	5	7	4		2	1		2	42
ヒトヘルペスウイルス7型	9	6	4	4	3			1		1	28
リケッチアジャボニカ				1							1
デングウイルス3型											0
未同定ウイルス											0
クラミジア・トラコマチス											0
肺炎マイコプラズマ	1	1	5	7	4						18
百日咳菌		4	2	3	7	1					17
A群溶血性レンサ球菌					1	1	1		1	1	5
A群溶血性レンサ球菌T1型				1				3			4
A群溶血性レンサ球菌T3型					1		1				2
A群溶血性レンサ球菌T12型					1				1		2
A群溶血性レンサ球菌T14/49型						1					1
A群溶血性レンサ球菌TB3264型					1						1
肺炎球菌10A型			1								1
<i>Campylobacter jejuni</i>						1		1	1	2	6
<i>Salmonella</i> Stanley					1						1
<i>Bordetella holmesii</i>							1				1
<i>Streptococcus pneumoniae</i>							1				1
計	239	228	439	433	352	248	330	102	90	77	2,538
検査患者数	407	428	619	544	560	442	499	248	229	166	4142

第5章 結核

第1節 結核の概要

この結核報告は、各保健センターから報告された令和4年の「結核発生動向調査」を集計したものである。

本市の新登録患者数は91人、罹患率*は7.6で前年に比べて増加、令和4年末現在の結核登録者数は183人で前年に比べて減少した。

* 罹患率とは、1年間に発生した患者数を人口10万人あたりの数で示したもので、新たな結核患者を示す指標となる。(罹患率=年間新登録患者数 / 人口×10万人)

第2節 結核による死者者 (表1、図1)

本市の結核死亡者数は10人、死亡率は0.8(人口10万人対)で、前年より減少した。

全国では結核死亡者数は1,664人で前年に比べて181人減少した。

表1 結核による死亡率及び死者数の年次推移

	区分	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R4年
死 亡 率	広島 市	2.1	1.4	1.5	1.8	0.9	1.3	1.5	0.9	1.4	1.2	0.8
	全国	1.7	1.7	1.7	1.6	1.5	1.8	1.8	1.7	1.5	1.5	1.4
死 亡 者 数	広島 市	25	17	18	21	11	15	18	11	16	14	10
	全国	2,105	2,084	2,099	1,956	1,889	2,303	2,204	2,088	1,909	1,845	1,664

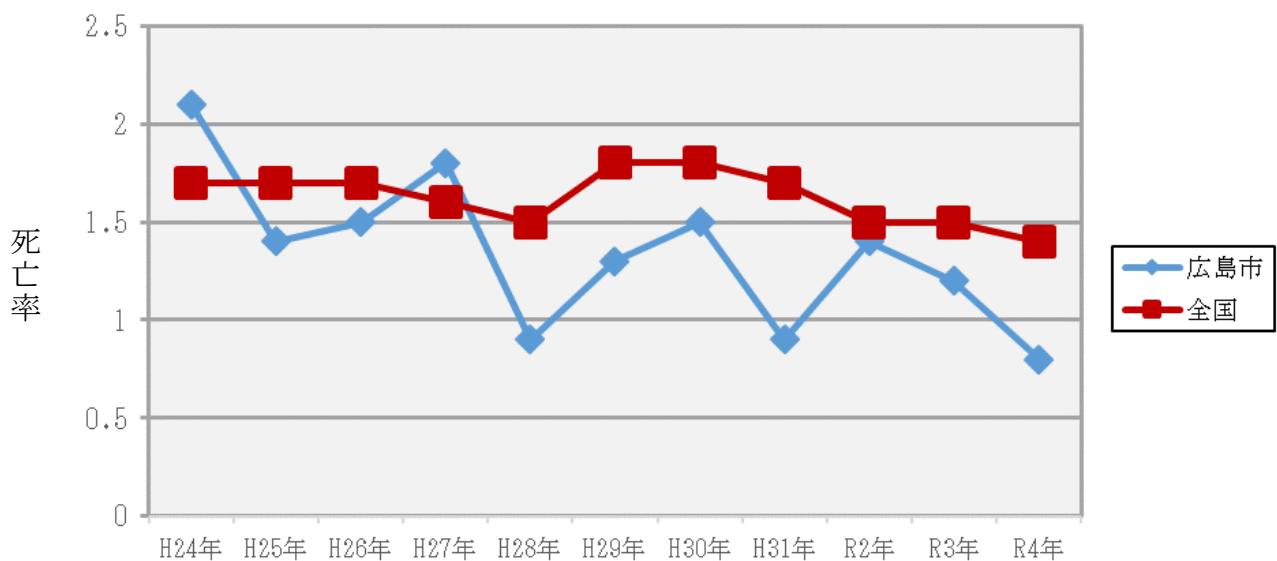


図1 結核死亡率の年次推移 (人口10万人対)

第3節 新登録患者の状況

(1) 新登録患者数 (図2、表2)

本市で新たに結核患者として登録された者は91人で、前年に比べて減少した。

また、新登録患者の中に占める「喀痰塗抹陽性肺結核患者」は38人、新登録患者数全体の41.8%で、前年の43.1%に比べて減少した。

潜在性結核感染症患者※として新たに登録された者の数は43人で、前年に比べて減少した。

全国では、新登録患者数10,235人で、前年の11,519人に比べて減少した。

※ 潜在性結核感染症患者とは、発病はしていないが結核菌が体内に定着した状態で、発病予防のための服薬を指示された者。

(人)

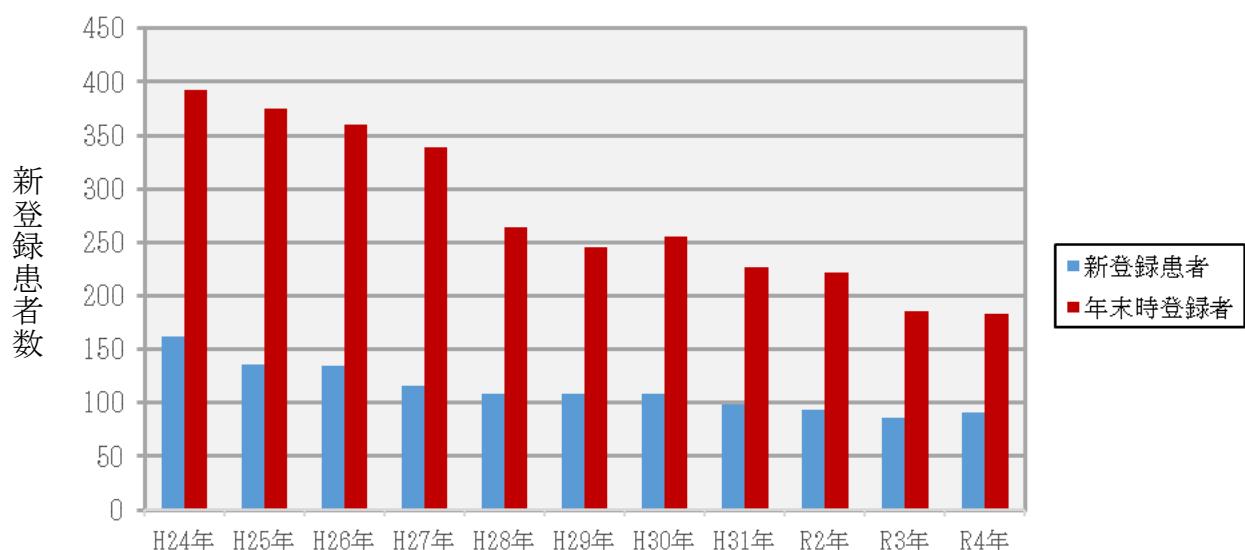


図2 結核患者登録者数の年次推移

表2 新登録患者数と活動性分類

区分	活動性結核※								潜在性 結核感 染症患 者			
	総数	肺結核活動性						肺外 結核 活動性				
		喀痰塗抹陽性			その他 結核菌 陽性	菌陰性 その他						
		総数	初回治療	再治療								
全国	10,235	7,454	3,703	3,562	141	2,826	925	2,781	5,025			
広島市	91	61	38	36	2	13	10	30	43			

(令和4年 単位：人)

※ 活動性結核とは、結核を発病し、結核の治療を要する状態のこと。

(2) 罹患率について(図3、表3)

本市の罹患率は、H24年より前年(H23年)より増加、喀痰塗抹陽性肺結核罹患率が3.2で前年(3.1)に比べて増加した。

全国の罹患率は8.2で前年(9.2)に比べて減少した。

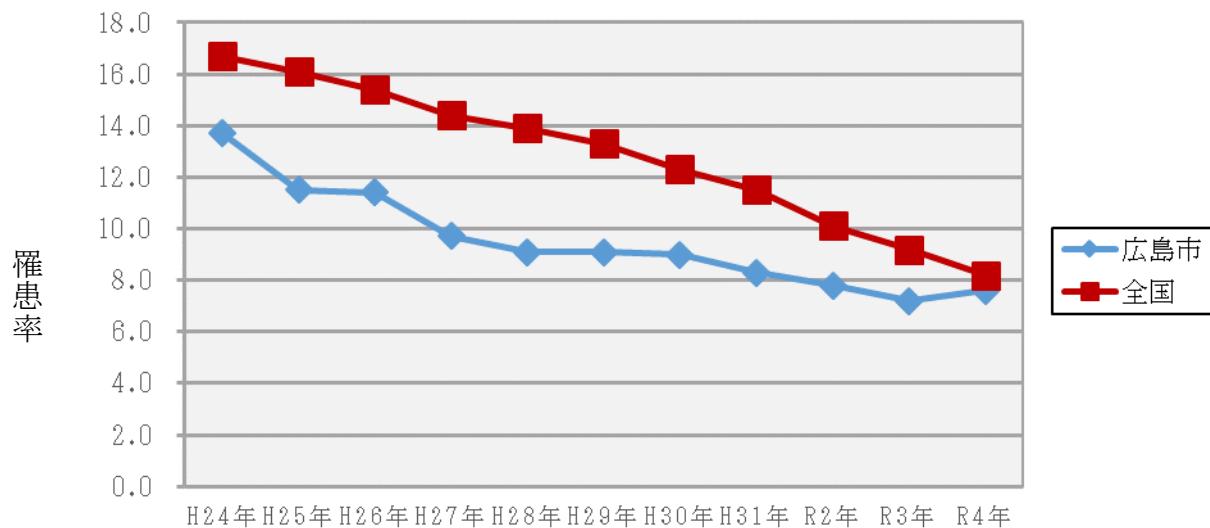


図3 罹患率の年次推移

表3 新登録患者数と罹患率及び塗抹陽性率の年次推移

区分	広島市				全国			
	全結核		塗抹陽性肺結核		全結核		塗抹陽性肺結核	
	新登録患者数	罹患率	新登録患者数	罹患率	新登録患者数	罹患率	新登録患者数	罹患率
H24年	162	13.7	69	5.8	21,283	16.7	8,237	6.5
H25年	136	11.5	67	5.7	20,495	16.1	8,119	6.4
H26年	135	11.4	59	5.0	19,615	15.4	7,651	6.0
H27年	116	9.7	55	4.6	18,280	14.4	7,131	5.6
H28年	109	9.1	38	3.2	17,625	13.9	6,642	5.2
H29年	109	9.1	40	3.2	16,789	13.3	6,359	5.0
H30年	108	9.0	42	3.5	15,590	12.3	5,781	4.6
H31年	99	8.3	36	3.0	14,460	11.5	5,231	4.1
R2年	94	7.8	38	3.2	12,739	10.1	4,615	3.7
R3年	86	7.2	37	3.1	11,519	9.2	4,127	3.3
R4年	9.1	7.6	38	3.2	10,235	8.2	3,703	3.0

(単位：人　人口10万人対)

(3) 男女別及び年齢別患者状況について（表4）

本市の男女別の罹患率は、男性9.1、女性6.4と、男性の値が高かつた。

また、年齢別では、70歳以上から全体の罹患率を上回るようになり、70歳代では16.6、80歳以上では35.2と格段に高くなっている。これらは全国においても同様の傾向である。

表4 性及び年齢別の新登録患者数及び罹患率

区分	広島市		全国	
	総数(人)	罹患率	総数(人)	罹患率
総 数	91	7.6	10,235	8.2
男	52	9.1	6,058	10.0
女	39	6.4	4,177	6.5
0～4歳	0	0.0	21	0.5
5～9歳	0	0.0	8	0.1
10～14歳	0	0.0	6	0.1
15～19歳	0	0.0	71	1.3
20～29歳	10	8.1	777	6.1
30～39歳	6	4.5	503	3.7
40～49歳	2	1.2	546	3.1
50～59歳	7	4.2	733	4.2
60～69歳	7	5.4	921	6.1
70～79歳	24	16.6	2,066	12.6
80歳以上	35	35.2	4,583	37.2

(令和4年 人口10万人対)

第4節 結核登録者の状況（令和4年末現在）

(1) 結核登録者数（表5）

本市の令和4年末現在の結核登録者数は183人で、前年の186人に比べて3人減少した。このうち、「喀痰塗抹陽性肺結核患者数」は26人で、前年の18人に比べて増加した。

表5 年末現在登録者数と活動性分類

区分	総数	活動性結核							不活動性結核	活動性不明		
		総数	肺結核活動性				登録時 その他 の結核 菌陽性	登録時 菌陰性 その他				
			登録時喀痰塗抹陽性	初回治療	再治療	総数						
全国	24,555	6,782	4,962	2,411	2,301	110	1,909	642	1,820	13,072		
広島市	183	64	43	26	24	2	8	9	21	93		

(令和4年 単位：人)

(2) 有病率について(図4、表6)

本市の活動性結核の患者数は64人、有病^{*}は5.4で、いずれも増加した。

* 有病率とは、年末時点の活動性結核患者数を人口10万人あたりの数で示したもの。
(有病率=年末時現在活動性結核患者数 / 人口×10万人)

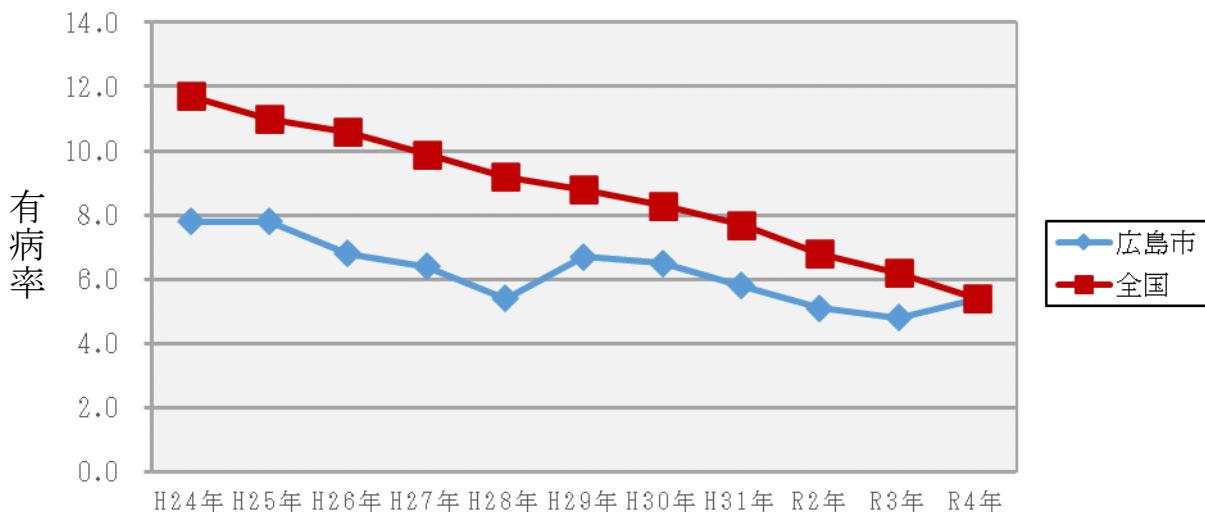


図4 有病率の年次推移

表6 活動性結核患者数と有病率の年次推移

区分	広島市		全国	
	活動性結核患者数	有病率	活動性結核患者数	有病率
H24年	92	7.8	14,858	11.7
H25年	92	7.8	13,957	11.0
H26年	81	6.8	13,513	10.6
H27年	77	6.4	12,534	9.9
H28年	65	5.4	11,717	9.2
H29年	80	6.7	11,097	8.8
H30年	78	6.5	10,448	8.3
H31年	69	5.8	9,695	7.7
H31年	69	5.8	9,695	7.7
R2年	61	5.1	8,640	6.8
R3年	57	4.8	7,744	6.2
R4年	64	5.4	6,782	5.4

(3) 男女別及び年齢別患者状況について(表7)

本市の男女別の有病率は、男性が6.7、女性が4.3で、男性のほうが高かった。

年齢別の有病率は、70歳以上から全体の有病率を上回るようになり、特

に80歳以上では25.2と格段に高くなっている。

表7 性及び年齢別の活動性結核有病率

区分	広島市		全国	
	活動性結核(人)	活動性結核 有病率	活動性結核(人)	活動性結核 有病率
総 数	64	5.4	6,782	5.4
男	38	6.7	3,929	6.5
女	26	4.3	2,853	4.5
0～4歳	0	0.0	12	0.3
5～9歳	0	0.0	9	0.2
10～14歳	0	0.0	5	0.1
15～19歳	0	0.0	40	0.8
20～29歳	7	5.7	554	4.4
30～39歳	6	4.5	349	2.6
40～49歳	1	0.6	389	2.3
50～59歳	4	2.4	523	3.0
60～69歳	7	5.4	685	4.6
70～79歳	14	9.7	1,375	8.4
80歳以上	25	25.2	2,841	23.1

(4) 登録者の受療状況（表8）

本市の全結核登録者のうち、年末時点で治療を受けている者は64人（「入院」13人、「外来治療」51人）で、登録者の35.0%にあたり、「治療なし」は115人で62.9%であった。「不明」は4人で、登録者の2.2%であった。

表8 結核登録者の受療状況の年次推移

区分	総数					活動性結核				
	計	入院中	外来 治療中	治療 なし	不明	計	入院中	外来 治療中	治療 なし	不明
H24年	392	39	61	222	70	92	39	50	1	2
H25年	375	30	75	244	26	92	30	62	0	0
H26年	360	25	62	244	29	81	25	56	0	0
H27年	339	32	47	226	34	77	32	44	1	0
H28年	264	25	49	171	19	65	25	38	1	1
H29年	246	25	58	148	15	80	25	49	5	1
H30年	255	23	51	179	2	78	23	51	3	1
H31年	227	30	28	159	10	69	30	27	9	3
R2年	222	25	36	156	5	61	25	33	2	1
R3年	186	11	42	129	4	57	11	40	4	2
R4年	183	13	51	115	4	64	13	50	0	1

(単位：人)

参考資料

- 厚生労働省「令和4年結核登録者情報調査年報集計結果（概況）」
- 厚生労働省「結核登録者情報システム（2022年年報）」